EPSON

Endeavor NJ7000E

ユーザーズマニュアル

ご使用の前に

- コンピューターをご使用の際は、必ず「マニュアル」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- マニュアルに記載の Windows やアプリの情報は 2019 年 10 月時点のものです。今後、アップデートにより画面や操作方法が変更になる場合があります。

Windows 10

目次

ご使用の前に

製品保護上の注意 6
無線 LAN 使用時のセキュリティーに関する注意 9
マニュアルの読み方 10
各部の名称 14
添付されているアプリ 18
データの移行とバックアップ 20

1 コンピューターの基本操作

Windows 10 の基本操作 24
AC アダプター / バッテリーパックを使う 28
指紋認証機能を使う 38
タッチパッドを使う 40
キーボードを使う 43
HDD/SSD の概要 49
RAID 機能 51
メモリーカードを使う 52
USB 機器を使う 54
画面表示機能 56
外付けディスプレイを使う 60
サウンド機能 67
ネットワーク機能（有線 LAN） 71
無線 LAN 機能（オプション） 74
Bluetooth 機能（オプション） 80
インターネット / メールをする 86
インターネットを使用する際のセキュリティー対策 87
省電力機能 90
カメラを使う 98
そのほかの機能 99

2 装置の増設・交換

増設・交換できる装置 104
メモリーの装着 105
外付け可能な周辺機器 112

3 UEFI の設定

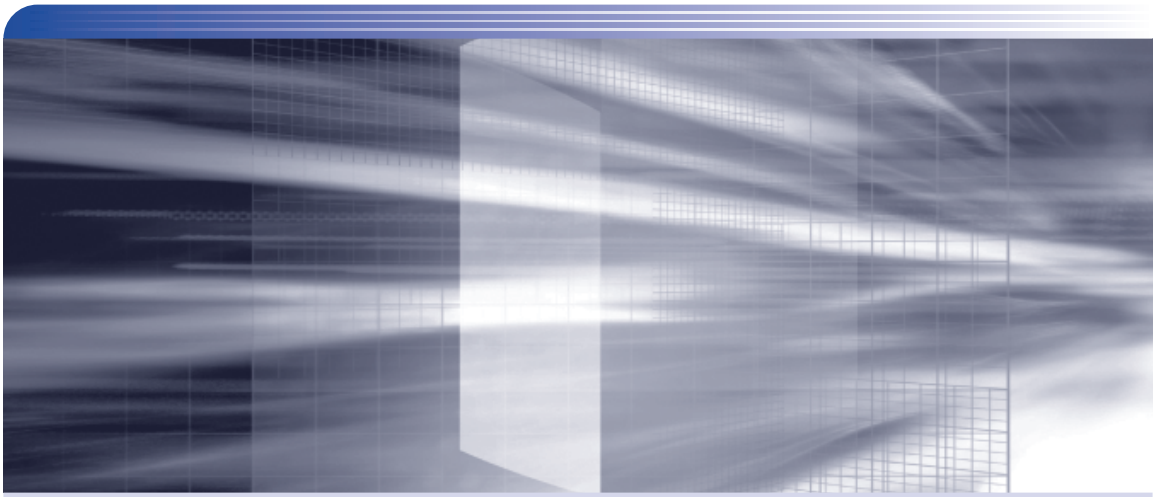
UEFI の設定を始める前に..... 114
UEFI Setup ユーティリティーの操作..... 115
UEFI Setup ユーティリティーの設定項目..... 127

4 困ったときは

トラブルが発生したら..... 134
起動・画面表示できないときは 136
トラブル時に効果的な対処方法 140
再インストール（PC を初期状態に戻す）..... 146

付録

お手入れ..... 150
コンピューターを廃棄するときは..... 151
機能仕様一覧 153



ご使用の前に

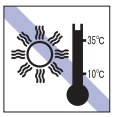
本機を使い始める前に知っておいていただきたい事項や、取り扱い上の注意などを説明します。

製品保護上の注意 6
無線LAN使用時のセキュリティーに関する注意 9
マニュアルの読み方 10
各部の名称 14
添付されているアプリ 18
データの移行とバックアップ 20

製品保護上の注意

使用・保管時の注意

コンピューター（本機）は精密な機械です。次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。
特に指定のない限り、注意事項は、本体および AC アダプターやバッテリーパックなどの同梱品に適用されます。



温度が高すぎる所や、低すぎる所には置かないでください。
故障、誤動作の原因となります。適切な温度の目安は 10℃～ 35℃です。

温度が低い場所から温度が高い場所へ本機を急に移動させると、結露が発生する場合があります。
結露したまま本機を使用すると、故障、誤動作の原因となります。
結露が発生した場合は、本機が室温と同じくらいの温度になるのを待ってから、使用してください。

不安定な所には設置しないでください。
落下したり、振動したり、倒れたりすると、本機が壊れ、故障することがあります。

テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものの近くに置かないでください。
誤動作やデータ破損の原因となることがあります。逆に、本機の影響でテレビやラジオに雑音が入ることもあります。

無停電電源装置（UPS）を使用する場合は、正弦波出力の UPS を使用してください。正弦波出力以外の UPS を使用すると、本機が起動できなくなったり、動作が不安定になったりする場合があります。

本機を落としたり、ぶつけたりして、衝撃を与えないでください。持ち運ぶときは、電源を切り、バッグに入れるなどして衝撃から守るようにしてください。

本機の汚れを取るときは、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。
変色や変形の可能性があります。
柔らかい布に中性洗剤を適度に染み込ませて、軽く拭き取ってください。

ホコリの多い所には置かないでください。
故障、誤動作の原因となります。

直射日光の当たる所や、発熱器具（暖房器具や調理用器具など）の近くなど、高温・多湿となる所には置かないでください。
故障、誤動作の原因となります。
また、直射日光などの紫外線は、変色の原因になります。

他の機械の振動が伝わる所など、振動しやすい場所には置かないでください。故障、誤動作の原因となります。

電源コードが抜けやすい所（コードに足が引っかかりやすい所や、コードの長さがぎりぎりの所など）に本機を置かないでください。
バッテリーパックの状態により、電源コードが抜けると、それまでの作業データがメモリー上から消えることがあります。

アクセスランプ点灯・点滅中は、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。

本機を長期間使わないときは、バッテリーパックを本機に装着したままにしないでください。
液漏れを起こすことがあります。

本機を梱包しない状態で、遠隔地への輸送や保管をしないでください。
衝撃や振動、ホコリなどから本機を守るため、専用の梱包箱に入れてください。

本機の上に重い物を載せたり、強く押さえ付けたりしないでください。
LCD やバックライトが破損したり、表示異常となることがあります。

LCD 画面の表面を先の尖ったもので引っかいたり、無理な力を加えたりしないでください。
LCD 画面の表面はアクリル製ですので、キズが付いたり、割れたりすることがあります。

キーボードの上などに、物（ボールペンなど）をはさんだまま､LCD ユニット（液晶ディスプレイ部）を閉じないでください。

本機の LCD ユニット（液晶ディスプレイ部）を開けた状態で､LCD ユニットを持って移動しないでください。
また、開閉可能な最大角度を超えて LCD ユニットを開かないでください。ヒンジ部分が破損します。

AC アダプターはコードを持って抜き差ししないでください。
コードの断線や接触不良の原因となります。

AC アダプターの上に乗ったり、踏みつけたり、重い物を載せるなどして、ケースを破損しないでください。

メモリーカード

メモリーカードは、次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、メモリーカードに収録されているデータが破損するおそれがあります。

直射日光が当たる所、発熱器具の近くなど、高温・多湿となる場所には置かないでください。

ゴミやホコリの多い所では、使用したり保管したりしないでください。

上に物を載せないでください。

キズを付けないでください。

クリップで挟む、折り曲げるなど、無理な力をかけないでください。

メモリーカードアクセス中は、記録メディアを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。

使用後は、本機にセットしたままにしたり、ケースに入れずに放置したりしないでください。

金属端子には触れないでください。

テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものに近づけないでください。

金属端子にホコリや水を付けないでください。
シンナーやアルコールなどの溶剤を近づけないでください。

マウス

マウスは精密な機械です。次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。

ゴミやホコリの多いところで使用したり、保管したりしないでください。レンズにゴミやホコリが付いたまま使用すると、誤動作の原因になります。

レンズ部分に触れないでください。

落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。

持ち運びの際はマウス本体を持ってください。ケーブルを持って運ばないでください。

無線 LAN 使用時の セキュリティーに関する注意

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。無線 LAN を使用する前に、必ずお読みください。

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる

  悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

  - ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
  - メールの内容

  などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

- 不正に侵入される

  悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

  - 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
  - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
  - 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
  - コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

  などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN や無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティーに関する設定が施されていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティー問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN や無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティーに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティー設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

※ セキュリティー対策を施さず、または、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティーの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

セキュリティーの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、別紙『サポート・サービスのご案内』をご覧になり、テクニカルセンターまでお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

マニュアルの読み方

本製品の仕様とカスタマイズ

本製品は、ご購入時にお客様が選択されたオプションによって、仕様がカスタマイズされています。CPU の種類･メモリー容量など､選択された仕様に合わせて､お客様オリジナルのコンピューターとして組み立て、納品されています。

仕様によって必要なマニュアル

本製品の操作に必要なマニュアルは､お客様が選択された仕様によって､『ユーザーズマニュアル』（本書）とは別に提供されている場合があります。
お使いになる仕様によって必要となるマニュアルは、下記のとおり紙や電子の形式で提供されていますので、ご確認ください。

- 本製品に同梱されている紙マニュアル
- ［スタート］－［PC お役立ちナビ］－［マニュアルびゅーわ］から閲覧する電子マニュアル
- CD-ROM などに収録されている電子マニュアル（PDF ファイルなど）

マニュアル中の表記

安全に関する記号

本書では次のような記号を使用しています。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する記号

本書では、次のような一般情報に関する記号を使用しています。

制限	制限事項です。 機能または操作上の制限事項を記載しています。
参考	参考事項です。 覚えておくと便利なことを記載しています。
1 2	操作手順です。 ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。
	手順が次ページに続くことを示します。
Ctrl	□ で囲んだマークはキーボード上のキーを表します。 ↵ は Enter キーを表します。また、N は N みのことです。このように必要な部分のみを記載しているため、キートップに印字された文字とは異なる場合があります。
Ctrl + Z	＋の前のキーを押したまま＋の後のキーを押します。 この例では、Ctrl を押したまま Z を押します。

参照先に関する記号

本書では、次のような参照先に関する記号を使用しています。

	本書内の参照ページを示します。
別紙	別紙を示します。
『　』	マニュアルの名称を示します。 例）『サポート・サービスのご案内』
	サポートツール「PC お役立ちナビ」を示します。

名称の表記

本書では、本機で使用する製品の名称を次のように表記しています。

HDD	ハードディスクドライブ
メモリーカード	SD メモリーカード、マルチメディアカードの総称

オペレーティングシステム（OS）に関する表記

本書では、オペレーティングシステム（OS）の名称を次のように略して表記します。

Windows 10	Windows® 10 Home 64 bit 版 Windows® 10 Pro 64 bit 版

HDD/SSD 容量の記載

本書では、HDD/SSD 容量を 1GB（ギガバイト）=1000MB として記載しています。

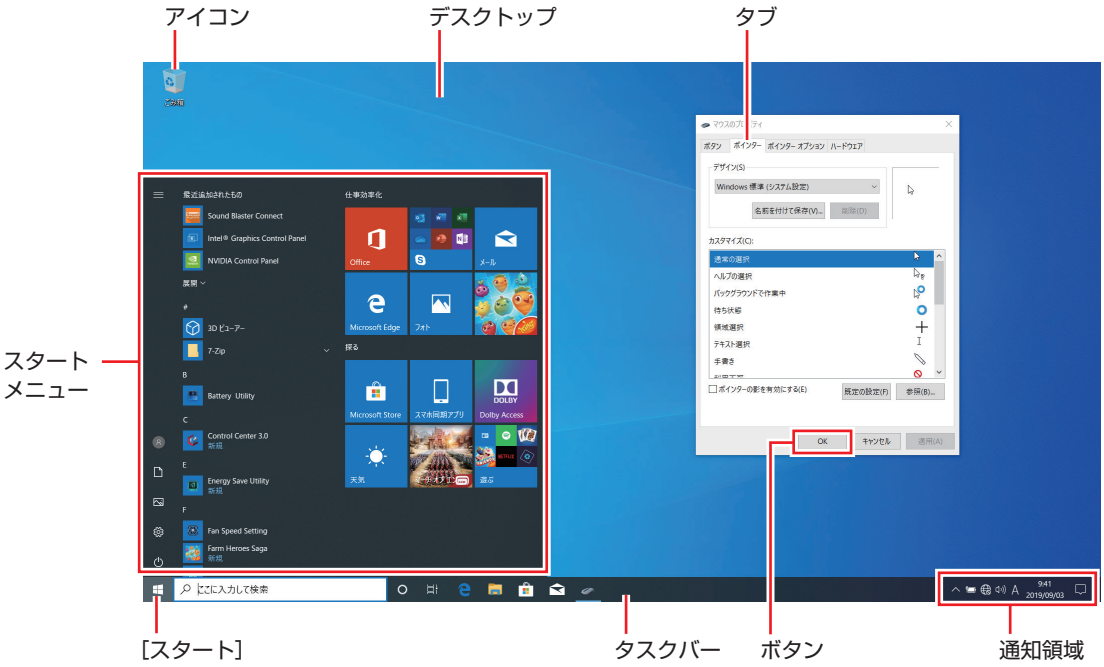
メモリー容量の記載

本書では、メモリー容量を 1GB（ギガバイト）=1024MB として記載しています。

Windows の画面表示に関する記載

本書では、Windows の画面に表示される各箇所の名称を次のように記載しています。

デスクトップ



タイル / ボタン

タイルやボタンは［　］で囲んで記載しています。

例）

：［フォト］

例）

：［OK］

画面操作の記載

本書では、Windows の画面上で行う操作手順を次のように記載しています。

●記載例

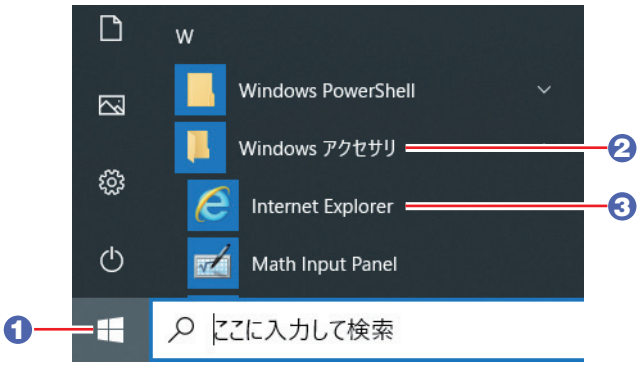
［スタート］－「Windows アクセサリ」－「Internet Explorer」

●実際の操作

❶ ［スタート］をクリックします。

❷ 表示された一覧から「Windows アクセサリ」をクリックします。

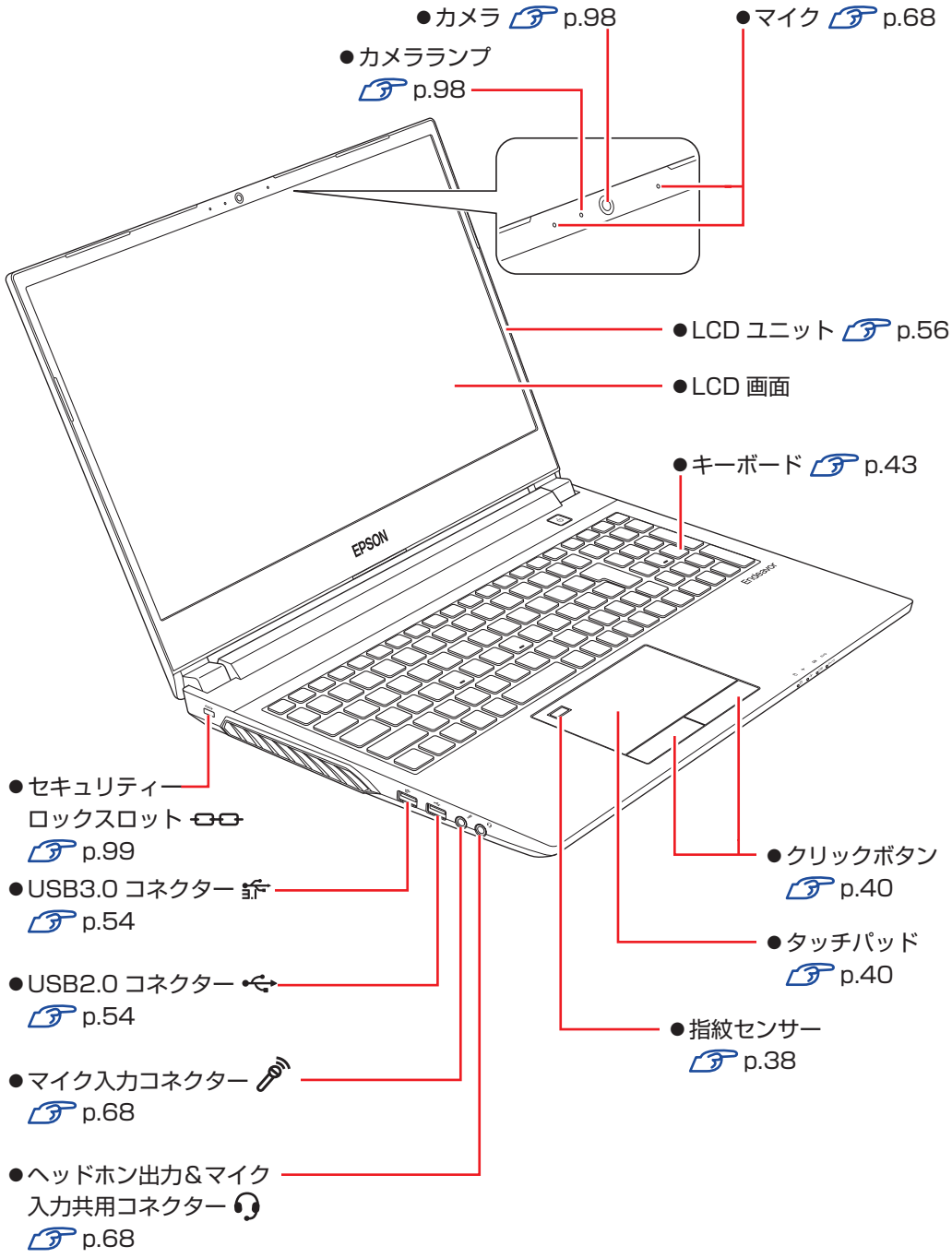
❸ 表示された一覧から「Internet Explorer」をクリックします。



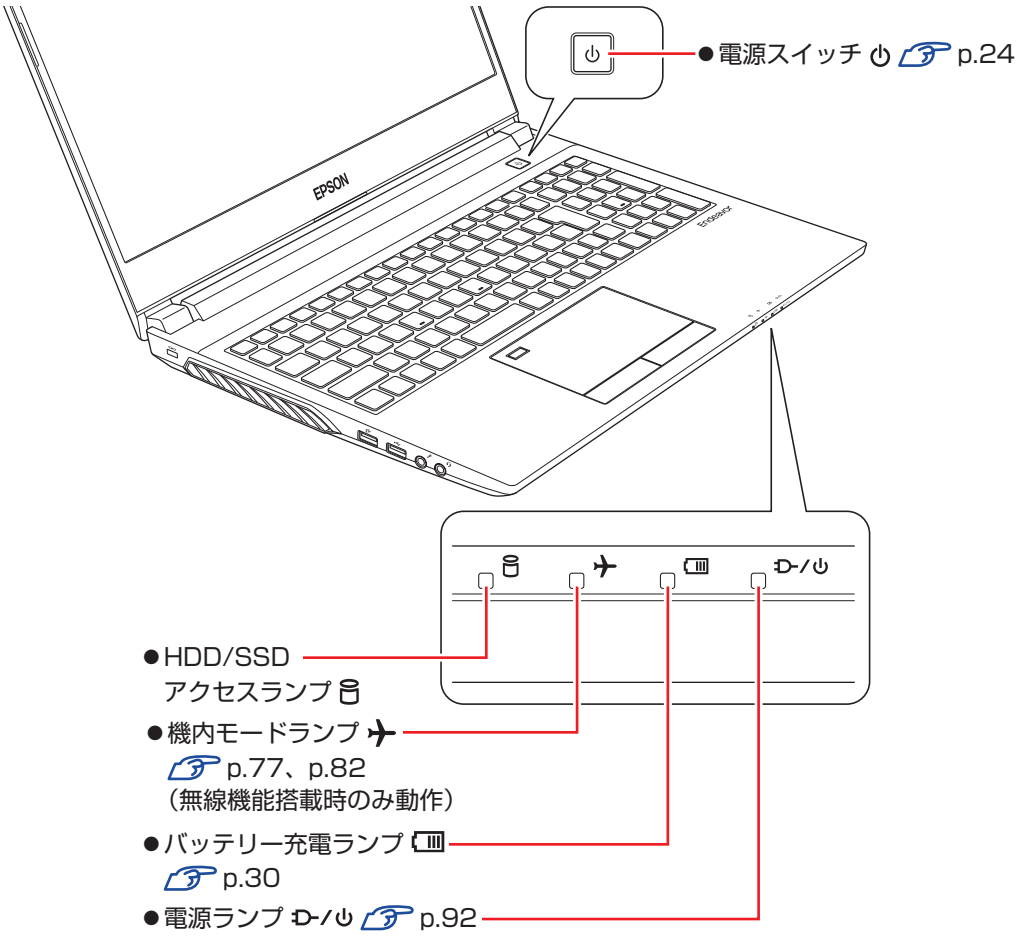
各部の名称

本機の各部の名称を記載します。

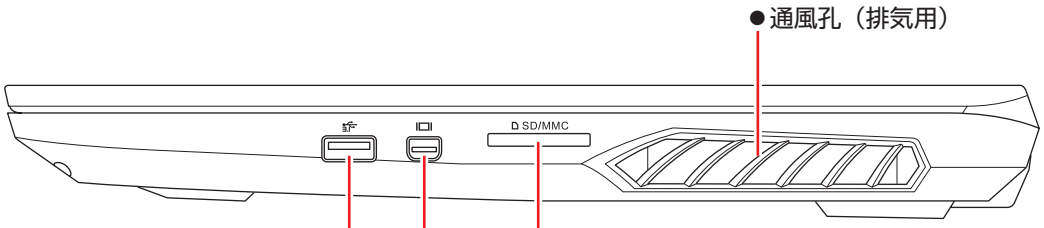
前面・左側面



電源スイッチ / ステータス表示ランプ



右側面



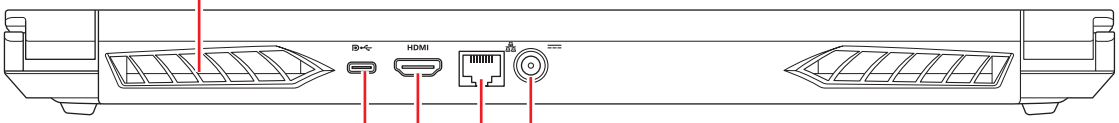
●通風孔（排気用）

●メモリーカードスロット SD/MMC p.52

●ミニディスプレイポート p.60

●USB3.1 コネクター
（USB 充電機能付き）p.55

背面



●通風孔（排気用）

●AC アダプターコネクター p.28

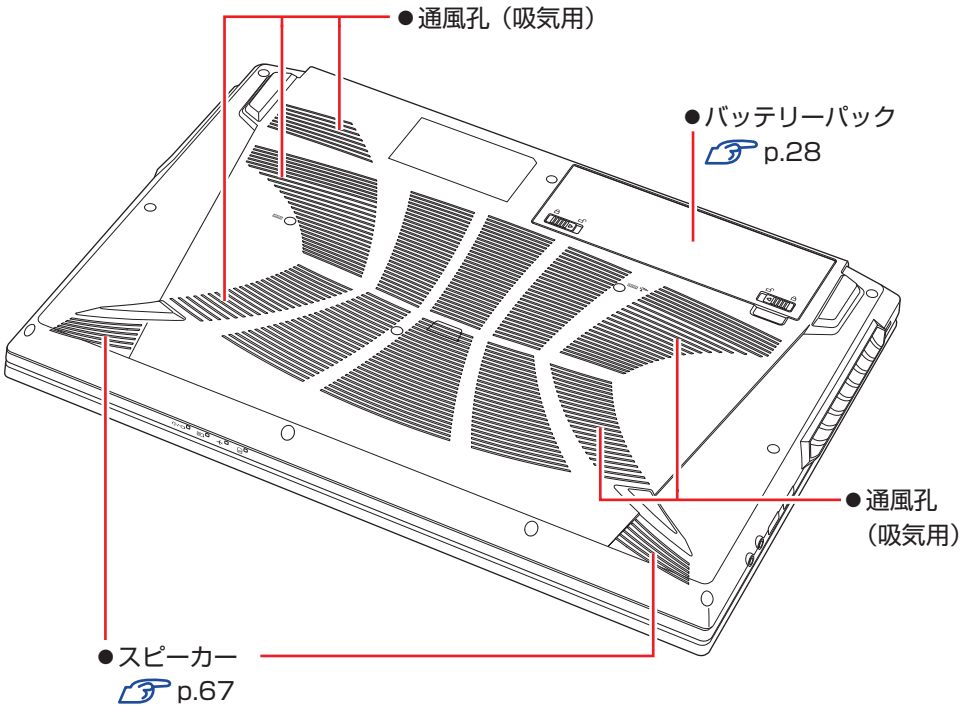
●LAN コネクター p.71

●HDMI コネクター HDMI p.60

●USB3.1（Type-C）コネクター p.54、p.60

※ディスプレイへ映像 / 音声出力もできます。

底面



添付されているアプリ

本機に添付されているアプリについて説明します。

本機にインストールされているアプリ

次のアプリは、購入時、本機にインストールされています。
※ 購入時の選択によっては、ほかにもアプリがインストールされている場合があります。

●Windows 10 本機のオペレーティングシステム（OS）です。	
●本体ドライバー	
	• チップセットドライバー マザーボード上のデバイスを使用するためのドライバーです。
	• Intel Serial IO ドライバー マザーボード上のデバイスと通信をするためのドライバーです。
	• グラフィックスドライバー（Intel） CPU のグラフィックス機能を使用するためのドライバーです。
	• グラフィックスユーティリティー（Intel） 画面表示の切り替えや詳細設定をするためのユーティリティーです。
	• グラフィックスドライバー（nVidia） NVIDIA GeForce RTX 2060 を使用するためのドライバーです。
	• グラフィックスユーティリティー（nVidia） 画面表示の切り替えや詳細設定をするためのユーティリティーです。
	• ネットワークドライバー ネットワーク機能（有線 LAN）を使用するためのドライバーです。
	• カードリーダードライバー メモリーカードスロットを使用するためのドライバーです。
	• Intel Management Engine ドライバー マザーボード上のデバイスを使用するためのドライバーです。
	• Intel HID Event Filter ドライバー UEFI と OS の設定値をやりとりするドライバーです。
	• Control Center ☞ p.100 5 つの機能設定（Power Modes、FAN Speed Control、Energy Save、Battery Utility、LED Keyboard（バックライト搭載時のみ））ができるユーティリティーです。
	• USB Type-C コネクタードライバー USB3.1（Type-C）コネクターを使用するためのドライバーです。
	• サウンドドライバー（Realtek） マザーボード上のサウンド機能を使用するためのドライバーです。
	• サウンドユーティリティー（Realtek） スピーカーの設定やマイク音量の設定をするためのユーティリティーです。
	• フィンガープリントドライバー 指紋センサーを使用するためのドライバーです。
	• オーディオエフェクトコンポーネントドライバー（Creative） オーディオエフェクト機能を使用するためのドライバーです。

	• サウンドユーティリティー（Sound Blaster） サウンドの詳細設定をするためのユーティリティーです。
	• Intel Software Guard Extensions ドライバー Intel Software Guard Extensions を使用するためのドライバーです。
	• Intel SpeedShift Technology ドライバー Intel SpeedShift Technology を使用するためのドライバーです。
	• Intel Rapid Storage Technology ドライバー Windows 上で HDD/SSD を使用するためのドライバーです。
	• インテルストレージユーティリティー（Intel Optane Memory and Storage Management）p.51 RAID の設定をするためのユーティリティーです。
	• 無線 LAN ドライバー（無線 LAN 機能搭載時） 無線 LAN を使用するためのドライバーです。
	• Bluetooth ドライバー（無線 LAN 機能搭載時） Bluetooth を使用するためのドライバーです。
●PC お役立ちナビ p.134 コンピューターの情報を調べることができるサポートツールです。	
●システム診断ツール p.144 ハードウェアに不具合が発生しているかどうかを診断できるツールです。	
●ネットワーク診断ツール p.145 コンピューターがネットワークにつながらない場合に、予想される原因と対処方法を確認するためのツールです。	

必要に応じてインストールするアプリ

次のアプリは、購入時、本機にインストールされていません。必要に応じてインストールしてください。

●ウイルスバスター クラウド 90 日版 p.88 ウイルス駆除機能、不正アクセス防止機能などを備えたセキュリティーアプリです。
●i- フィルター for マルチデバイス 30 日版 p.89 インターネット上の有害な Web ページへのアクセスを制限する Web フィルタリングアプリです。
●Endeavor 電源プラン設定ツール p.97 本機に節電設定を行うためのツールです。

データの移行とバックアップ

本機を初めて使用するときに、次の作業を行います。

古いコンピューターからデータを移す

古いコンピューターからデータを移行します。

●Web ブラウザーの設定（お気に入りや Cookie など）

・Internet Explorer

古いコンピューターに USB 記憶装置を接続し、Internet Explorer を起動して、次の場所で「お気に入り」や「Cookie」などを USB 記憶装置に保存します。

［スタート］－「Windows アクセサリ」－「Internet Explorer」－ 画面右上の ☆ をクリック －「お気に入りに追加」の右側の ▾ をクリック －「インポートとエクスポート」－「ファイルにエクスポートする」

USB 記憶装置を本機に接続し、Internet Explorer を起動して、次の場所からデータをインポートします。

［スタート］－「Windows アクセサリ」－「Internet Explorer」－ 画面右上の ☆ をクリック －「お気に入りに追加」の右側の ▾ をクリック －「インポートとエクスポート」－「ファイルからインポートする」

・Microsoft Edge

本機の Internet Explorer のお気に入りを、Microsoft Edge にインポートできます。

次の場所でインポートします。

［スタート］－［Microsoft Edge］－ 画面右上の ··· をクリック －「設定」－［インポートまたはエクスポート］－「Internet Explorer」にチェック －［インポート］

●メールデータ

メールアプリによって、データの移行方法は異なります。

※ アプリによっては、メールデータを移行できないものもあります。

・メール

Windows 10 標準メールアプリで利用できるのは Web メールのため、古いコンピューターに保存されているメールデータを移行することはできません。

・Outloook

Outlook にデータを移行する方法は、Office のヘルプをご覧ください。

●文書 / 写真 / 音楽データなど

USB 記憶装置などに保存して移します。

バックアップをする

万一の故障などに備え、重要なデータはバックアップしておくことをおすすめします。

回復ドライブを作成する

事前に USB 記憶装置などに回復ドライブを作成しておくと、なんらかの原因で Windows が起動しなくなった場合、回復ドライブを使用して Windows の再インストールを行うことができます。
不具合発生時に対応できるように、回復ドライブを作成しておくことをおすすめします。
作成方法は、次の場所をご覧ください。

http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?29541

個人用データのバックアップ

個人用データ（文書、写真、音楽など）は、USB 記憶装置や、「OneDrive」などのオンラインストレージに保存することをおすすめします。
OneDrive の使用方法は、次の場所をご覧ください。

http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?28772

システムの保護を有効にする

本機の動作が不安定になった場合、「システムの復元」を行って Windows を以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻すことで、問題が解決できることがあります。

※ 128GB 以下のドライブではこの機能は使用できません。

「システムの復元」機能を使用するには、事前に「システムの保護を有効にする」設定が必要です。次の手順で設定を行ってください。

1 **［スタート］を右クリック－「システム」－「システム情報」－ 画面左「システムの保護」をクリックします。**

2 **「システムのプロパティ」画面が表示されたら、ドライブの一覧から「Windows（C:）システム」を選択し、［構成］をクリックします。**

3 **「システム保護対象」画面が表示されたら、「システムの保護を有効にする」を選択し、［OK］をクリックします。**

4 **「システムのプロパティ」画面で［OK］をクリックします。**

これでシステムの保護を有効にする設定は完了です。

1 コンピューターの基本操作

キーボードやタッチパッドの使用方法など、コンピューターの基本的な操作方法について記載しています。

Windows 10 の基本操作 24
AC アダプター / バッテリーパックを使う 28
指紋認証機能を使う 38
タッチパッドを使う 40
キーボードを使う 43
HDD/SSD の概要 49
RAID 機能 51
メモリーカードを使う 52
USB 機器を使う 54
画面表示機能 56
外付けディスプレイを使う 60
サウンド機能 67
ネットワーク機能（有線 LAN） 71
無線 LAN 機能（オプション） 74
Bluetooth 機能（オプション） 80
インターネット / メールをする 86
インターネットを使用する際のセキュリティー対策 87
省電力機能 90
カメラを使う 98
そのほかの機能 99

Windows 10 の基本操作

ここでは、Windows 10 の基本的な操作方法を説明します。

- 起動と終了 p.24
- スタートメニュー p.26
- 機能メニュー p.27

起動と終了

Windows 10 の起動方法 / 終了方法を説明します。

起動方法

本機の電源を入れ、Windows を起動する方法は、次のとおりです。

制限

- 周辺機器の電源をいつ入れるかは、周辺機器のマニュアルで確認してください。電源を入れるタイミングがコンピューターより先か後かは、周辺機器により決まっています。
- 電源を入れなおすときは、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。電気回路に与える電気的な負荷を減らして、HDD/SSD などの動作を安定させます。

1 **電源スイッチ（⏻）を押して、本機の電源を入れます。**

2 **パスワードを設定していると、ロック画面が表示されます。**

ロック画面が表示された場合は、次の操作を行います。

1. ロック画面をクリックします。

<イメージ>

2. パスワード入力画面が表示されたら、パスワードを入力して [↵] を押します。

Windows が起動し、デスクトップが表示されます。

参考

指紋認証でサインインする

本機には、Windows Hello に対応した指紋センサーが搭載されています。指紋を登録すると、パスワードを入力せずに指紋認証で Windows にサインインできるようになります。
p.38「指紋認証機能を使う」

終了方法

Windows の終了方法を説明します。終了方法には次の 2 つがあります。

- **シャットダウン**

  通常の終了方法です。システムは完全には終了しません。次回 Windows の起動が速くなります。

- **PC の電源を切る**

  システムを完全に終了する方法です。次回 Windows の起動には時間がかかります。

機器を増設・交換する場合は、「シャットダウン」ではなく、「PC の電源を切る」で終了してください。「シャットダウン」で終了した状態で機器を変更すると、機器が認識されなくなる場合があります。
また、ドライバーやアプリをインストールした場合や、Windows Update を行った場合、「シャットダウン」では更新内容が適用されません。「再起動」または「PC の電源を切る」を行って、一度システムを完全に終了してください。
p.140「再起動」

制限

- HDD/SSD アクセスランプ点滅中に本機の電源を切ると、収録されているデータが破損するおそれがあります。
- 本機は、電源を切っていても、バッテリーパックが装着されていたり、電源プラグがコンセントに接続されていると、微少な電流が流れています。本機の電源を完全に切るには、電源コンセントから電源プラグを抜き、バッテリーパックを取り外してください。

参考

終了時の注意

複数のユーザーがサインインしている状態で終了しようとすると、「まだ他のユーザーがこの PC を使っています。…」と表示されます。この場合は、ほかのユーザーがサインアウトしてから終了してください。

シャットダウン

シャットダウン方法は、次のとおりです。

1 **［スタート］－ ⏻（電源）をクリックし、表示された項目から「シャットダウン」をクリックします。**

Windows が終了します。

2 **接続している周辺機器の電源を切ります。**

PC の電源を切る

システムを完全に終了する方法は、次のとおりです。

1 **［スタート］－ ⏻（電源）をクリックし、Shift を押しながら「再起動」をクリックします。**

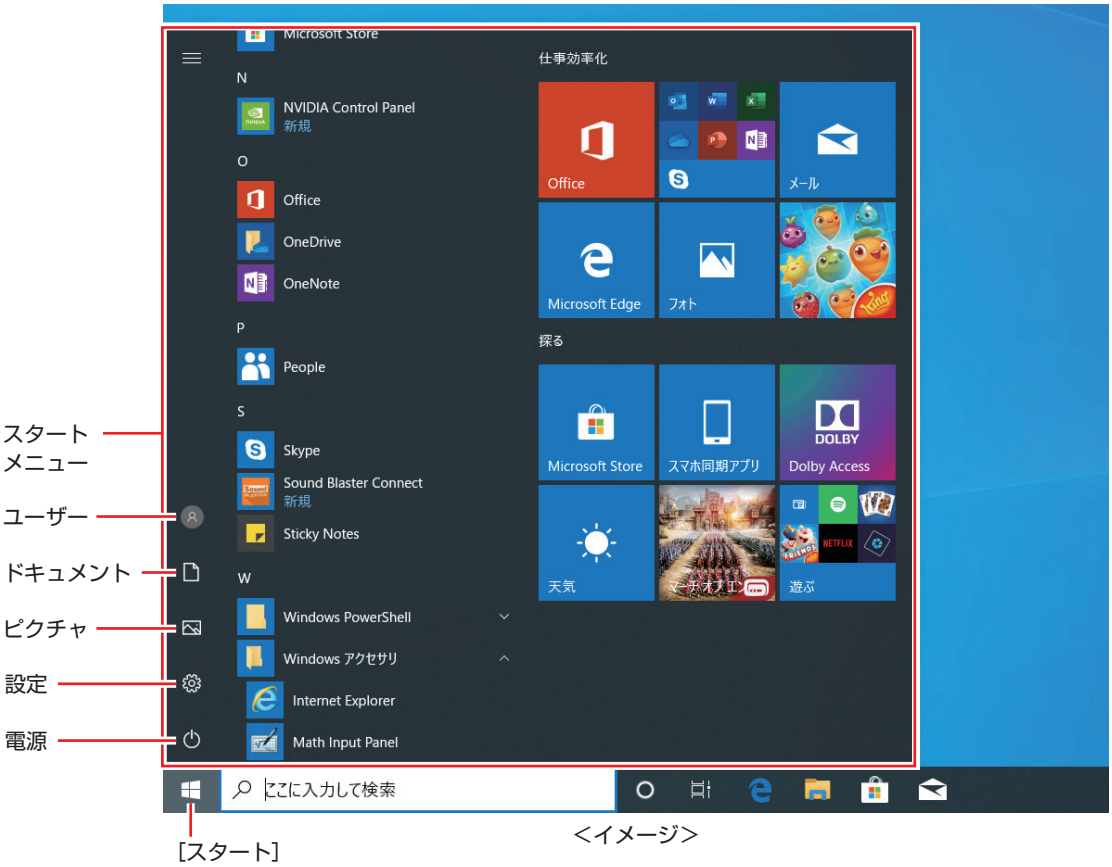
2 **表示されたメニューで「PC の電源を切る」を選択します。**

Windows が終了します。

3 **接続している周辺機器の電源を切ります。**

スタートメニュー

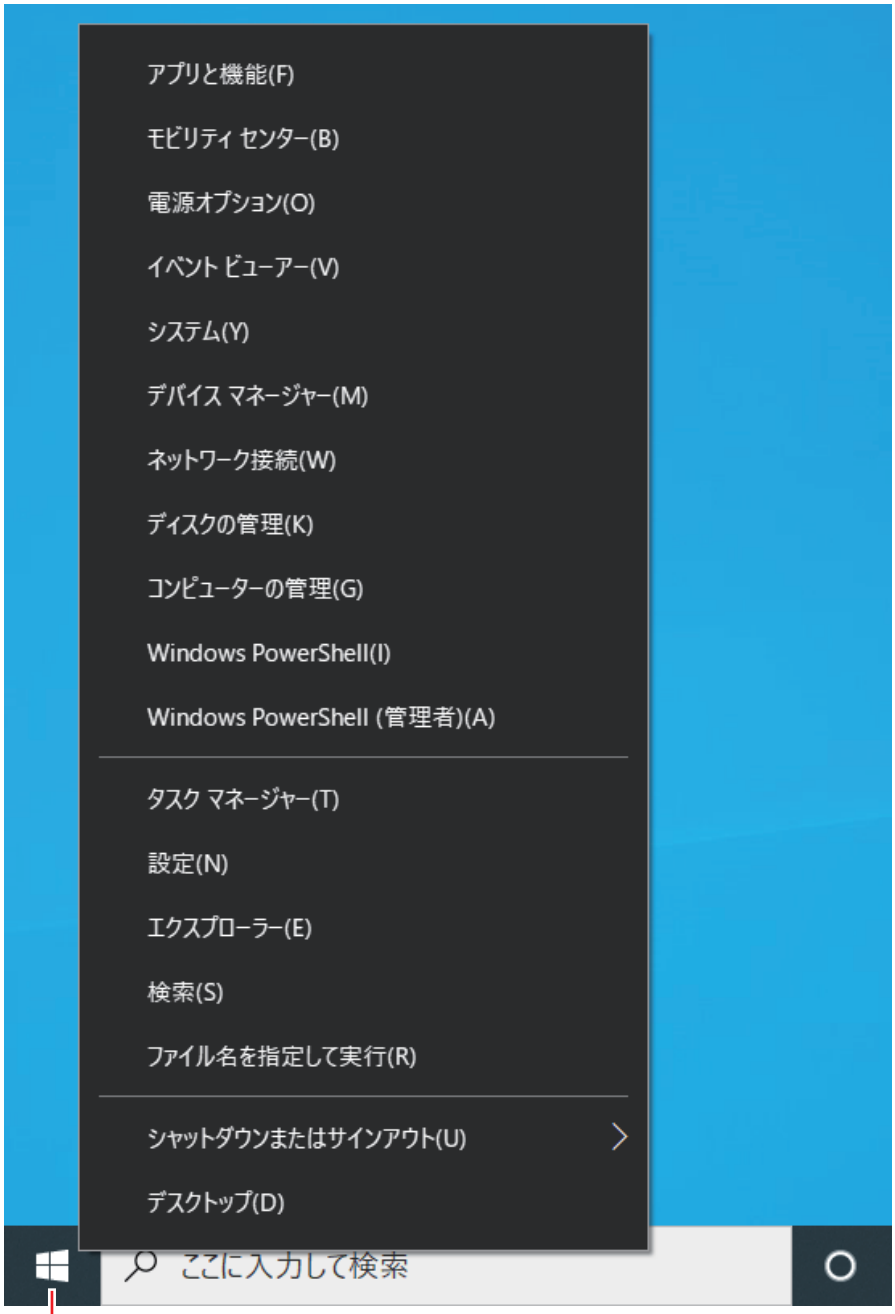
デスクトップ左下の［スタート］をクリックすると、スタートメニューが表示されます。
アプリを起動したり、本機の設定を行う場合は、スタートメニューを開いてください。



<イメージ>

機能メニュー

[スタート]を右クリックすると、次のメニューが表示されます。各項目へのアクセス時に便利です。
※キーボードの [⊞] + [X] でも表示できます。



AC アダプター / バッテリーパックを使う

ここでは、AC アダプターとバッテリーパックについて説明します。
バッテリーパック（以降、バッテリー）は、着脱可能な充電式のリチウムイオン（Li-ion）電池です。

警告

- 本機には、必ず同梱された電源コード /AC アダプター / バッテリーを使用してください。また、本機の電源コード /AC アダプター / バッテリーは、他の製品に使用しないでください。感電・火傷・火災の原因となります。
- バッテリーを、マニュアルで指示されている以外の方法で充電しないでください。発熱や発火、液漏れによる被害の原因となります。
- 本体や付属のバッテリーなどを火中に入れたり、火気に近づけたり、加熱したり、高温状態で放置したりしないでください。破裂などで火傷の原因となります。
- バッテリーの金属端子をショートさせたり、水・コーヒー・ジュースなどの液体でぬらさないでください。発火・感電・火傷の原因となります。
- 付属の AC アダプターやバッテリーを、分解・改造しないでください。
  感電や火傷、化学物質による被害の原因となります。
  分解・改造した AC アダプターやバッテリー（当社での修理対応は除く）での本機の使用は、安全性や製品に関する保証ができません。
- 小さなお子様の手の届く所にバッテリーを保管しないでください。
  なめたりすると火傷や、化学物質による被害の原因となります。
- バッテリーには、落下させる、ぶつける、先の尖ったもので力を加える、強い圧力を加えるなどの衝撃を与えないでください。
  破裂や液漏れにより、火傷や化学物質による被害の原因となります。
- バッテリー駆動時間が極端に短くなった場合は、当社指定の新しいバッテリーと交換してください。
  駆動時間が短くなったバッテリーは、内部に使用されている電池の消耗度合いにばらつきが発生している可能性があります。電池の消耗度合いにばらつきがあるバッテリーをそのまま使用し続けると、発熱･発火･破裂の原因となります。

注意

- AC アダプターを毛布や布団で覆わないでください。
  火傷・火災のおそれがあります。
- AC アダプターやバッテリーに強い衝撃や振動を与えたり、乱暴に扱ったりしないでください。また、破損した AC アダプターやバッテリーを使用しないでください。
  感電・火傷の原因となったり、発熱・発火・破裂のおそれがあります。
  万一、本機の落下などで強い振動や衝撃が加わり、AC アダプターやバッテリーが破損したり、変形したりした場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、本機からバッテリーを取り外してください。
- AC アダプターの温度の高い部分に、長時間触れないでください。
  低温火傷の原因となります。

制限

本機をバッテリーだけで使用する際、プログラムの負荷状態によって、CPU や GPU のパフォーマンスが低下することがあります。
プログラムの負荷が高い作業をする場合は、本機に AC アダプターを接続してご使用ください。

ACアダプターとバッテリーの型番

本機の AC アダプターとバッテリーの型番は、次のとおりです。

- AC アダプター：A17-180P4A
- バッテリー：BT4110-B

ご購入の際は、当社ホームページの「オプション」から本機の AC アダプターまたはバッテリーを選択してください。

https://shop.epson.jp/

バッテリーの交換方法は、p.34「バッテリーの交換」をご覧ください。

使用時の注意

AC アダプターやバッテリーは、次の注意事項を確認して正しくお使いください。

- AC アダプターを使用するとき
  - AC アダプターを長時間接続して使用すると、AC アダプター本体が少し熱を持ちますが、故障ではありません。
  - AC アダプターは頻繁に抜き差ししないでください。
- バッテリーで使用するとき
  - 低温の環境では、バッテリーの性能が低下します。これは一時的なものであり、常温の環境に戻すと性能が回復します。
  - バッテリーだけで使用しているときに、動画再生時にコマ落ちしたり、アプリの動作が遅くなったりする可能性があります。このような場合には、省電力状態に移行しないように設定してください。
    p.92「時間経過で移行させない」

バッテリーを長くお使いいただくために

バッテリーは消耗品です。バッテリーの劣化は、使い方や使用環境によって大きく変わります。バッテリーの劣化を抑え、使用可能時間を延ばすため、次の事項に注意してください。

- 高温の環境では、バッテリーの劣化が早まります。本機を、炎天下の自動車の中や暖房機の近くなどで使用したり、放置したりしないでください。
- 常時 AC アダプターを接続した状態（バッテリー 100% 状態）は、バッテリーの劣化を早めます。バッテリー 100%状態での使用、放置は控えてください。
- 「Energy Save Utility」でバッテリー充電停止レベルを下げると、バッテリー劣化を抑えることができます。必要に応じて設定してください。
  p.93「Energy Save Utility」
- バッテリーの劣化が早まり、バッテリー駆動での使用時間が短くなった場合は、バッテリーの診断を行い、診断結果に応じた対処をしてください。
  p.33「Battery Utility でバッテリーを診断する」

- リチウムイオンバッテリーの場合、約 300 ～ 500 回の放電で、使用可能時間が初期値の約 50 ～ 70%になります。毎日充放電を繰り返すと、1 年程度で寿命となる場合があります。使用可能時間はご使用環境によって変化し、1 年程度で初期値の 50%以下となる場合もあります。上記数値は充放電回数を保証するものではありません。

バッテリーの使用可能時間

バッテリーだけで本機を使用できる時間は次のとおりです。ただし使用環境や本機の状態により時間は変化します。

バッテリーの使用可能時間 *（満充電の場合）
連続 約 8.0 時間

* JEITA（電子情報技術産業協会）の測定方法 Ver.2.0 に基づいています。

本機をバッテリーだけで使用している場合は、使用可能時間が制限されます。
省電力の設定を行うと使用可能時間を延ばすことができます。
p.90「省電力機能」

バッテリーの充電

バッテリーの充電は、AC アダプター接続時に、本機の電源が入 / 切どちらの状態でも自動的に行われます。

バッテリー充電の開始・停止

本機に AC アダプターを接続すると、充電が開始され、100% で充電完了します。

参考

充電停止レベルを下げる

常時 AC アダプターを接続した状態（バッテリー 100% 状態）は、バッテリーの劣化を早めます。「Energy Save Utility」でバッテリー充電停止レベルを下げると、バッテリー劣化を抑えることができます。必要に応じて設定してください。

p.93「Energy Save Utility」

バッテリー充電ランプの表示

AC アダプター接続時のバッテリー充電ランプ（ ）の表示は、次のとおりです。

充電状態	ランプの表示
充電中	点灯（オレンジ色）
満充電	点灯（緑色）

正常に充電されていない場合の対処

AC アダプターを接続しても充電されない場合は、次の対処を行ってください。

- Energy Save Utility の設定を確認する

  「Energy Save Utility」で充電設定やピークシフトを実行している場合、バッテリーの残量や時間帯によって、バッテリー充電が行われません。設定内容の確認をしてください。
  p.93「Energy Save Utility」

- バッテリーを外して再度装着し、動作環境で充電する

  動作環境（10 ～ 35℃）以外では、AC アダプターを接続して 10 時間以上経過すると、バッテリーが正常に充電できなくなります。

- バッテリーの診断をする

  Battery Utility でバッテリーの診断を行い、診断結果に応じた対処をしてください。
  p.33「Battery Utility でバッテリーを診断する」

充電時間

低バッテリー状態からバッテリーの充電完了までの時間は、約 3.2* 時間です。

* 電源が入っている状態では、コンピューターの使用状況により差があります。

> **参考**
>
> **温度条件について**
>
> バッテリーは、化学反応を利用した電池です。このため、動作環境（10 ～ 35℃）以外では、充電速度が極端に遅くなる場合があります。その状態で 10 時間以上経っても充電が完了しないと、バッテリーへの充電が中止されます。

バッテリー残量の確認

画面右下通知領域の「バッテリー」アイコンをクリックすると、バッテリー残量を確認することができます。

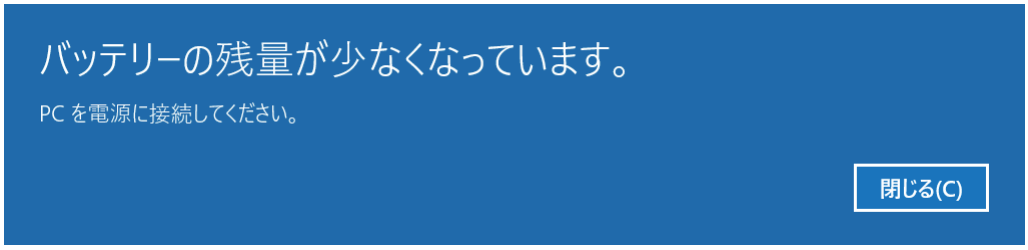
＜バッテリーアイコン＞

バッテリー残量が少なくなったら

バッテリーの残量が低下した際の通知や対処方法などについて説明します。

バッテリー低下の通知

バッテリー残量が少なくなり、「バッテリー低下」の状態になると、本機は次のように通知（警告）します。



バッテリー残量がさらに低下すると、本機は休止状態になります。

対処方法

バッテリー残量低下が通知されたら、すぐに次のどちらかの処置を行ってください。完全放電してシャットダウン（電源切断）してしまうと、保存していないデータはすべて失われます。

- AC アダプターを接続する

  電源を入れたまま AC アダプターを接続します。

- 電源を切る

  直ちに作業中のデータを保存して、実行中のアプリを終了させたあと、本機の電源を切ります。バッテリーを交換する場合も、必ず電源を切ってから行ってください。

参考

AC アダプターを接続しても充電されないときは

「Energy Save Utility」で充電設定やピークシフトを実行している場合、バッテリー残量や時間帯によって、バッテリー充電が行われません。設定内容の確認をしてください。

p.93「Energy Save Utility」

バッテリーの容量がすぐに低下するときは

バッテリーは消耗品です。満充電にしても、バッテリー容量がすぐに低下する場合は、バッテリーの寿命が考えられます。また、バッテリーの駆動時間が極端に短くなった場合は、内部に使用されている電池の消耗度合いにばらつきが発生している可能性があります。電池の消耗度合いにばらつきがあるバッテリーをそのまま使用し続けると、発熱、発火、破裂の原因となります。
バッテリーの診断を行い、診断結果に応じた対処をしてください。

p.33「Battery Utility でバッテリーを診断する」

参考

USB 充電機能について

本機右側面の USB3.1 コネクター（ ）は、電源 OFF 時や休止状態でも、USB 機器（スマートフォンや音楽プレイヤーなど）に電力を供給することができる USB 充電機能に対応しています。
USB 充電機能を有効に設定した場合、電源 OFF の状態でも、対応するコネクターに USB 機器を接続していると機器に電力が供給されるため、バッテリー残量は低下します。
p.55「USB 充電機能を使う」

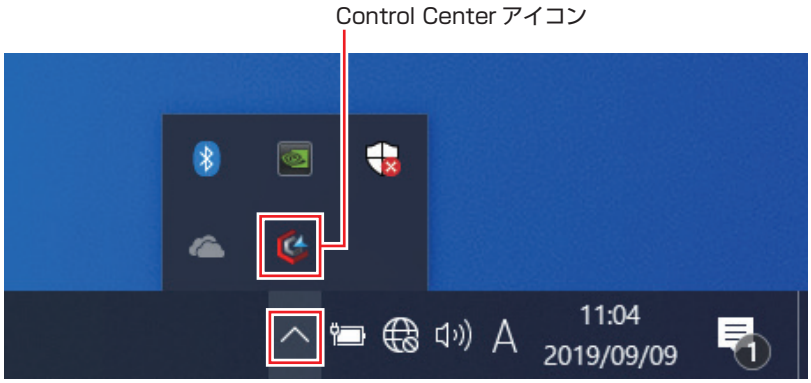
Battery Utilityでバッテリーを診断する

Battery Utility を使うと、バッテリーの状態を診断することができます。
診断方法は次のとおりです。

制限

ピークシフトを実行している場合は、バッテリー診断の前にピークシフトを停止してください。ピークシフト実行中は、バッテリーリフレッシュ（詳細診断）ができません。
p.93「Energy Save Utility」

1 **画面右下通知領域の ∧ －「Control Center」アイコン －「Battery Utility」をクリックします。**



2 「BATTERY UTILITY」画面が表示されたら、バッテリーの状態を確認します。

判定結果	対処
良好（緑）	バッテリーの状態は良好です。
劣化がはじまっています（黄）	画面の注意事項を確認後、［リフレッシュ / 診断開始］をクリックしてバッテリーをリフレッシュしてみてください。バッテリーの状態が改善する可能性があります。
交換時期です（赤）	画面の注意事項を確認後、［リフレッシュ / 診断開始］をクリックしてバッテリーをリフレッシュしてみてください。バッテリーの状態が改善する可能性があります。改善されない場合は本機専用の新しいバッテリーに交換してください。
使用不可（赤）	電源を切り、バッテリーを装着しなおしてください。対処を行っても「使用不可」と判定される場合は、本機専用の新しいバッテリーに交換してください。 消耗したバッテリーをそのまま使用し続けると、発熱、発火、破裂の原因となります。

バッテリーの交換

複数のバッテリーを交互に使用する場合や、バッテリーが寿命に達した場合は、バッテリーを交換します。
交換用のバッテリーについては、当社のホームページをご覧ください。

https://shop.epson.jp/

バッテリーの交換方法

バッテリーの交換方法は次のとおりです。

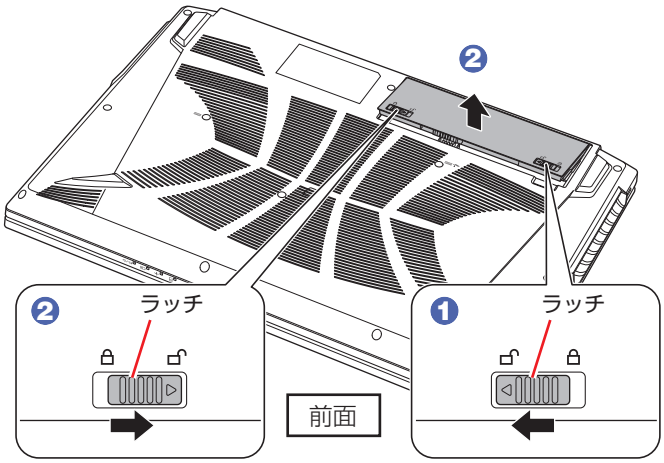
1 本機の電源を切ります。AC アダプターが接続されている場合は外します。

2 底面を上にし、前面側を手前にして置きます。

3 バッテリーを取り外します。

❶ 右側のラッチをロック解除位置（ 🔓 ）に合わせます。

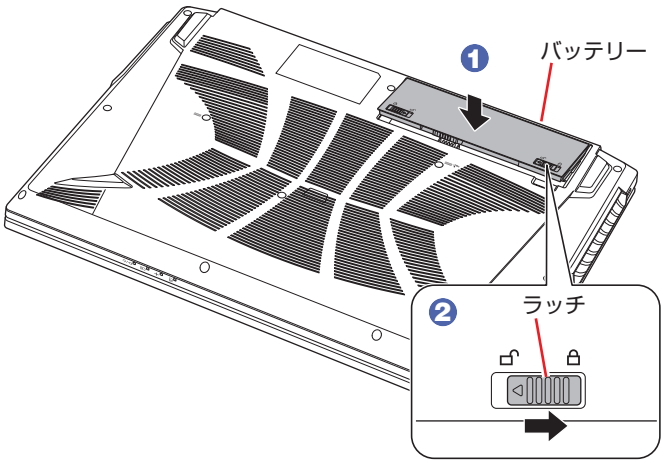
❷ 左側のラッチをロック解除位置（ 🔓 ）に合わせたまま、バッテリーを取り外します。



4 当社指定の新しいバッテリーを取り付けます。

❶ バッテリーを本機に合わせ、「カチッ」と音がするまでしっかり押し込みます。

❷ 右側のラッチをロック位置（ 🔒 ）に合わせます。



長期間使用しないときは

小さなお子様の手の届く場所にバッテリーを保管しないでください。
なめたりすると、火傷や化学物質による被害の原因となります。

2 週間以上の長期に渡ってコンピューターを使用しないときは、次のどちらかの状態で保管してください。

- バッテリーを外して保管する
- Shipping Mode に設定して保管する

バッテリーを外して保管する

バッテリーの取り外し方は、p.35「バッテリーの交換方法」の 1 ～ 3 をご覧ください。

- バッテリーは、ダンボールなどの、電気を通さない箱に入れてください。また、端子をショートさせないために、金属製ネックレスやクリップなどの導電性のものを同梱しないでください。
- バッテリーは、振動や衝撃がかからないように、安定した場所に保管してください。
- バッテリー 100% 状態や 0% 状態のまま放置すると、バッテリーの劣化が早まります。この劣化は、保存温度が高いほど早く進みます。長期間保管するときは、充電容量を 50% 前後にして、乾燥した冷暗所に保管することをおすすめします。
- バッテリーは、使用しなくても自己放電により、蓄えられた電気が徐々に無くなります。過放電となったバッテリーは、火災の危険を防止するため、コンピューター本体の充電保護回路が作動して充電することができなくなります。過放電を防止するため、定期的（1 ヶ月に 1 回など）にバッテリー残量を確認し、残量 30 ～ 50% を維持してください。

※ 長期に渡ってバッテリーを保管するなどし、バッテリーが過放電になると、バッテリー内の保護回路が作動し、ある日突然充電できなくなることがあります。その際は、バッテリーの診断を行い、診断結果に応じた対処をしてください。

p.33「Battery Utility でバッテリーを診断する」

Shipping Mode に設定して保管する

Shipping Mode に設定すると、バッテリーの自己放電が抑えられます。
充電容量を 50 ～ 70%にし、Shipping Mode に設定して乾燥した冷暗所に保管してください。
設定は「UEFI Setup ユーティリティー」の次の項目で行います。

「Exit メニュー画面」－「Shipping Mode」

p.116「UEFI Setup ユーティリティーの操作」
p.132「Save & Exit メニュー画面」

使用済みバッテリーの取り扱い

Li-ion

使用済みのリチウムイオン（Li-ion）バッテリーは、再利用可能な貴重な資源です。有効資源のリサイクルにご協力ください。

バッテリーリサイクル時の注意

使用済みのバッテリーは、ショートしないように、端子部にテープを貼るかポリ袋などに入れて絶縁し、リサイクル協力店にある充電式電池回収ボックスに入れてください。
絶縁しないと、破裂、発熱の原因となります。
バッテリーは、燃やしたり埋めたり一般ゴミに混ぜて捨てたりしないでください。環境破壊の原因となります。

指紋認証機能を使う

本機には、Windows Hello に対応した指紋センサーが搭載されています。指紋を登録すると、パスワードを入力せずに指紋認証で Windows にサインインできるようになります。

使用時の注意

指紋認証機能は、次の注意事項を確認して正しくお使いください。

- 指紋認証機能は 100%の完全な本人認証を保証するものではありません。
- 指や指紋センサーに汚れや水分が付いていたり、泥・油で着色していたりすると、指紋の登録や認証ができないことがあります。指の汚れや水分を拭きとり、指紋センサーを乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 指が非常に乾燥している場合は、ハンドクリームを塗るなどして保湿してください。
- 指にしわが多い、ざらざらしている、傷がある、登録したときの指紋から著しく変化している場合は、違う指で指紋登録・認証を行ってください。
- 指紋センサー表面を、爪や固いもの、先の尖ったもので引っかかないでください。指紋センサーにキズが付いたり、正常に動作しなくなるおそれがあります。

指紋の登録方法

指紋の登録方法は次のとおりです。

1 **［スタート］－ ⚙（設定）－「アカウント」－「サインインオプション」をクリックします。**

2 **パスワードを設定していない場合は、パスワードの［追加］をクリックし、設定します。**

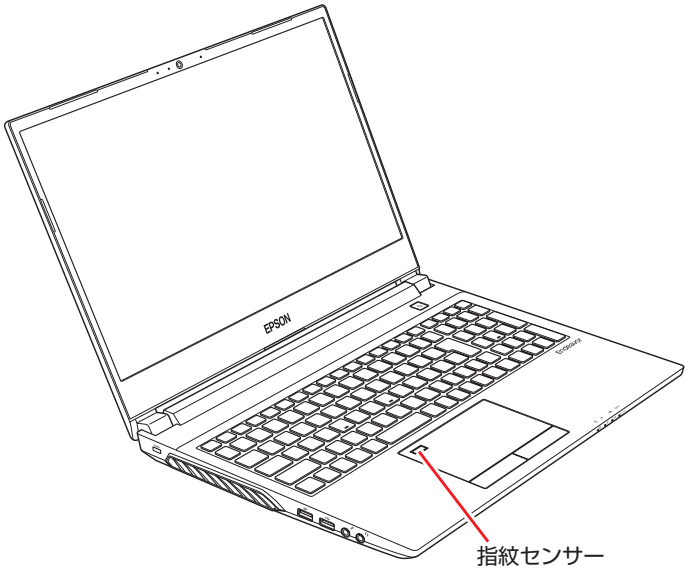
画面の指示に従って設定してください。

3 **PINを設定していない場合は、Windows Hello暗証番号(PIN)の[追加]をクリックして設定します。**

画面の指示に従って設定してください。

4 **Windows Hello 指紋認証の[セットアップ]をクリックし、指紋認証の設定をします。**

画面の指示に従って設定してください。指示があったら、登録する指を指紋センサーにタッチして登録します。



設定が完了すると、Windows のロック画面（p.24）から指紋認証でサインインできるようになります。

タッチパッドを使う

本機には、タッチパッドが搭載されています。タッチパッドは、マウスと同じようにポインターなどを操作したりクリックしたりするための装置です。

タッチパッド使用時の注意

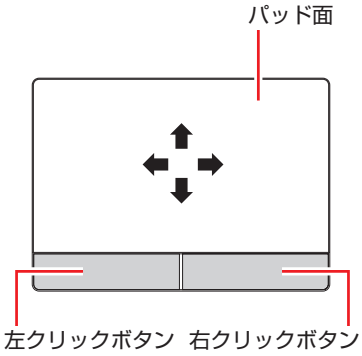
タッチパッドは、次の注意事項を確認して正しくお使いください。

- パッド面には指で触れてください。ペンなどで触れると、ポインターの操作ができないだけでなく、パッド面が破損するおそれがあります。
- ポインターの操作は、1 本の指で行ってください（複数の指で使用可能な機能は除く）。一度に 2 本以上の指で操作すると、ポインターが正常に動作しません。
- 手がぬれていたり、汗ばんでいると、ポインターの操作が正しくできないことがあります。
- キーボードを操作しているときにパッド面に手が触れると、ポインターが移動してしまうことがあります。キーボードが操作しにくい場合などには、タッチパッドの機能をオフにすることもできます。
  p.42「キー操作で機能のオン / オフを切り替える」
- 起動時の温度や湿度により、正常に動作しない場合があります。この場合は電源を一度切って入れなおすことにより正常に動作することがあります。
- 電源を入れたまま LCD ユニットを閉じていたり、使用中に本機の温度が上がってくると、正常に動作しない場合があります。この場合は、電源を一度切って入れなおすことにより正常に動作することがあります。

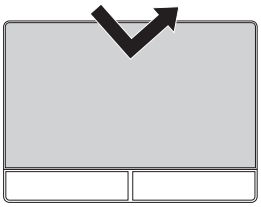
タッチパッドの操作

タッチパッドは、パッド面とクリックボタンから構成されています。指をパッド面の上で前後左右に動かすと、動かした方向に画面上のポインターが移動します。

＜画面＞

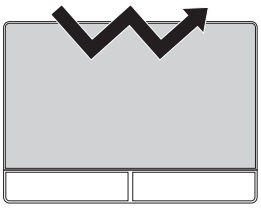


●クリック



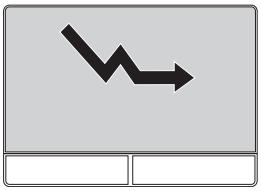
ポインターを画面上の対象に合わせて、パッド面を軽く 1 回たたきます。
左クリックボタンを「カチッ」と押すのと同じ操作です。

●ダブルクリック



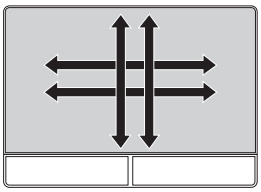
ポインターを画面上の対象に合わせて、パッド面を軽く 2 回たたきます。
左クリックボタンを「カチカチッ」と 2 回押すのと同じ操作です。

●ドラッグアンドドロップ



ポインターを画面上の対象に合わせて、ダブルクリックの 2 回目のクリック時に、指をパッド面に触れたまま移動し、離します。
左クリックボタンを押したままの状態でポインターを移動し、離すのと同じ操作です。

●スクロール



上下のスクロールは、パッド面を 2 本指で触れて前後に動かします。左右のスクロールは、パッド面を 2 本指で触れて左右に動かします。

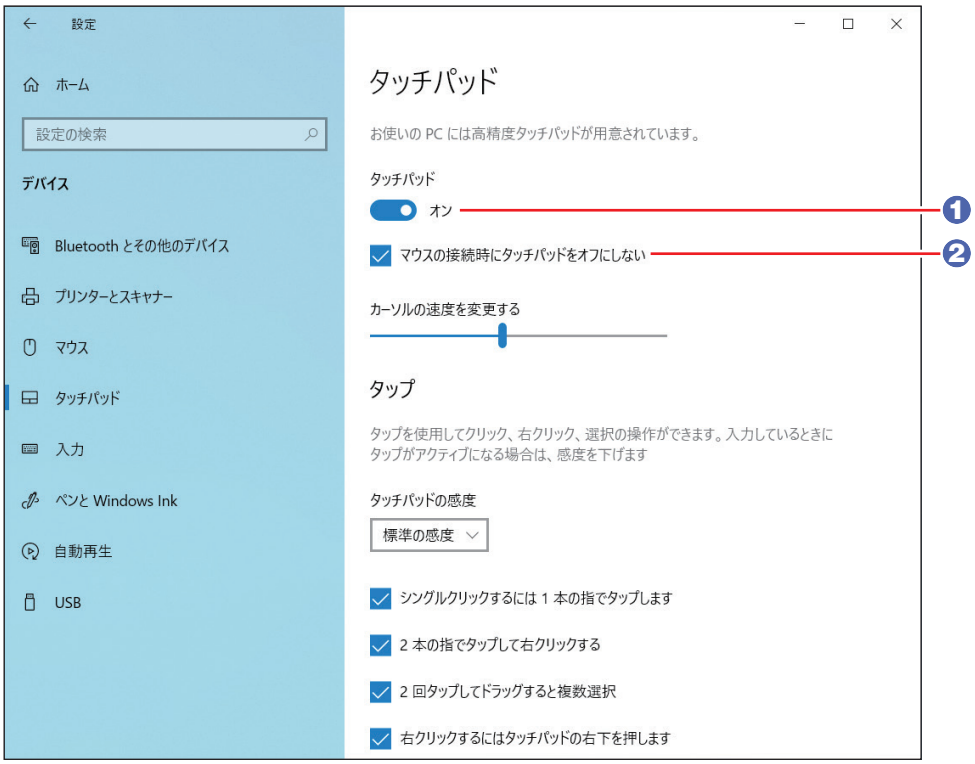
タッチパッドの詳細設定

タッチパッドの設定は次の場所で行います。

［スタート］－ （設定）－「デバイス」－「タッチパッド」

タッチパッドの詳細設定画面では次の設定ができます。

- タッチパッド機能をオフにする … ❶
- USB マウス接続時にタッチパッド機能をオフにする … ❷
- スクロールやズームの設定
- 複数指での操作設定



参考

キー操作で機能のオン / オフを切り替える

タッチパッド機能のオン / オフの切り替えは、キー操作で行うこともできます。

Fn ＋ F1 （ ）

p.46「Fn キーと組み合わせて使うキー」

制限

「マウスの接続時にタッチパッドをオフにしない」のチェックを外すと、USB キーボードなどの USB デバイスを接続時にも、タッチパッド機能がオフになることがあります。

キーボードを使う

本機には、購入時の選択により次のいずれかのキーボードが搭載されています。

- 日本語対応 107 キー（10 キー付き）
- 日本語対応 107 キー（10 キー / バックライト付き）
- 英語対応 102 キー（10 キー / バックライト付き）

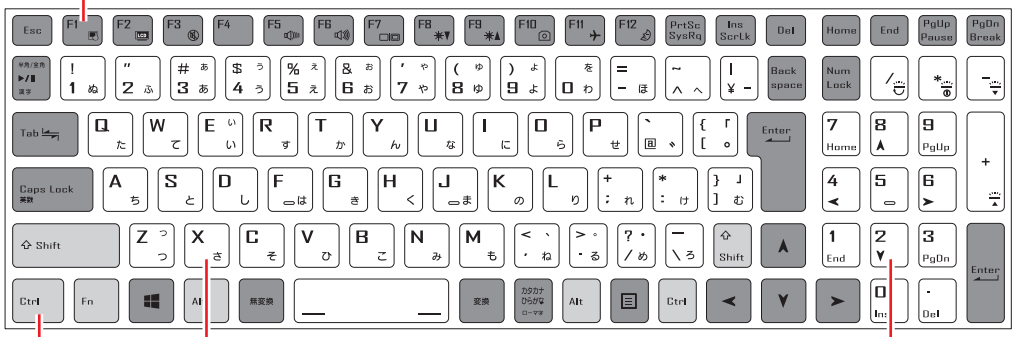
ここでは「日本語対応 107 キー（10 キー / バックライト付き）」を例にして説明します。

※英語対応キーボード選択時は、別紙『英語キーボードをお使いの方へ』をご覧ください。

キーの種類と役割

各キーには、それぞれ異なった機能が割り当てられています。

●機能キー
文字を消す、入力位置を変えるなど、特別な役割が割り当てられたキーです。
機能キーの役割は、ソフトウェアによって異なります。



●文字キー
英数字、記号の入力や日本語入力システムを利用して漢字やひらがななどの日本語を入力します。

●数値キー
数字、演算子などを入力します。
Num Lock の状態により機能が変わります。入力をオフにすることもできます。
p.46

●制御キー
文字キーや機能キーの働きを変化させます。
単独では機能しません。

文字を入力するには

文字キーを押すとキートップ（キーの上面）に印字された文字が入力されます。
入力モードによって、入力される文字は異なります。

直接入力モード		キートップのアルファベットをそのまま入力します。
日本語入力モード	ローマ字入力	キートップのアルファベットでローマ字を入力し、漢字やひらがなに変換します。
	かな入力	キートップのひらがなをそのまま入力し、漢字やカタカナに変換します。

入力モードの切り替え

半角/全角 を押すと、直接入力モードと日本語入力モードを切り替えることができます。
日本語入力モードのローマ字入力とかな入力の設定は日本語入力システムで行います。

日本語を入力するには

ひらがなや漢字などの日本語の入力は、日本語入力システムを使用します。
本機には日本語入力システム「MS-IME」が標準で搭載されています。

MS-IME

画面右下通知領域の入力モードボタンを右クリックすると、IME のオプションが表示されます。

入力モードボタン

MS-IME 以外の日本語入力システムを使用する場合は、そのシステムのマニュアルをご覧ください。

キーロック機能

文字や数値の入力モードを固定する機能について説明します。

アルファベット大文字入力の固定

アルファベットの入力を大文字または小文字に固定することができます。
固定する文字の切り替えは、次のキー操作で行います。

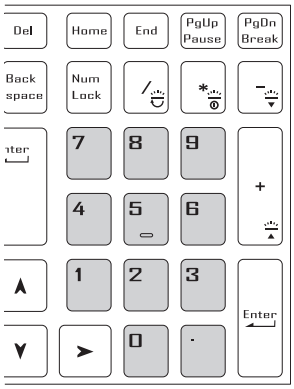
Shift ＋ Caps Lock

大文字に固定した状態のまま小文字を入力するには、Shift を押しながら文字を入力します。

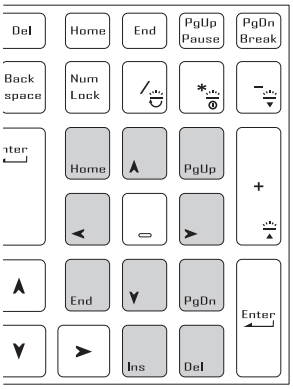
数値入力の固定

NumLock を押すと、数値入力固定と矢印などのカーソル制御入力固定を切り替えることができます。

数値入力に固定



カーソル制御に固定



数値入力に固定した状態でカーソル制御を行うには、Shift を押しながらカーソル制御のキーを操作します。

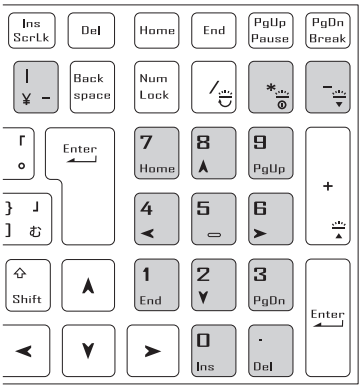
数値キーの機能をオフにする

本機では、数値キー（10 キー）の機能をオフ（無効）にすることができます。数値入力やカーソル制御の必要がない場合、機能をオフにしておくと、誤って数値キーを押しても何も入力されません。
設定は「UEFI Setup ユーティリティー」の次の項目で行います。

「Advanced」メニュー画面 －「Keyboard」－「10 Key State」：[Off]（無効）

p.116「UEFI Setup ユーティリティーの操作」
p.128「Advanced メニュー画面」

オフになるキーの範囲は次のとおりです。（アミカケ部分）



Fnキーと組み合わせて使うキー

キートップに青色で印字されている機能キーは Fn と組み合わせて実行します。

キーの組み合わせ	機能
Fn ＋ F1	タッチパッドのオン / オフを切り替えます。 p.42「タッチパッドの詳細設定」
Fn ＋ F2	LCD 画面のバックライトを消灯します。 消灯中にどれかキーを押すかタッチパッドを操作すると、バックライトが点灯します。 p.58「LCD バックライトの消灯」
Fn ＋ F3	スピーカーのミュート（消音）の入 / 切を切り替えます。 p.67「音量の調節」
Fn ＋ F5	スピーカーの音量を小さくします。 p.67「音量の調節」
Fn ＋ F6	スピーカーの音量を大きくします。 p.67「音量の調節」
Fn ＋ F7	外付けの表示装置に接続している場合に、画面表示を切り替えます。 p.62「画面表示の切り替え方法」
Fn ＋ F8	LCD 画面を暗くします。 p.57「LCD ユニットの設定」

Fn ＋ F9	LCD 画面を明るくします。 p.57「LCD ユニットの設定」
Fn ＋ F10	カメラ機能のオン / オフ を切り替えます。 p.98「カメラを使う」
Fn ＋ F11 ※無線機能搭載時のみ動作します。	機内モードのオン / オフ を切り替えます。 機内モードのオン / オフ状態は、機内モードランプで確認できます。 オン：ランプ点灯（無線オフ） オフ：ランプ消灯（無線オン） p.15「電源スイッチ / ステータス表示ランプ」
Fn ＋ F12	省電力状態に移行します。購入時の設定では、スリープに移行します。 p.90「省電力機能」
Fn ＋ ScrLk	ソフトウェアによって機能が異なります。詳しい内容は、ご使用のソフトウェアのマニュアルをご覧ください。
Fn ＋ ▶/II	音楽等の再生 / 一時停止をします。
Fn ＋ Pause	ポーズキーとして使用できます。
Fn ＋ Break	ブレイクキーとして使用できます。
Fn ＋ ※バックライト付きキーボード搭載時のみ動作します。	LED KEYBOARD SETTING 画面を開いたり閉じたりします。 p.48「キーボードのバックライト設定」
Fn ＋ ※バックライト付きキーボード搭載時のみ動作します。	キーボードのバックライトの点灯 / 消灯を切り替えます。 p.48「キーボードのバックライト設定」
Fn ＋ ※バックライト付きキーボード搭載時のみ動作します。	キーボードのバックライトを暗くします。 p.48「キーボードのバックライト設定」
Fn ＋ ※バックライト付きキーボード搭載時のみ動作します。	キーボードのバックライトを明るくします。 p.48「キーボードのバックライト設定」

キーボードのバックライト設定

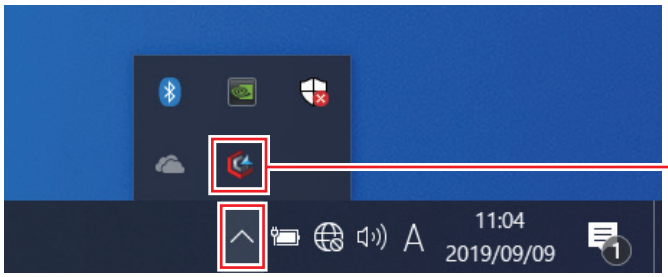
バックライト付きキーボードの場合

バックライト付きキーボードが搭載されている場合は、「LED KEYBOARD SETTING」でバックライトの設定を行うことができます。
バックライトの設定方法は次のとおりです。

1 **LED KEYBOARD SETTING を起動します。**

LED KEYBOARD SETTING の起動方法は次の 2 つです。

- Fn ＋ を押します。
- 画面右下通知領域の ＜ ー「Control Center」アイコンー「LED Keyboard」をクリックする。



2 **「LED KEYBOARD SETTING」画面が表示されたら、キーボードのバックライト設定をします。**

HDD/SSD の概要

本機には、記憶装置として HDD または SSD が搭載されています。

制限

- HDD/SSD アクセスランプ点滅中に、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。アクセスランプ点滅中は、コンピューターが HDD/SSD に対してデータの読み書きを行っています。この処理を中断すると、HDD/SSD 内部のデータが破損するおそれがあります。
- 本機を落としたり、ぶつけたりしてショックを与えると HDD/SSD が故障するおそれがあります。ショックを与えないように注意してください。また、持ち運ぶときは、電源を切った状態で専用バッグに入れるなどして、保護するようにしてください。
- HDD/SSD が故障した場合、HDD/SSD のデータを修復することはできません。

データのバックアップ

HDD/SSD に記録されている重要なデータは、外付けの記憶装置などにバックアップしておくことをおすすめします。万一 HDD/SSD の故障などでデータが消失してしまった場合でも、バックアップを取ってあれば、被害を最小限に抑えることができます。

購入時のHDD/SSD領域

購入時、Windows がインストールされている HDD/SSD の領域は、次のように設定されています。

通常

ドライブ（領域）	容量
システム	260MB
MSR	16MB
C ドライブ（Windows）	残り
リカバリー	約 1GB

パーティション分割サービスを選択された場合

ドライブ（領域）	容量
システム	260MB
MSR	16MB
C ドライブ（Windows）	購入時に選択された容量
リカバリー	約 1GB
D ドライブ	残り

参考

パーティション分割サービス

パーティション分割サービスとは、Windows がインストールされている HDD/SSD の領域を C ドライブ、D ドライブに分割した状態でコンピューターをお届けするサービスのことです。

制限

- 「リカバリー領域」は削除しないでください。「リカバリー領域」には PC を初期状態に戻す (p.146) ためのデータが設定されています。
- C ドライブの領域変更（分割など）は行わないでください。動作保証していません。

RAID 機能

RAID とは、同一容量の SSD を複数組み合わせて使用するシステムのことです。
※ 購入時に RAID キットを選択した場合のみ、RAID 機能を使用することができます。

RAIDの種類

本機で使用できる RAID は、RAID1 です。

種類	別名	SSD 必要数	特徴
RAID1	ミラーリング	2 基	2 基の SSD に同時に同じデータを書き込む。一方の SSD が破損しても、もう一方の SSD からデータを復旧することができる。

RAID状態の確認

RAID の状態は「Intel Optane Memory and Storage Management」で確認できます。
「Intel Optane Memory and Storage Management」画面は次の手順で表示します。

［スタート］－［Intel® Optane™ Memory and Storage Management］

参考

RAIDのステータスを通知するには

「Intel Optane Memory and Storage Management」では、RAIDを構成するSSDが故障した場合などに警告が通知されません。
警告を通知するには、下記より「インテル ラピッド・ストレージ・テクノロジー」をダウンロードし、インストールを行ってください。

http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?037224

SSDが破損したら

RAID1 が構成されている状態で SSD が破損すると、次の状態になります。

- **SSD1 基破損（データ復旧可）**

  「Intel Optane Memory and Storage Management」画面の［管理］タブから破損した SSD の表示が消えます。（破損していない SSD だけが表示されます）

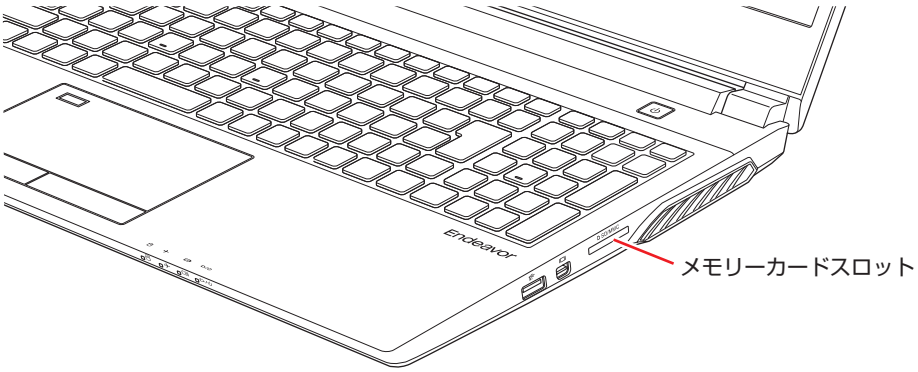
- **SSD2 基破損（データ復旧不可）**

  Windows が起動せず UEFI Setup ユーティリティーが起動します。
  破損状況により、次のエラーメッセージが表示される場合もあります。
  Reboot and Select proper Boot device or Insert Boot Media in selected Boot device and press a key

SSD が破損した場合は、別紙『サポート・サービスのご案内』をご覧になり、修理受付窓口までご連絡ください。

メモリーカードを使う

本機右側面にはメモリーカードスロットが搭載されており、メモリーカードをセットして使用することができます。



本機で使用できるメモリーカード

本機で使用できるメモリーカードは、次の 2 種類です。

※イラストは各メモリーカードのイメージです。
※記載は対応規格であり、すべてのカードでの動作を保証するものではありません。

＜ SD メモリーカード＞
※ SDHC / SDXC 対応

＜マルチメディアカード＞

制限

- 著作権保護機能には対応していません。
- I/O カードは使用できません。

メモリーカード使用時の注意

メモリーカードは、次の点に注意して正しく使用してください。

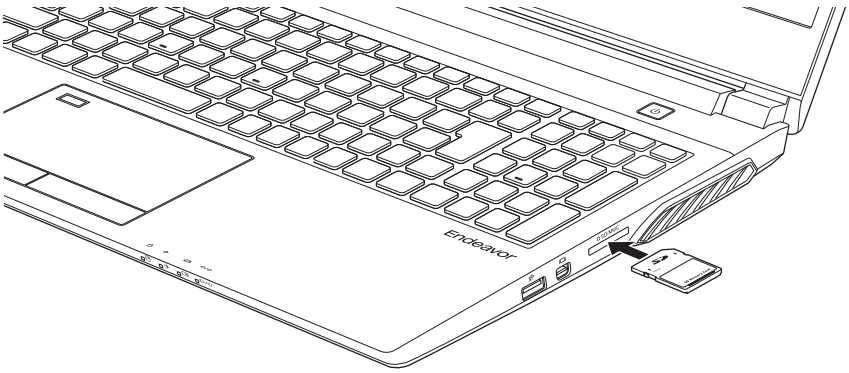
- メモリーカードアクセス中に、メモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。メモリーカード内のデータが破損するおそれがあります。
- 記録されているデータによっては、読み込み時に専用のアプリが必要になる場合があります。詳しくは、データを作成した周辺機器またはアプリのマニュアルをご覧ください。
- データの書き込み中に電源の供給が停止するとメモリーカードに不具合が発生する可能性があります。メモリーカードを使用するときは、省電力状態に移行しないように設定してください。
  p.92「時間経過で移行させない」

フォーマット

メモリーカードのフォーマットは、必ずメモリーカードを使用するデジタルカメラなどの周辺機器側で行ってください。本機でフォーマットを行うと、周辺機器でメモリーカードが認識されなくなる場合があります。
フォーマットの方法は、周辺機器のマニュアルをご覧ください。

メモリーカードのセットと取り出し

メモリーカードのセット方法は、次のとおりです。
メモリーカードのラベル面を上（端子面を下）にしてメモリーカードスロットに挿入し、「カチッ」と音がするまで押し込みます。



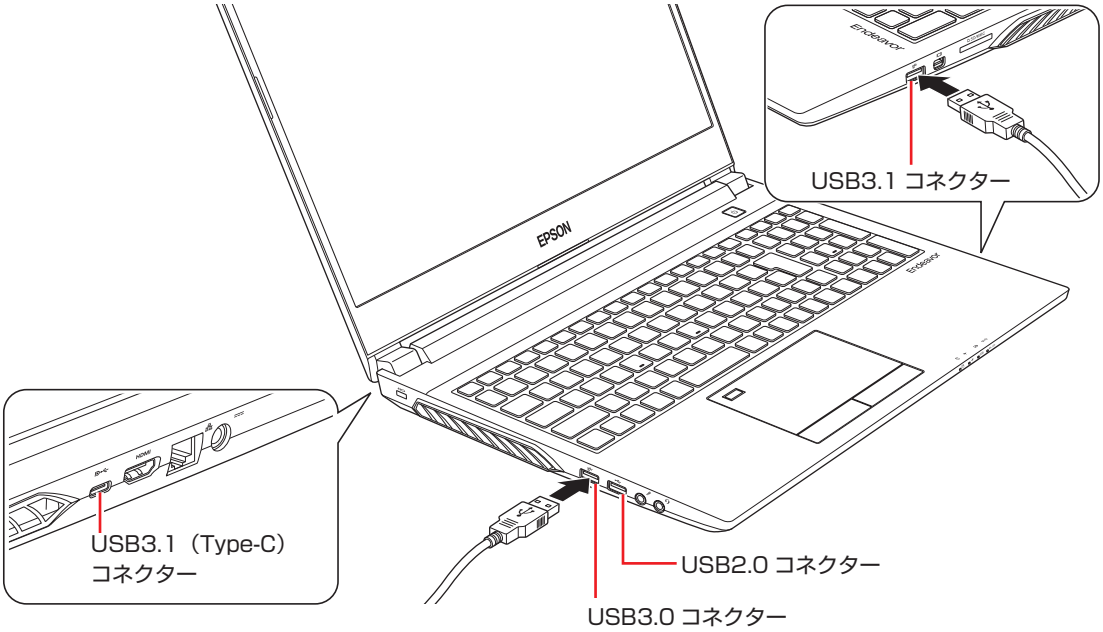
正しくセットしても、メモリーカードはスロットから 2mm くらい出たままになります。メモリーカードをセットした状態で本機を持ち運ぶ際は、十分注意してください。
本機をバッグなどに入れる場合には、必ずメモリーカードを取り出してください。

メモリーカードを取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し込むと、メモリーカードが排出されます。

USB 機器を使う

本機には次のUSBコネクターが搭載されており、USB機器を接続して使用することができます。
※ 転送速度は、本機のコネクターと接続するUSB機器の組み合わせによります。

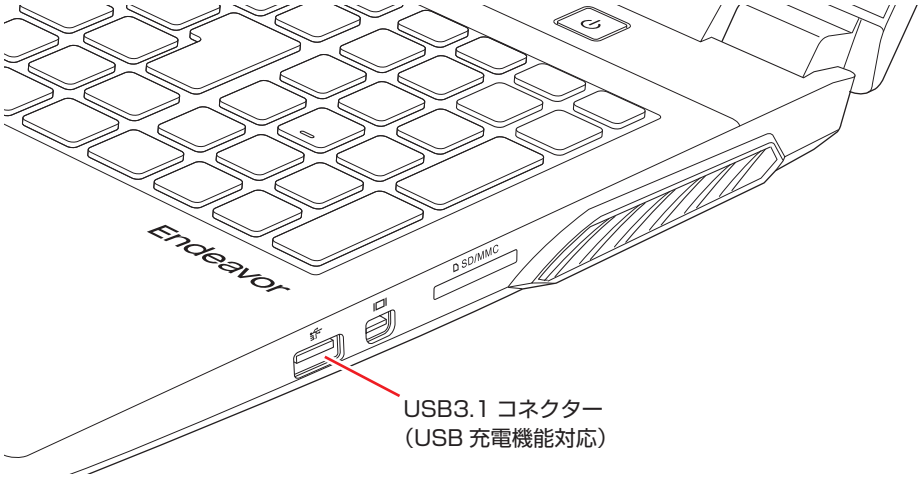
- USB2.0 コネクター Type-A × 1（左側面手前）
- USB3.0 コネクター Type-A × 1（左側面奥）
- USB3.1 コネクター Type-A × 1（右側面）
  USB 充電機能に対応しています。
  p.55「USB 充電機能を使う」
- USB3.1 コネクター Type-C × 1（背面）
  ディスプレイへ映像 / 音声出力もできます。
  p.60「外付けディスプレイを使う」
  ※ USB Type-C のパワーデリバリー（USB PD）機能には対応していません。



USB充電機能を使う

本機右側面の USB3.1 コネクター（ ）は、電源 OFF 時や休止状態でも、USB 機器（スマートフォンや音楽プレイヤーなど）に電力を供給することができる USB 充電機能に対応しています。

制限 USB 機器によっては、USB 充電機能を使用できないことがあります。



USB 充電機能を有効にする

購入時、USB 充電機能は無効になっています。USB 充電機能を使用する場合は、「UEFI Setup ユーティリティー」の次の項目を有効にしてください。

「I/O Interface」メニュー画面 －「USB Configuration」－「USB Charger」：[Enabled]（有効）

p.116「UEFI Setup ユーティリティーの操作」
p.129「I/O Interface メニュー画面」

USB 機器への電力供給停止設定

USB 充電機能使用時にバッテリー残量が 10% 以下（初期値）になると、USB 機器への電力供給が停止されます。 電力供給停止の値は次の場所で設定変更することができます。

「I/O Interface」メニュー画面 －「USB Configuration」－「Stop Charging Battery Capacity」

10%（初期値）～ 90% で設定します。

p.116「UEFI Setup ユーティリティーの操作」
p.129「I/O Interface メニュー画面」

画面表示機能

ここでは、本機の LCD ユニットでの画面表示について説明します。
本機では、LCD ユニットのほかに外付けの表示装置を接続することもできます。
p.60「外付けディスプレイを使う」

LCDユニットの仕様

本機には次の LCD（液晶ディスプレイ）が搭載されています。

LCD	最大解像度
15.6 型　フル HD	1920 × 1080

制限

LCD の表示中に、次の現象が起きることがあります。これは、カラー LCD の特性で起きるもので故障ではありません。

- LCD は、高精度な技術を駆使して 100 万以上の画素から作られていますが、画面の一部に常時点灯または常時消灯する画素が存在することがあります。
- 色の境界線上に筋のようなものが現れることがあります。
- Windows の背景の模様や色、壁紙などによってちらついて見えることがあります。この現象は、背景の模様が市松模様や横縞模様といった特殊なパターンで、背景の色が中間色の場合に発生しやすくなります。

参考

LCD のドット抜け基準値

本機 LCD のドット*抜け基準値は、8 個以下です。これは全ドットの 0.00013% 以下に相当します。

*「ドット」は副画素（サブピクセル）を指します。LCD では、1 個の画素が 3 個の副画素で構成されています。
本書に記載しているドット抜け基準値は、ISO13406-2 に従って、副画素単位で計算しています。

副画素数：6,220,800 個

LCDユニットの設定

LCD ユニットの設定や動作について説明します。

表示に関する各種設定

画面表示に関する設定は次の場所で行います。

［スタート］－（設定）－「システム」－「ディスプレイ」

画面の明るさを調整する

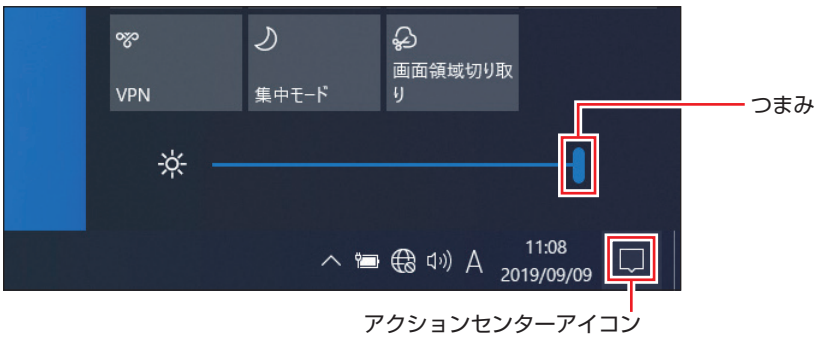
画面の明るさはキー操作やアクションセンターで調整することもできます。

●キー操作で調整する

キー操作	状態
Fn ＋ F8 ☼▼	暗くなります
Fn ＋ F9 ☼▲	明るくなります

●アクションセンターで調整する

画面右下通知領域の「アクションセンター」アイコンをクリックし、つまみを左右にドラッグして調整します。



LCD バックライトの消灯

本機を使用していない間、LCD バックライトを消灯することで消費電力を抑えることができます。LCD バックライトの消灯方法は、次のとおりです。

キー操作 / LCD ユニットの操作	状態
Fn + F2 LCD	本機が起動している状態で押すと LCD バックライトが消灯します。 どれかキーを押すかタッチパッドを操作すると、LCD バックライトが点灯します。

LCD ユニットを閉じたときの動作

LCD ユニットを閉じると、本機は「スリープ」になります。

p.90「省電力状態」

NVIDIA GeForce RTX 2060で表示する

本機は NVIDIA のグラフィックス切替技術「Microsoft Hybrid Graphics Mode」に対応しています。
Microsoft Hybrid Graphics Mode は、アプリケーションによって自動でグラフィック機能を切り替え、省電力とハイパフォーマンスを両立させます。
メールや Web ブラウジングでは電力消費の少ない内蔵グラフィックス機能を使用し、HD 動画やゲームなど高いパフォーマンスを必要とする場合は、自動的に「NVIDIA GeForce RTX 2060」へ切り換えます。

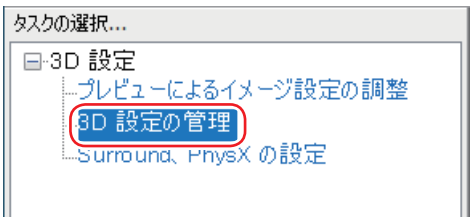
NVIDIA コントロール パネルを使う

「NVIDIA GeForce RTX 2060」の表示設定は「NVIDIA コントロール パネル」で行います。
「NVIDIA コントロール パネル」の表示と設定方法は、次のとおりです。
ここでは、特定のゲームやアプリケーション実行時の 3D 設定について記載します。

1 **デスクトップ上の何もないところで右クリック－「NVIDIA コントロール パネル」を選択します。**

2 **「NVIDIA コントロール パネル」画面が表示されたら、次のように設定します。**

❶ 画面左側の「タスクの選択 ...」で「3D 設定」をダブルクリックし「3D 設定の管理」をクリックします。

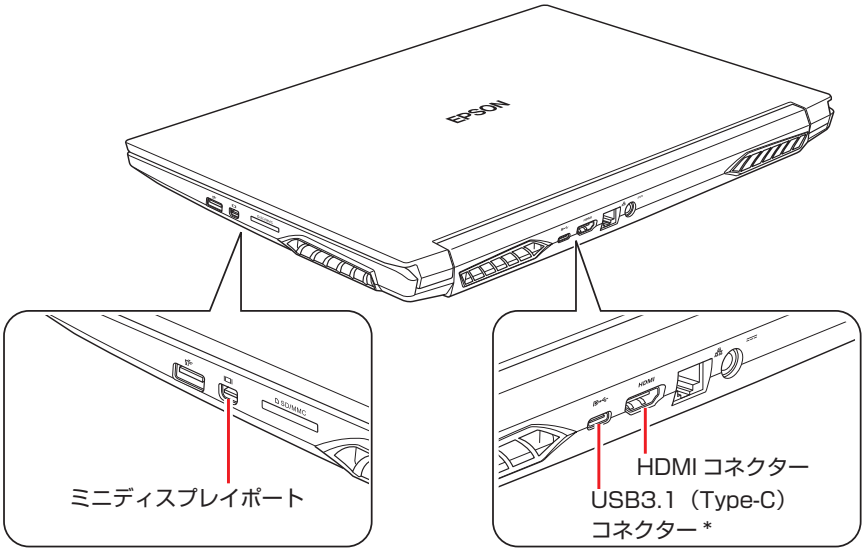


❷「3D 設定の管理」と表示されたら、「プログラム設定」タブ－「1. カスタマイズするプログラムを選択する」で一覧を表示して 3D 表示したいプログラムを選択し、「2. このプログラム用の優先するグラフィックプロセッサを選択する」で「高パフォーマンス NVIDIA プロセッサ」を選択して、［適用］をクリックします。

「NVIDIA コントロール パネル」の詳細は、ヘルプをご覧ください。

外付けディスプレイを使う

本機には、次のコネクターが搭載されており、外付けディスプレイを 3 台接続することができます。



* オルタネートモードに対応しており、外付けディスプレイへ映像 / 音声出力もできます。
USB Type-C のパワーデリバリー（USB PD）機能には対応していません。

参考

音声出力先を変更する

接続した機器から音声を出力する場合は、音声出力先の設定が必要です。
p.69「音声出力先の設定」

画面表示の切り替え方法は p.62「画面表示の切り替え方法」をご覧ください。

外付けディスプレイへの表示を終了する

外付けディスプレイへの表示が終了したら、Windows を終了後に必ず接続ケーブルを取り外してください。外付けディスプレイの電源が入っていなくても、ケーブルを接続しているだけで自動認識され、信号が出力されます。

無線 LAN 機能搭載時、ワイヤレス（無線）接続でディスプレイに表示することもできます。接続方法は p.65「ワイヤレスディスプレイを使用する（オプション）」をご覧ください。

プロジェクターの接続

プロジェクターの接続方法は、プロジェクターのマニュアルをご覧ください。

画面表示の種類

本機では、次のような画面の組み合わせで表示ができます。

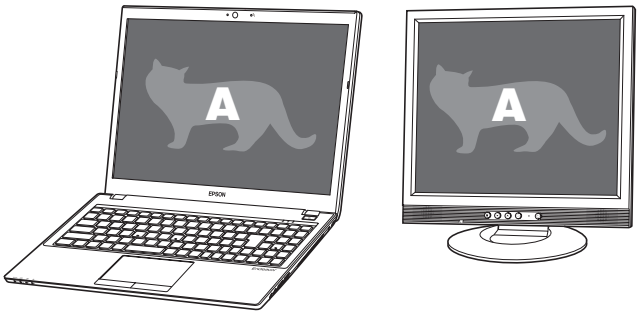
●PC 画面のみ / セカンドスクリーンのみ

1 つのディスプレイに表示します。

●複製

最大 2 つのディスプレイに同じ画面を表示します。

例）

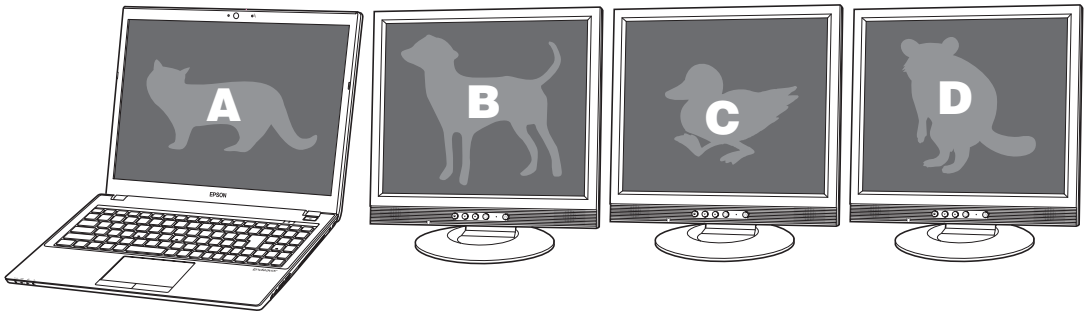


<内蔵ディスプレイ>　<外付けディスプレイ>

●拡張

最大 4 つのディスプレイに、個別の画面を表示します。

例）



<内蔵ディスプレイ>　<外付けディスプレイ> <外付けディスプレイ> <外付けディスプレイ>

参考

複数の組み合わせで画面表示する

外付けディスプレイを 3 台接続している場合は、次の表示もできます。

- AABB
- AABC

画面表示の切り替え方法

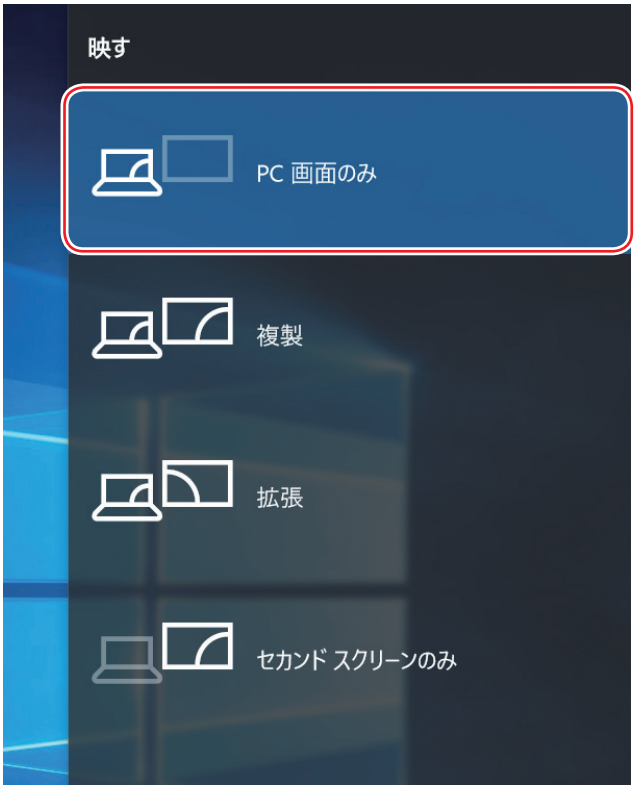
画面表示の切り替え方法には、次の 2 つがあります。

- キーボードで切り替える p.62
  簡単なキー操作で画面表示の切り替えができます。
- 「ディスプレイ」画面で切り替える p.63
  画面表示の切り替えと詳細な設定ができます。

> **制限** 解像度の異なるディスプレイを接続して複製表示に切り替えると、解像度は低い方の解像度で表示されます。

キーボードで切り替える

Fn ＋ F7（ ）を押すと、画面表示の一覧が表示されます。
↑ ↓ を押して項目を選択し、↵ を押して決定します。

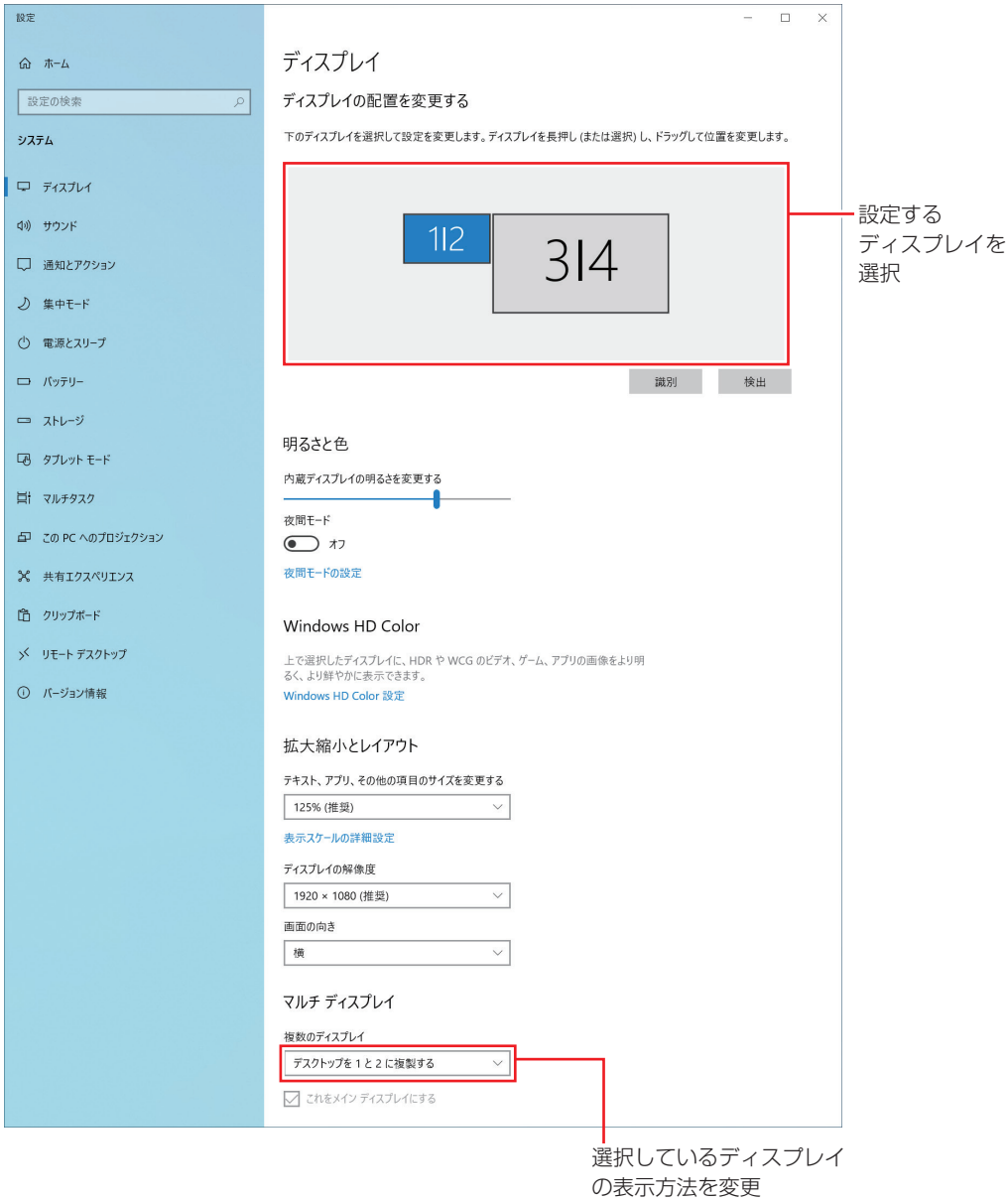


> **制限**
> - 動画の再生中やゲームアプリの起動時には、キーボードでの表示切り替えができないことがあります。
> - キー操作での切り替えができない場合は、「ディスプレイ」画面（p.63）で切り替えてください。

「ディスプレイ」画面で切り替える

画面表示の切り替えと詳細な設定は、次の場所で行います。

［スタート］－ （設定）－「システム」－「ディスプレイ」



表示できる解像度と表示色

外付けディスプレイで表示できる解像度と表示色は、次のとおりです。

●解像度

1024 × 768
1280 × 720
1280 × 768
1280 × 1024
1360 × 768
1366 × 768
1400 × 1050*
1440 × 900*
1600 × 900
1600 × 1200
1680 × 1050
1920 × 1080
1920 × 1200
2560 × 1440
3840 × 2160

●表示色

32 ビット

* USB3.1（Type-C）は非対応

制限

- 記載している解像度は、本機に搭載された GPU の出力解像度です。表示画面の種類や接続する外付けディスプレイの仕様によっては、表示できない場合があります。
- 複製表示の場合、実際に表示できる最大解像度は、コンピューター側の最大解像度と外付けディスプレイの最大解像度のうち、いずれかの低い解像度になります。
- 解像度や表示色が高いと、動画再生アプリで動画を再生するときに、正常に表示できないことがあります。そのような場合は、解像度または表示色を調節してみてください。

ワイヤレスディスプレイを使用する(オプション)

無線 LAN 機能搭載時、本機の画面をワイヤレスで外部ディスプレイやテレビに表示することができます。
ワイヤレスディスプレイ接続中も、無線 LAN でのインターネットの利用は可能です。

注意事項

ワイヤレスディスプレイを使用する際の注意事項について記載します。

表示に関する注意

表示に関する注意事項は、次のとおりです。

- 同時に使用できる表示装置は、本機の LCD と、ワイヤレスで接続している外部ディスプレイの 2 つまでです。
- ワイヤレスで外部ディスプレイを使用しているときは、ケーブルを使って本機に外付けディスプレイを接続しないでください。ワイヤレスディスプレイとの接続が切断されます。
- 次の画面はワイヤレスディスプレイに表示できません。
  - UEFI Setup ユーティリティー
  - Windows 起動中の画面
  - スリープ状態から復帰中の画面
  - シャットダウン中の画面
- ワイヤレスで接続すると、音声は接続した外部ディスプレイからの出力に切り替わります。
- ワイヤレスで表示した画面では、マウスポインターやウィンドウの移動、入力した文字などの表示に遅延が生じます。

使用に関する注意

使用時の注意事項は、次のとおりです。

- 無線 LAN 機能がオフの場合は、ワイヤレスディスプレイを使用できません。
- ワイヤレスディスプレイの接続は、無線 LAN 機能を使用するため、ご利用環境によっては、通信速度の低下や通信不能が原因で、テレビや外部ディスプレイに画面が表示されない場合や、画面（画像）が乱れる場合があります。画質は、接続したテレビや外部ディスプレイの仕様により異なります。
- ワイヤレスディスプレイの接続とインターネット接続を同時に行う場合は、無線 LAN アクセスポイントとの接続が完了してから、ワイヤレスディスプレイの接続を行ってください。

ワイヤレスディスプレイに接続する

ワイヤレスディスプレイに接続する方法は次のとおりです。

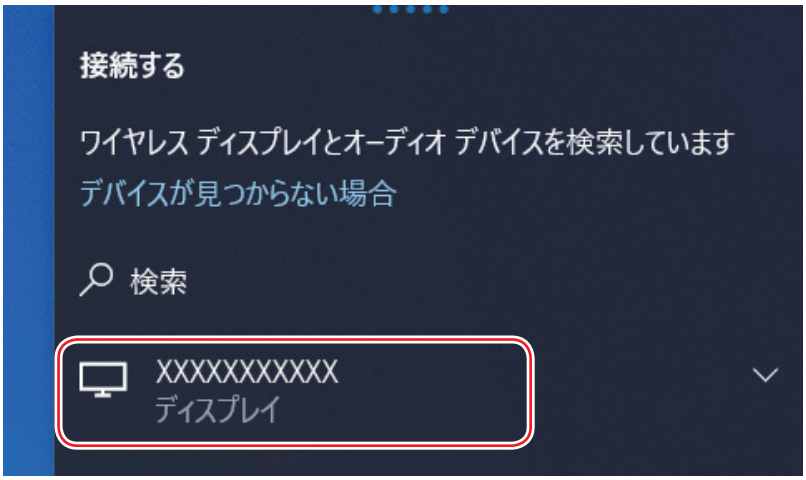
1 ワイヤレスディスプレイを本機の近くに設置します。

2 ワイヤレスディスプレイを検出し、接続します。

❶ 画面右下通知領域の「アクションセンター」アイコンをクリックし、表示された項目から［接続］をクリックします。

アクションセンターアイコン

❷ 表示されたワイヤレスディスプレイをクリックします。



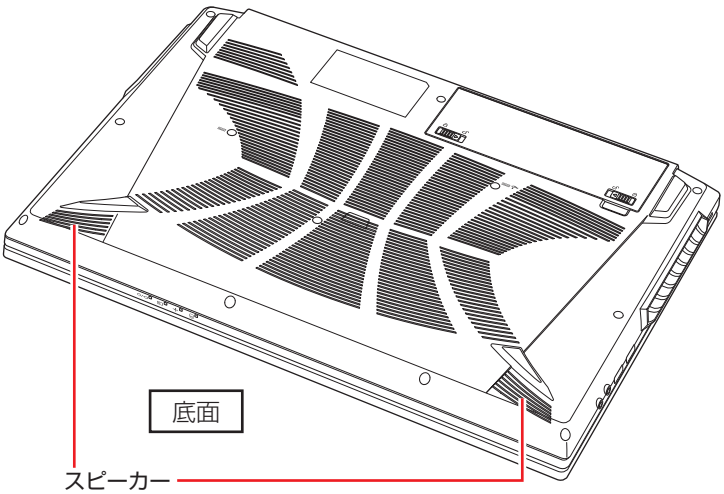
ワイヤレスディスプレイ側に画面が表示されたら、作業は完了です。

サウンド機能

本機には、サウンド機能が搭載されています。

スピーカー

本機には、ステレオスピーカーが内蔵されており、音源からの音声を出力することができます。



制限 本機のスピーカーから、特定の周波数が継続する音源（警告音やテスト信号音など）を大音量で再生した場合、誤動作や故障の原因となることがあります。

音量の調節

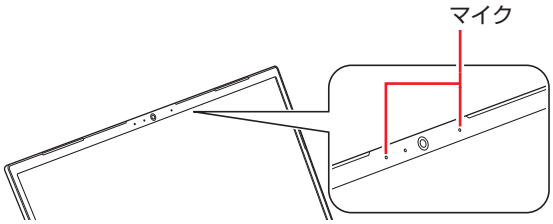
スピーカーの音量は、次のキー操作で調節します。

キー操作	状態
Fn + F3	一度押すとミュート（消音）になります。 もう一度押すとミュートが解除されます。
Fn + F5	音量が小さくなります。
Fn + F6	音量が大きくなります。

制限 ソフトウェアによっては、キー操作で音量調節ができないものがあります。詳しくは、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

マイク

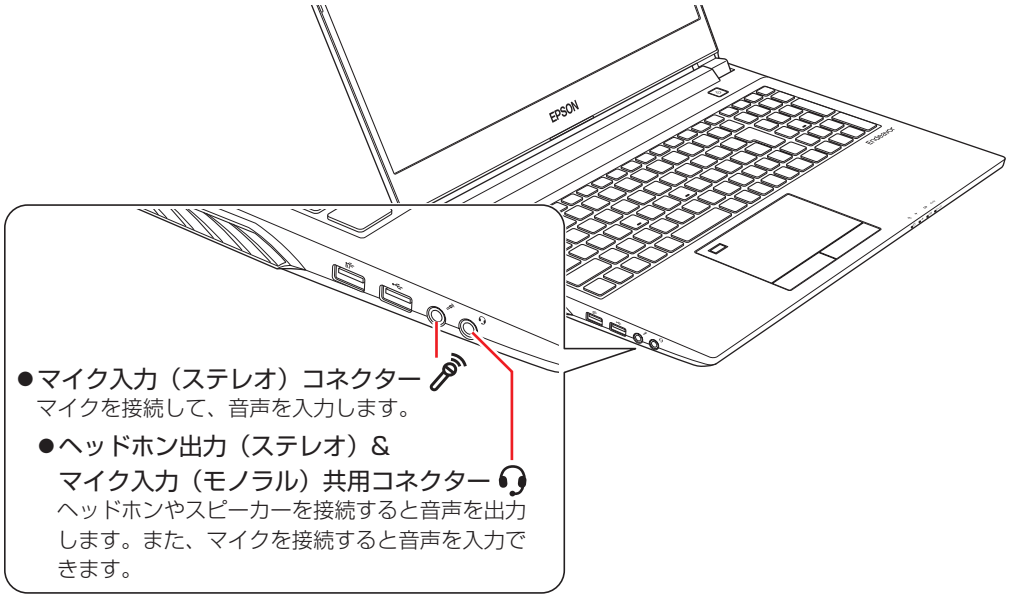
本機には、マイク（ステレオ）が内蔵されており、音声を録音することができます。



オーディオ機器の接続

本機左側面には、オーディオ機器を接続するためのコネクターが搭載されています。

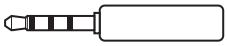
> **注意**
> ヘッドホンやスピーカーは、ボリュームを最小に調節してから接続し、接続後に音量を調節してください。
> ボリュームの調節が大きくなっていると、思わぬ大音量が聴覚障害の原因となります。



> **参考**
> **ヘッドホンやスピーカー、マイクを接続したら**
> ヘッドホン出力 & マイク入力共用コネクター、マイク入力コネクターにヘッドホンやスピーカー、マイクを接続すると、自動的に接続した機器が使用可能になり、内蔵スピーカーや内蔵マイクの機能は無効になります。

本機で使用できるオーディオ機器

本機で使用できるオーディオ機器は次のとおりです。

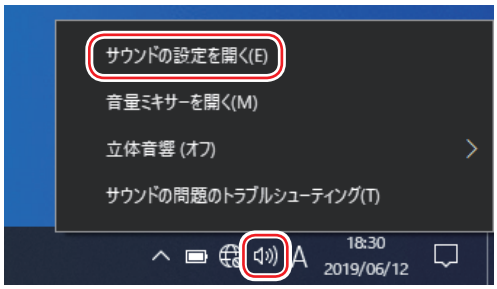
コネクター	使用できるオーディオ機器
マイク入力コネクター	プラグインパワー対応のコンデンサーマイク
ヘッドホン出力＆マイク入力共用コネクター	• 3 極ミニプラグのヘッドホン • 4 極ミニプラグのスマートフォン用ヘッドホンマイク（CTIA 規格）  ＜4 極ミニプラグ＞ ※ 3 極ミニプラグのマイク（ステレオ、モノラル）は使用できません。

外付けディスプレイを接続して音声出力する場合は、p.60「外付けディスプレイを使う」をご覧ください。

音声出力先の設定

音声の出力先を変更したい場合は、次の手順で行ってください。ここでは音声出力先を HDMI 接続の外付けディスプレイに設定する方法を説明します。

1 **画面右下通知領域の「サウンド」アイコンを右クリックし、表示されたメニューから「サウンドの設定を開く」を選択します。**



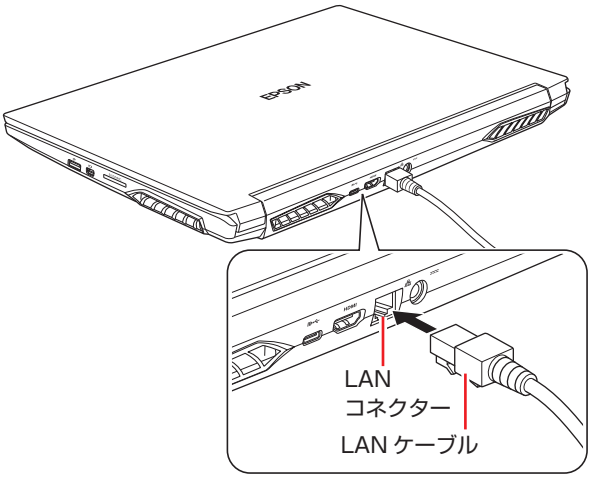
2 サウンドの設定画面が表示されたら、「出力デバイスを選択してください」項目でHDMI 接続のディスプレイを選択します。

これで設定は完了です。HDMI 接続の外付けディスプレイから音声が出力されます。

制限 同一製品の外付けディスプレイを複数接続している場合、個別に機器を選択できないことがあります。サウンド設定画面下の「サウンドコントロールパネル」ー「再生」タブで音声出力先の機器を選択してください。

ネットワーク機能（有線 LAN）

本機には、1000 Base-T/100 Base-TX/10 Base-T に対応したネットワーク機能（有線 LAN）が搭載されています。
ネットワーク機能を使用すると、ネットワークを構築したり、インターネットに接続したりすることができます。
ネットワーク機能を使用する場合は、本機背面の LAN コネクター（ ）に市販の LAN ケーブルを接続します。



ネットワークの構築

ネットワークを構築するには、ほかのコンピューターと接続するために、LAN ケーブルやハブ、サーバーなどが必要です。そのほかに、Windows 上でネットワーク接続を行うためには、プロトコルの設定なども必要になります。
ネットワークの構築方法は、ネットワーク機器のマニュアルなどをご覧ください。

制限

- ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、省電力状態からの復帰時にサーバーから切断されてしまうことがあります。
  このような場合は次のいずれかの方法をとってください。
  - 再起動する
  - 省電力状態に移行しないように設定する
    p.92「時間経過で移行させない」
- ネットワーク上のファイルなどを開いたまま省電力状態に移行すると、正常に通常の状態へ復帰できない場合があります。

インターネットへの接続

インターネットへの接続は、プロバイダーから提供されたマニュアルを参照して行ってください。

Wakeup On LAN

Wakeup On LAN を使用すると、ネットワークからの信号により本機を起動することができます。この機能は、必ず AC アダプターを接続した状態で使用してください。

制限

- シャットダウン状態からの起動は、Windows を正常に終了した状態でないと行えません。
- 本機を正常に終了した場合でも、シャットダウン後に AC アダプターとバッテリーを取り外したりして本機への電源供給が停止してしまうと、再度 AC アダプターを接続しても、Wakeup On LAN で本機を起動できないことがあります。

Wakeup On LAN を使用する場合は次の設定が必要です。

- **ネットワークアダプターの設定** p.72
- **UEFI の設定 *** p.73
- **シャットダウン設定 *** p.73

* シャットダウン状態から起動させる場合は設定してください。

ネットワークアダプターの設定

ネットワークアダプターを次の状態に設定してください。

［スタート］を右クリック －「デバイスマネージャー」－「ネットワークアダプター」－「Realtek PCIe GbE Family Controller」

- 「詳細設定」タブ
  - ウェイク・オン・マジック・パケット : 有効
  - ウェイク・オン・パターン・マッチ : 無効
  - LAN 上のウェークアップのシャットダウン : 有効
- 「電源の管理」タブ
  - 「このデバイスで…」: チェックあり
  - 「Magic Packet でのみ…」: チェックあり

<イメージ>

UEFI の設定

シャットダウン状態から起動させる場合は、「UEFI Setup ユーティリティー」の次の項目を有効にしてください。

「Power」メニュー画面 －「APM Configuration」－「Wake On LAN」:Enabled（有効）

p.116「UEFI Setup ユーティリティーの操作」
p.130「Power メニュー画面」

シャットダウン設定

シャットダウン状態から起動させる場合は、次の設定を行ってください。

1 **［スタート］を右クリック －「電源オプション」－「電源の追加設定」－「電源ボタンの動作を選択する」をクリックします。**

2 **「電源ボタンの定義とパスワード保護の有効化」と表示されたら、「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリックし、「シャットダウン設定」項目の「高速スタートアップを有効にする」のチェックを外して、［変更の保存］をクリックします。**

これで、設定は完了です。

リモートブート

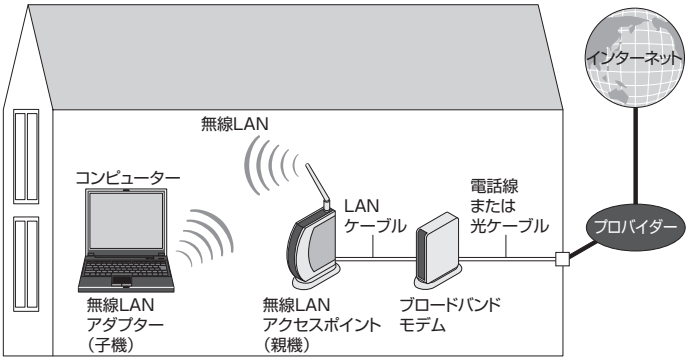
リモートブートを使用すると、ネットワークを介して、あらかじめセットアップされたサーバー上から Windows をインストールすることができます。

無線 LAN 機能（オプション）

購入時にオプション選択された場合、本機には無線 LAN アダプターが内蔵されています。
無線 LAN とは、電波を利用して通信を行うネットワークのことです。

無線LANの概要

無線 LAN の概要を図で表すと、次のようになります（図は一例です）。



無線 LAN の用語一覧

無線 LAN 機器のマニュアルにより、使用している用語が本書と異なる場合があります。下記の用語一覧を参考にしてください。

本書での表記	別名
無線 LAN	ワイヤレス LAN、Wi-Fi
無線 LAN アクセスポイント	親機、ワイヤレス LAN ステーション、アクセスポイント、無線 LAN ルーター
無線 LAN アダプター	子機、ワイヤレスステーション、無線 LAN 端末、無線 LAN クライアント
SSID	ESS-ID、ESSID、ネットワーク名、サービスセット識別子

無線LAN使用時の注意

無線 LAN を使用する際は、次の注意事項をよくお読みください。
p.156「電波に関するご注意」もあわせてお読みください。

警告

- 無線 LAN 機能が搭載されている場合、航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を切るか電波を停止してください。
  電波が電子機器や医療用電気機器に影響を及ぼす場合があります。
  また、本機に自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切ってください。
- 無線 LAN 機能が搭載されている場合、医療機関の屋内で本機を使用するときは、次のことを守ってください。
  - 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視室（CCU）には、本機を持ち込まない。
  - 病棟内では、本機の電源を切るか電波を停止する。
  - 病棟以外の場所でも、付近に医療用電気機器がある場合は、本機の電源を切るか電波を停止する。
  - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。
  - 本機に自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切る。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している場合、無線 LAN 機能を使用するときは、装着部と本機の間を 22cm 以上離してください。
  電波が、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を及ぼす場合があります。
  満員電車など、付近に心臓ペースメーカーを装着している人がいる可能性がある場所では、本機の電源を切るか電波を停止してください。
- 無線 LAN 機能は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。
  電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

制限

- ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、サーバーから切断されてしまうことがあります。
  このような場合は次のいずれかの方法をとってください。
  - 再起動する
  - 省電力状態に移行しないように設定する
    p.92「時間経過で移行させない」
- ネットワーク上のファイルなどを開いている状態で省電力状態に移行すると、通常の状態に復帰できない場合があります。
- 本機の無線 LAN 機能は、Wakeup On LAN とリモートブートには対応していません。

無線LAN機能のオン/オフ方法

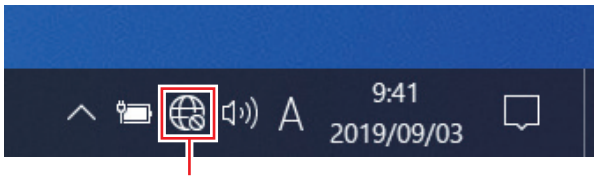
無線 LAN 機能のオン / オフ方法について説明します。

> **警告**
> 無線 LAN 機能が搭載されている場合、航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を切るか電波を停止してください。
> 電波が電子機器や医療用電気機器に影響を及ぼす場合があります。
> また、本機に自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切ってください。

> **制限**
> バッテリーのみで本機を使用している場合、無線 LAN 機能がオンになっていると、バッテリー駆動時間が短くなります。
> 無線 LAN を使用しない場合は、無線 LAN 機能をオフにしてください。

無線 LAN 機能のオン / オフは、次の方法で行います。

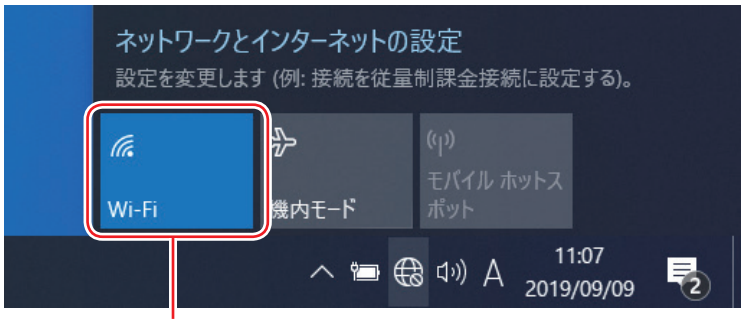
1 **画面右下通知領域の「ネットワーク」アイコンをクリックします。**



ネットワークアイコン

2 **ネットワークメニューが表示されたら、[Wi-Fi] をクリックします。**

クリックするたびに無線 LAN 機能のオン / オフが切り替わります。
無線 LAN 機能がオンのとき、[Wi-Fi] は青色になります。



[Wi-Fi]

参考

● **機内モード**

機内モードをオンにすると、すべての無線機能（無線 LAN、Bluetooth）がオフになります。

Fn +F11（✈）を押すたびに、機内モードのオン / オフが切り替わります。

p.46「Fn キーと組み合わせて使うキー」

● **機内モードランプ**

機内モードのオン / オフは、機内モードランプ（✈）で確認できます。
機内モードランプは、機内モードがオンのときに点灯します。

p.15「電源スイッチ / ステータス表示ランプ」

無線LAN接続の設定をする

ここでは無線 LAN アクセスポイント（以降、アクセスポイント）と本機を無線でつなげる方法（無線 LAN 接続方法）について説明します。

無線 LAN 接続の設定の流れは、次のとおりです。

無線 LAN 接続に必要な機器を用意する p.78

↓

アクセスポイントのセキュリティー設定を確認する p.78

↓

本機をアクセスポイントに接続する p.78

↓

無線 LAN が使用できるようになる

参考

かんたん接続機能

アクセスポイントによっては、かんたん接続機能で無線 LAN 接続できる場合があります。
まずは、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

無線 LAN 接続に必要な機器を用意する

無線 LAN 接続に必要な機器を用意します。

- ブロードバンドモデム（ADSL 用や光ファイバー用の通信装置）

  インターネットに接続する場合に必要です。多くの場合、プロバイダーと契約すると貸与されます。

- 無線 LAN アクセスポイント

  本機と無線で通信するための機器です。本機の対応規格に合ったものを用意してください。
  ブロードバンドモデムに無線 LAN アクセスポイント機能が内蔵されている場合は不要です。

アクセスポイントとブロードバンドモデムを LAN ケーブルで接続して、電源を入れてください。
詳しくは、各機器に添付のマニュアルを参照してください。

アクセスポイントのセキュリティー設定を確認する

無線 LAN は電波を使用して通信するため、第三者に侵入されたり、通信データを盗み見されたりする可能性があります。また、他人のアクセスポイントに誤って本機を接続してしまう可能性もあります。これらのことを防ぐため、アクセスポイントのセキュリティー設定を、本体側にも設定します。
アクセスポイントのマニュアルを参照し、セキュリティー設定（暗号化キー）を確認してください。
セキュリティー設定がされていない場合は、マニュアルの手順に従って、設定を行ってください。

本機をアクセスポイントに接続する

アクセスポイント側に設定した暗号化キーを本機側にも入力し、本機をアクセスポイントに接続します。
この作業は初めて接続するときのほかに暗号化キーを変更したときや、Windows の再インストールをした場合にも行います。

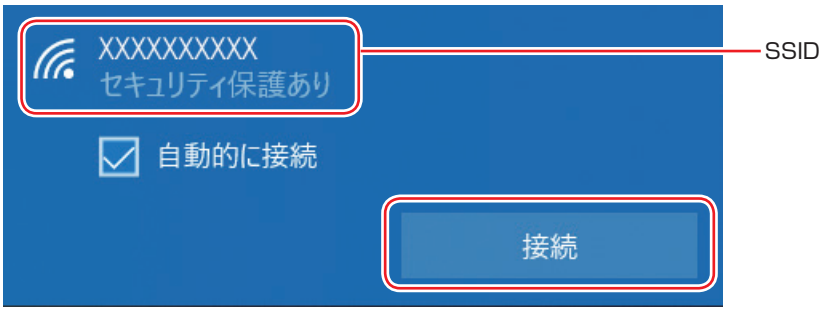
1 **画面右下通知領域の「ネットワーク」アイコンをクリックして、表示されたネットワークメニューで本機の無線 LAN 機能をオンにします。**

p.76「無線 LAN 機能のオン / オフ方法」

2 **アクセスポイントに接続します。**

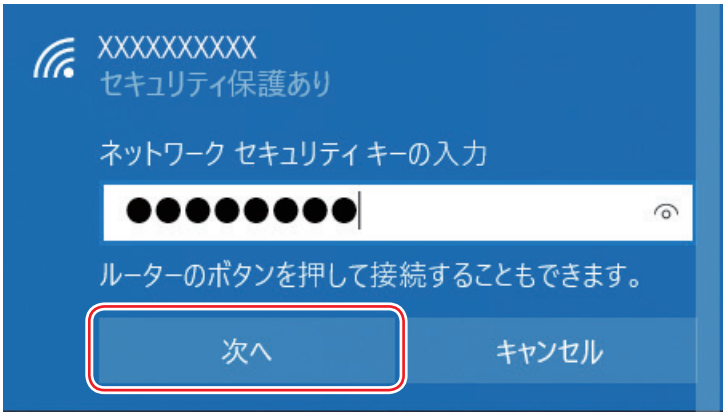
❶ ネットワークメニューから接続するアクセスポイントの SSID を選択し、［接続］をクリックします。

※ 接続するアクセスポイントの SSID が表示されない場合は、アクセスポイントの状態を確認してください。



❷ ネットワークセキュリティキーの入力ボックスが表示されたら、アクセスポイントに設定されている暗号化キーを入力し、［次へ］をクリックします。

※ PIN 入力画面が表示された場合は、アクセスポイントのラベルに印字された PIN を入力してください。



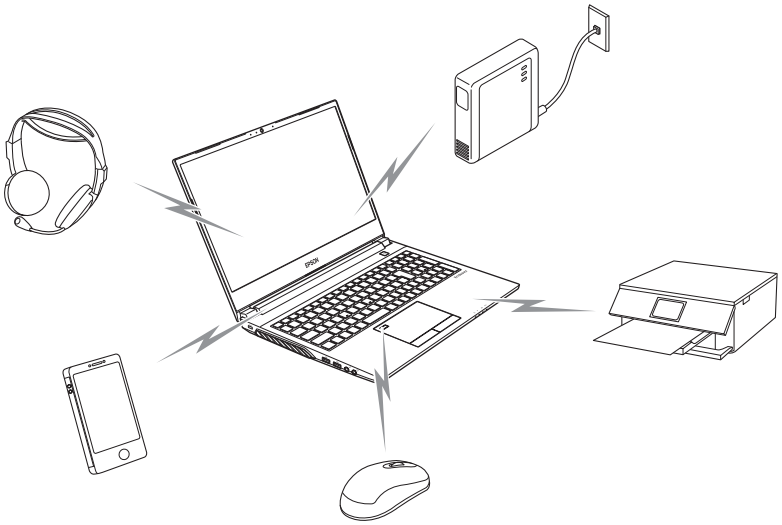
これで接続作業は完了です。

プロファイル

ここで設定した無線 LAN は、「プロファイル」として自動的に保存されます。プロファイルが作成されていると、次回からは設定を行わずに簡単に無線 LAN に接続することができます。

Bluetooth 機能（オプション）

購入時にオプション選択された場合、本機には Bluetooth 機能が搭載されています。
Bluetooth とは、無線の通信方式の 1 つです。Bluetooth 機能を使用して、本機に Bluetooth に対応した周辺機器を接続することができます。



Bluetooth機能をお使いの前に

Bluetooth 機能を使用する際は、次の注意事項をよくお読みください。
p.156「電波に関するご注意」もあわせてお読みください。

警告

- 航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を切るか電波を停止してください。
  電波が電子機器や医療用電気機器に影響を及ぼす場合があります。
  また、自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切ってください。
- 医療機関の屋内で本機を使用するときは、次のことを守ってください。
  - 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視室（CCU）には、本機を持ち込まない。
  - 病棟内では、本機の電源を切るか電波を停止する。
  - 病棟以外の場所でも、付近に医療用電気機器がある場合は、本機の電源を切るか電波を停止する。
  - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。
  - 自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切る。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している場合、Bluetooth 機能を使用するときは、装着部と本機の間を 22cm 以上離してください。
  電波が、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を及ぼす場合があります。
  満員電車など、付近に心臓ペースメーカーを装着している人がいる可能性がある場所では、本機の電源を切るか電波を停止してください。
- Bluetooth 機能は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。
  電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

通信可能な距離

通信可能距離は、通信機器間の障害物や電波状況、磁場、静電気、電波障害の発生する場所、使用するアプリ、OS、通信する機器の受信感度、アンテナ性能などによって、変化する可能性があります。通信できない場合は、通信する機器を本機の近くに設置してください。

通信時の確認事項

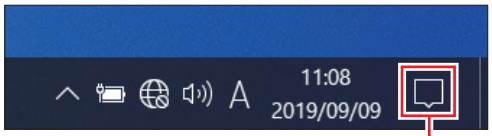
Bluetooth 機能を使用して通信する際は、次の事項を確認してください。

- 使用する機器が Bluetooth に対応していることを確認してください
- 本機と使用する機器が通信可能な距離にあることを確認してください。
- 本機と使用する機器が接続可能な状態になっていることを確認してください。
- 本機と使用する機器の Bluetooth 機能が有効になっていることを確認してください。
- 本機と複数の Bluetooth 機器で通信する場合、通信速度が低下する場合があります。

Bluetooth機能のオン/オフ方法

Bluetooth 機能のオン / オフ方法について説明します。

1 **画面右下通知領域の「アクションセンター」アイコンをクリックします。**



アクションセンターアイコン

2 [Bluetooth] をクリックします。

クリックするたびに Bluetooth 機能のオン / オフが切り替わります。
Bluetooth 機能がオンのとき、[Bluetooth] は青色になります。

参考

- **機内モード**

  機内モードをオンにすると、すべての無線機能（無線 LAN 機能、Bluetooth 機能）がオフになります。
  Fn +F11（✈）を押すたびに、機内モードのオン / オフが切り替わります。
  p.46「Fn キーと組み合わせて使うキー」

- **機内モードランプ**

  機内モードのオン / オフは、機内モードランプ（✈）で確認できます。
  機内モードランプは、機内モードがオンのときに点灯します。
  p.15「電源スイッチ / ステータス表示ランプ」

Bluetooth対応の周辺機器を使用する

マウスやヘッドセットなど、Bluetooth 対応の周辺機器を使用する方法を説明します。

Bluetooth 対応機器の検出・追加

Bluetooth 対応機器を新規で検出・追加する方法は次のとおりです。

※ Bluetooth 対応機器によっては、設定中に、パスコードの入力を促す画面が表示される場合があります。機器に添付のマニュアルを参照の上、パスコードを入力してください。

1 **Bluetooth 対応機器を本機の近くに設置します。**

2 **本機の Bluetooth 機能を「オン」にします。**

p.81「Bluetooth 機能のオン / オフ方法」

3 **Bluetooth 対応機器の電源を入れ、ペアリングモードにします。**

手順は周辺機器のマニュアルをご覧ください。

4 **Bluetooth 対応機器を検出し、ペアリングします。**

ここでは Bluetooth マウスを例に説明します。

1. ［スタート］－（設定）－「デバイス」－「Bluetooth とその他のデバイス」－「Bluetooth またはその他のデバイスを追加する」をクリックします。
2. 「デバイスを追加する」画面が表示されたら、［Bluetooth］をクリックします。
3. 表示された一覧から、デバイス（マウス）を選択します。

4. パスコードの入力画面が表示された場合は入力して［次へ］をクリックします。

   マウス側の設定はマウスのマニュアルをご覧ください。

   ペアリング完了後、マウスを動かしてみて、操作できることを確認してください。

これで Bluetooth 対応機器の検出・追加は完了です。

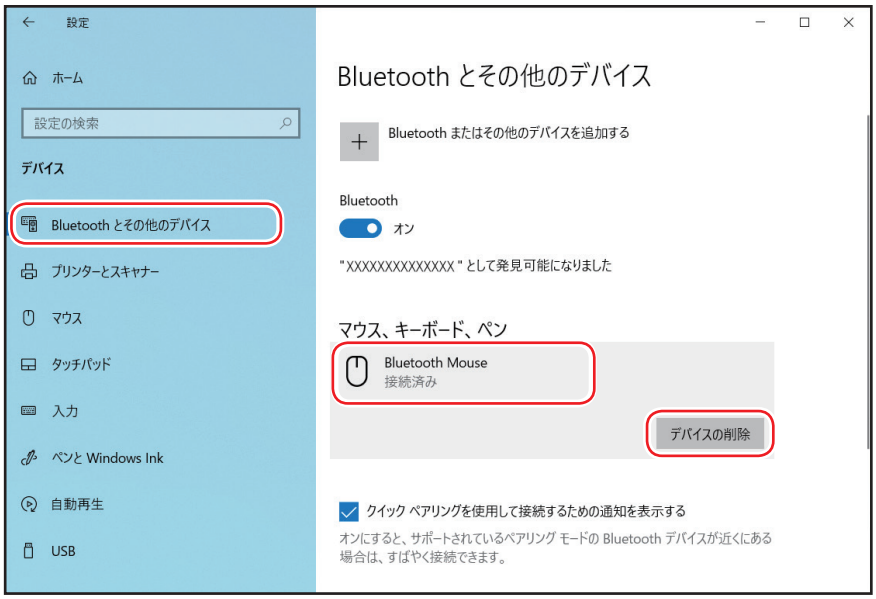
Bluetooth 対応機器を使用する

追加が完了すると、Bluetooth 対応機器を使用できるようになります。
一度追加を行うと、次回以降は自動的に機器に接続します。

Bluetooth 対応機器の接続を解除する

Bluetooth 対応機器の接続を解除する方法は次のとおりです。

1 ［スタート］－（設定）－「デバイス」－「Bluetooth とその他のデバイス」の一覧に表示されているデバイスを選択し、［ デバイスの削除 ］をクリックします。



2 「このデバイスを削除しますか？」と表示されたら、［はい］をクリックします。

インターネット / メールをする

ここでは、インターネットへの接続や Web ブラウザー、メールなどについて説明します。

インターネットに接続する

インターネットを利用するには、プロバイダーとの契約が必要です。
インターネットへの接続は、プロバイダーから提供されたマニュアルを参照して行ってください。

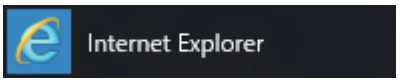
※外部ネットワークに接続する際は、電気通信事業法に基づく認証機器に接続してください。

Web ブラウザー

Web ページの閲覧には「Microsoft Edge」または「Internet Explorer」を使用します。

● Microsoft Edge

● Internet Explorer



メールをする

電子メールの利用には「メール」を使用します。

Windows 10 標準メールアプリで利用できるのは Web メールです。初回、メールアプリを起動すると、サインイン画面が表示されます。お持ちのメールアカウントでサインインしてください。

参考

Web メールとは

メールの作成や送受信、閲覧をインターネット上で行います。メールデータはインターネット上のサーバーに保存されているため、別の端末を使用して外出先からもメールを利用することができます。

Outlook を使う

Office がインストールされている場合は、Outlook を使用することができます。Outlook には、メール利用のほか、スケジュール管理などの機能があります。使用方法は Office のヘルプをご覧ください。

インターネットを使用する際のセキュリティー対策

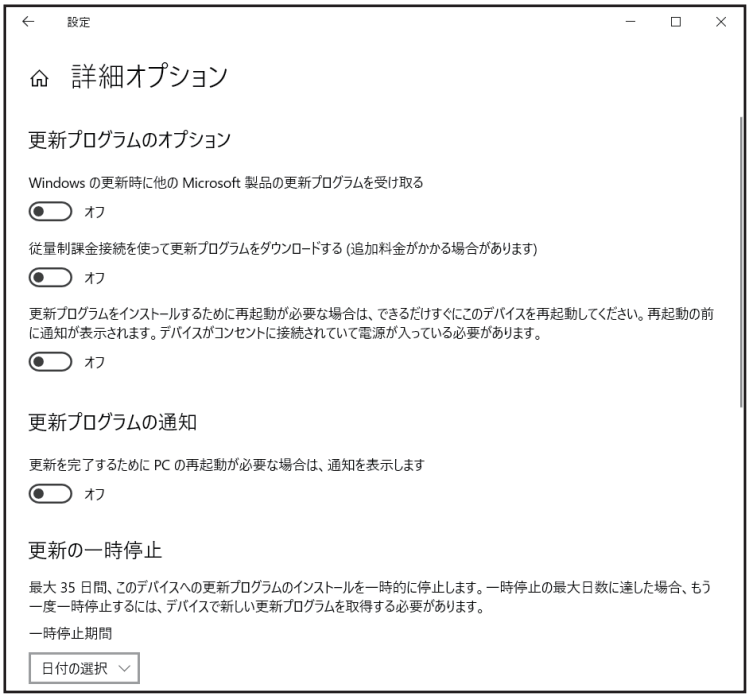
本機には、インターネットに接続した際に起こりうる、コンピューターウイルス感染や不正アクセスなどの危険に対する、セキュリティー機能が備えられています。
ここでは、このセキュリティー機能について説明します。インターネットに接続する場合は、コンピューターの安全を守るため、必ずセキュリティー対策を行ってください。

Windows Update

「Windows Update」は、本機の Windows の状態を確認し、Windows の更新プログラムをインターネットからダウンロードしてインストールする機能です。
Windows 10 は自動で Windows Update が行われます。

Windows Update の設定は次の場所で確認できます。

［スタート］－ （設定）－「更新とセキュリティ」－「Windows Update」－「詳細オプション」



セキュリティーアプリ

インターネットに接続する場合は、コンピューターウイルス感染や不正アクセスを防ぐため、セキュリティーアプリを必ず使用してください。

ウイルスバスター クラウド 90 日版を使う

セキュリティーアプリ「ウイルスバスター クラウド 90 日版」について説明します。

ウイルスバスター クラウド 90 日版のインストール

ウイルスバスター クラウド 90 日版は、次の場所からインストールしてください。

［スタート］－「Windows アクセサリ」－「Internet Explorer」－ 画面右上の ☆ をクリック － お気に入りの一覧から「ウイルスバスターのインストール」を選択 －「setup(.exe)」をダブルクリック

※ 市販のセキュリティーアプリを使用する場合は、アプリ同士の競合を防ぐため、ウイルスバスター クラウド 90 日版をインストールしないでください。

ウイルスバスター クラウド 90 日版のサポート

正しく動作しない場合など、ウイルスバスター クラウド 90 日版に関するご相談については、下記へお問い合わせください。

※ 下記のサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

● 電話でのお問い合わせ　受付時間　365 日 (年中無休) 9:30 ～ 17:30

1. 操作、障害などのお問い合わせ
（インストール / バージョンアップ操作、設定方法、ウイルス、各種トラブル）
0570-019-610

2. ユーザー登録、契約更新のお問い合わせ
（契約更新、入金情報、ユーザー登録情報の確認や変更）
0570-064-566

※ 一部の IP(光) 電話や PHS、海外からの発信など、ナビダイヤルをご利用になれない場合はこちらの番号におかけください。03-5981-2585
※ 通話料金はお客様のご負担となります。
※ 番号のおかけ間違いにご注意ください。

● メールでのお問い合わせ　受付時間　365 日 (年中無休) 24 時間

https://esupport.trendmicro.com/submitcaseonline/consumer/srf-ts-step1.aspx

● チャットでのお問い合わせ　受付時間　365 日 (年中無休) 9:00 ～ 21:00

https://esupport.trendmicro.com/ja-jp/consumer/support/jpprechat_new.aspx

● トレンドマイクロサポート WEB

http://tmqa.jp/vbtop/

Webフィルタリングアプリ

Web フィルタリングとは、インターネット上の有害なサイトを表示しないようにするための技術です。Web フィルタリングを行うと、有害サイトへのアクセスを自動的に制限することができます。

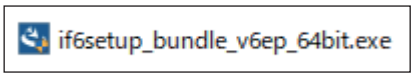
i- フィルター for マルチデバイス 30 日版を使う

本機には、Web フィルタリング機能を持つ「i- フィルター for マルチデバイス 30 日版」が添付されています。家庭内でお子様がコンピューターを使用する際に、有害なサイトへアクセスするのを制限したいときなどは、i- フィルター for マルチデバイス 30 日版を使用することをおすすめします。

i- フィルター for マルチデバイス 30 日版のインストールと申し込み

i- フィルター for マルチデバイス 30 日版は、次の場所からインストールして申し込みを行ってください。

［スタート］－「Windows アクセサリ」－「Internet Explorer」－ 画面右上の ☆ をクリック － お気に入りの一覧から「「i- フィルター for マルチデバイス 30 日版」のインストール」を選択 －「if6setup_bundle_v6ep_64bit(.exe)」をダブルクリック



※ インストールと申し込みは、インターネットに接続した状態で行ってください。

※ 市販の Web フィルタリングアプリを使用する場合は、アプリ同士の競合を防ぐため、i- フィルター for マルチデバイス 30 日版はインストールしないでください。

参考

ファイアウォール機能による警告画面が表示された場合は

セキュリティーアプリのファイアウォール機能を有効にしている場合、インターネット閲覧時に「i- フィルター for マルチデバイス 30 日版」でのインターネットアクセスに関する警告が表示されることがあります。
この場合は、「i- フィルター for マルチデバイス 30 日版」の使用を許可してください。

i- フィルター for マルチデバイス 30 日版のサポート

i- フィルター for マルチデバイス 30 日版のサポートは、デジタルアーツ社で行います。
よくあるご質問と回答・サポート窓口・継続利用手続き・サービスページなどについては、デジタルアーツ社の次のホームページをご覧ください。
なお、このサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

http://www.daj.jp/cs/support.htm

省電力機能

ここでは、本機の省電力機能について説明します。

省電力状態

本機を使用していない間、省電力状態にしておくと、電力の消費を抑えることができます。

省電力状態へ移行する際の注意

省電力状態に移行する際には、次のような注意事項があります。移行する前に確認して正しくお使いください。

- 省電力状態に移行する場合は、万一正常に復帰しない場合に備え、使用中のデータ（作成中の文書やデータなど）は保存しておいてください。

- 次のような場合は、省電力状態に移行しないことがあります。
  - 周辺機器を接続している
  - アプリを起動している

- 次のような場合に省電力状態に移行すると、不具合が発生する可能性があります。省電力状態に移行しないように設定してください。
  p.92「時間経過で移行させない」
  - サウンド機能で録音、再生時：録音や再生が途中で切断される可能性
  - メモリーカードや外部接続記憶装置（USB HDD など）へのデータ書き込み時：データ破損の可能性
  - ネットワーク機能を使っての通信時：通信が切断される可能性
  - 動画再生時：コマ落ちしたりアプリの動作が遅くなるなどの現象が発生する可能性

- 次のような場合は、省電力状態から正常に復帰できないことがあります。
  - 省電力状態で、周辺機器などの抜き差しを行った場合
  - ネットワーク上のファイルなどを開いたまま省電力状態に移行した場合

- ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、省電力状態からの復帰時にサーバーから切断されてしまうことがあります。
  このような場合は、次のいずれかの方法をとってください。
  - 再起動する
  - 省電力状態に移行しないように設定する
    p.92「時間経過で移行させない」

省電力状態の種類

省電力状態には、主に次のようなものがあります。

●ディスプレイの電源を切る
省電力の効果はスリープより低いですが、通常の状態にすぐに復帰できます。

●スリープ
作業内容をメモリーに保存し、コンピューターを低電力の状態にします。通常の状態へは数秒で復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。
スリープの状態で設定した時間経過した場合、またはバッテリー残量が設定したパーセンテージまで低下した場合は、自動的にメモリーの内容が HDD/SSD に書き込まれ、本機は「休止状態」になります。

●休止状態
作業内容を HDD/SSD に保存し、コンピューターを低電力の状態にします。シャットダウン状態からの復帰よりも早く、通常の状態へ復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。

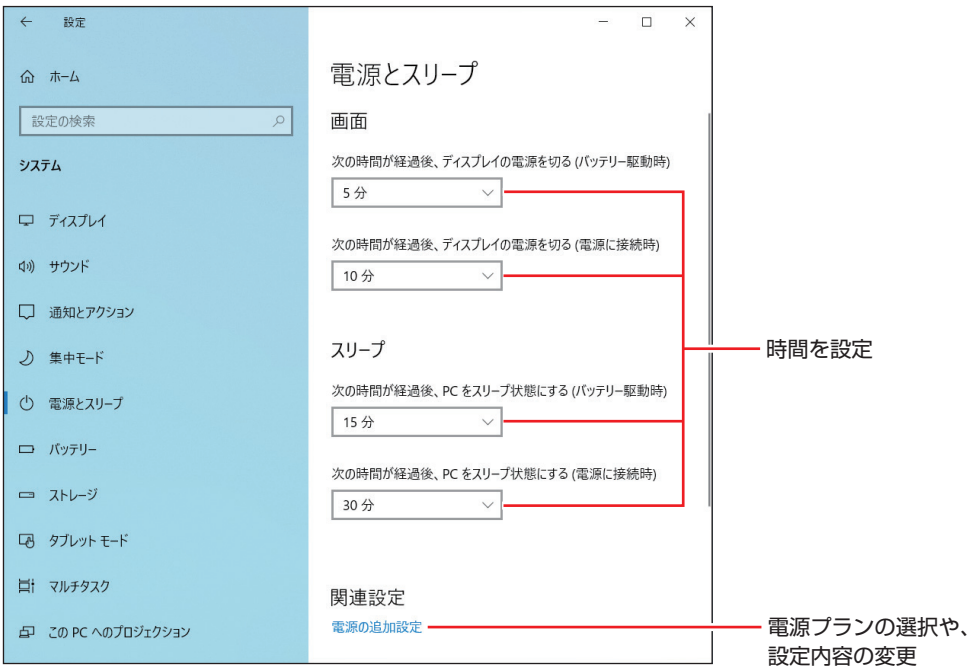
省電力状態に移行する方法

本機を省電力状態にするには、時間経過で移行する方法と直ちに移行する方法があります。

時間経過で移行する

コンピューターを操作しない状態で時間が経過すると、本機は自動的に省電力状態に移行します。初期値ではまずディスプレイの電源が切れ、そのまま操作しないと続いてコンピューターがスリープになります。
省電力状態に移行する（ディスプレイの電源を切る、コンピューターをスリープ状態にする）までの時間は、次の場所で変更することができます。

［スタート］－ （設定）－「システム」－「電源とスリープ」



＜イメージ＞

時間経過で移行させない

外付け USB HDD などの記憶装置に大量のデータを書き込む場合などは、時間経過で省電力状態に移行する設定を無効にします。時間をすべて「なし」に設定してください。

直ちに移行する

次の操作をすると、本機はすぐに省電力状態に移行します。

操作	省電力状態の種類
電源スイッチ（⏻）を押す	スリープ（初期値）
Fn ＋ F12（）を押す	
LCD ユニットを閉じる	
［スタート］－（電源）から項目を選択する	スリープ、休止状態 *

* 購入時は、「休止状態」が表示されません。表示させるには、次の設定を行います。

［スタート］を右クリック －「電源オプション」－「電源の追加設定」－「電源ボタンの動作を選択する」－「現在利用可能ではない設定を変更します」－「シャットダウン設定」の「休止状態」にチェック －［変更の保存］をクリック

電源ランプの表示

AC アダプター接続時の電源ランプ（）の表示は、次のとおりです。

電源の状態	電源ランプの表示
通常	点灯（緑色）
ディスプレイの電源切	点灯（緑色）
スリープ	点滅（緑色）
休止状態	点灯（オレンジ色）*
シャットダウン（電源切）	点灯（オレンジ色）*

* バッテリーのみで使用している場合は、消灯します。

省電力状態からの復帰方法

本機を省電力状態から通常の状態に復帰させる方法は、次のとおりです。

省電力状態	電源ランプの表示	復帰方法
ディスプレイの電源切	点灯（緑色）	タッチパッドやキーボードを操作する
スリープ	点滅（緑色）	● 電源スイッチを押す ● キーボードを操作する ● LCD ユニットを開く ● マウスをクリックする *1
休止状態	点灯（オレンジ色）*2	電源スイッチを押す

*1 お使いのマウスによっては、省電力状態から復帰できない場合があります。
*2 バッテリーのみで使用している場合は、消灯します。

Energy Save Utility

「Energy Save Utility」は電源管理を行うためのユーティリティーです。
Energy Save Utility には、次の 2 つの機能があります。

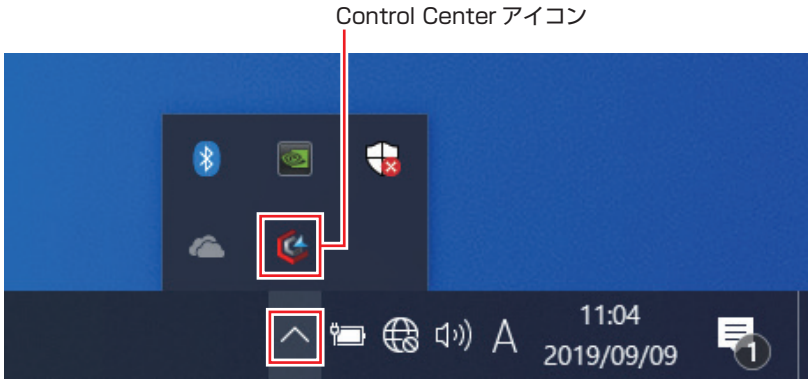
- 電源プラン＆電力消費量 p.94
  Windows の電源プランや、グラフで消費電力の状況確認ができます。
- エナジーセーブ p.94
  充電レベルやピークシフトの設定ができます。

> **制限**
> シャットダウン後に AC アダプターを抜くなどして本機への電源供給が停止してしまうと、再度 AC アダプターを接続しても、「Energy Save Utility」は機能しません。「Energy Save Utility」を機能させるには、再度本機を起動してください。

Energy Save Utility の起動方法

Energy Save Utility の起動方法は、次のとおりです。

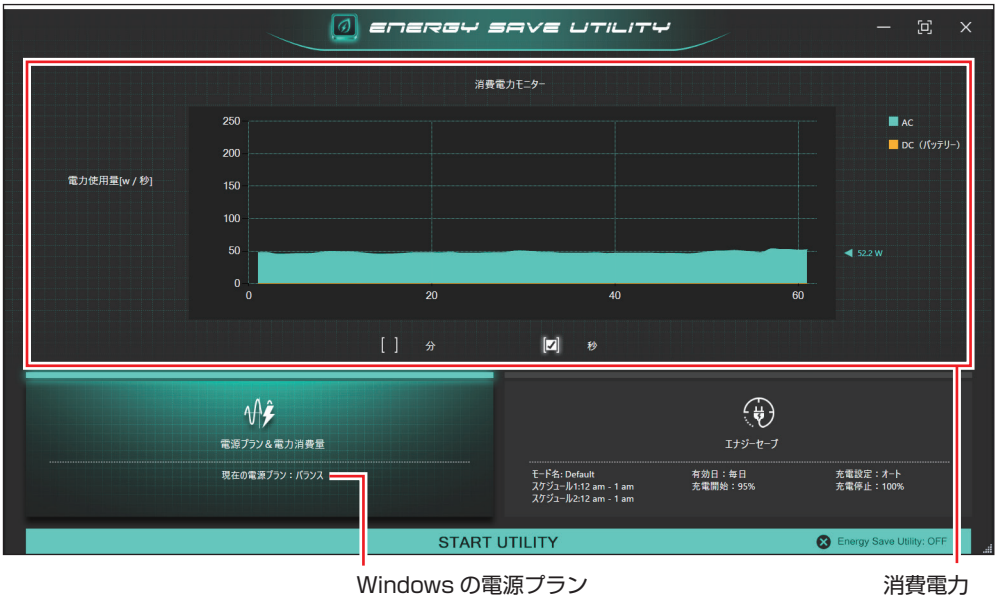
1 **画面右下通知領域の ^ ー「Control Center」アイコンー「Energy Save」をクリックします。**



「ENERGY SAVE UTILITY」画面が表示されます。

電源プラン＆電力消費量

「電源プラン＆電力消費量」では、Windows の電源プランの設定や、グラフで消費電力の状況確認ができます。



Windows の電源プラン　　消費電力

エナジーセーブ

「エナジーセーブ」では、充電レベルやピークシフトの設定ができます。

- **充電レベル設定** p.95

  満充電の繰り返しによるバッテリーの劣化を抑えるため、充電開始 / 停止レベルを設定することができます。
  ※この設定は、本機に AC アダプターとバッテリーを接続して使用する際に機能します。
  ※充電開始レベルはピークシフト動作時のみ機能します。

- **ピークシフト設定** p.96

  ピークシフト設定をすると、AC アダプター接続中、設定した時間帯（電力ピーク時等）になると充電停止し、バッテリーモードに切り替わります。
  ※バッテリー残量が充電開始レベルまで下がると、充電開始します。

> **参考**
>
> **ピークシフトとは**
>
> 一般的に、昼間の電力需要が高い時間帯（ピークタイム）に使用する電力を、電力消費が少ない夜間に蓄えた電力でまかなうなど、ピークタイムの電力消費の一部を他の時間帯に移すことを「ピークシフト」といいます。

充電レベル設定

充電レベルの設定手順は次のとおりです。

1 **をクリックして設定のロックを解除します。**

2 **充電レベルの設定をします。**

オート　　：充電開始レベルは 95%、充電停止レベルは 100%です。

マニュアル：充電レベルを手動で設定できます。 をドラッグして設定します。
充電開始レベルは 40 ～ 90%、充電停止レベルは 60 ～ 100%の間で設定できます。

※充電開始レベルはピークシフト動作時のみ機能します。

3 **をクリックして設定を保存します。**

4 **「START UTILITY」をクリックして、エナジーセーブをオンにします。**

クリックするたびにオン / オフが切り替わります。
設定が完了すると、充電残量はゆっくりと充電停止レベルまで下がります。

制限

充電停止レベルを 100%未満に設定した場合、充電が完了しても Windows 上の表示は「満充電」になりません。
※充電停止レベルに達すると、バッテリー充電ランプは消灯します。

ピークシフト設定

ピークシフトの設定手順は次のとおりです。

1 **をクリックして設定のロックを解除します。**

2 **編集するモード（プロファイル）を選択します。**

モード名を選択した状態で、[Rename]、[Add]、[Delete] をクリックすると、モード名の変更や追加 / 削除ができます。

3 **ピークシフトのスケジュールを設定します。**

1 つのモードに、2 つまで時間帯の設定ができます。
[SCHEDULE] をクリックするたびに、スケジュールのオン / オフが切り替わります。

4 **充電開始レベルを設定します。**

ピークシフト中にバッテリーが無くなって電源が切れないように、充電開始レベルを設定します。

p.95「充電レベル設定」

5 **をクリックしてエナジーセーブの設定を保存します。**

6 **「START UTILITY」をクリックして、エナジーセーブをオンにします。**

クリックするたびにオン / オフが切り替わります。
設定した時間帯になると充電停止し、バッテリーモードに切り替わります。
※バッテリー残量が充電開始レベルまで下がると、充電開始します。

Endeavor電源プラン設定ツール

「Endeavor 電源プラン設定ツール」は節電設定を行うためのツールです。3 つのおすすめ電源プランや、お客様ご自身で新規に作成するプランの中から、使い方に合った節電プランを設定することもできます。
詳しくは、次の場所をご覧ください。

http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?21091

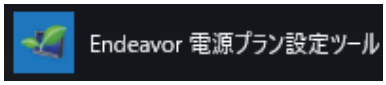
「Endeavor 電源プラン設定ツール」は、必要に応じて次の場所からダウンロードし、インストールしてください。

http://faq.epsondirect.co.jp/faq/dl/app/servlet/qadoc?21086

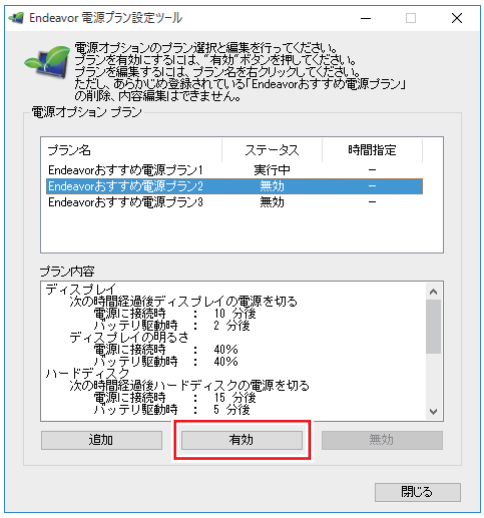
プランの変更方法

Endeavor 電源プラン設定ツールをインストールすると、「Endeavor おすすめ電源プラン 1」が有効になります。必要に応じて、「Endeavor 電源プラン設定ツール」画面で設定を変更してください。
変更方法は、次のとおりです。

1 **[スタート] − 「EPSON DIRECT」 − [Endeavor 電源プラン設定ツール] をクリックします。**



2 **「Endeavor 電源プラン設定ツール」が起動したら、変更したいプランを選んで [有効] をクリックします。**

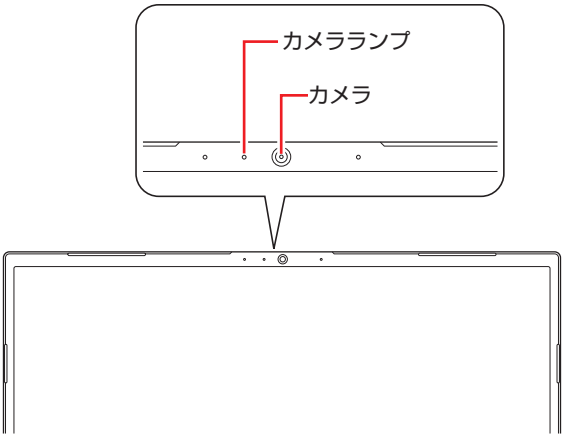


おすすめプランの内容や新規プラン作成方法は、次の場所をご覧ください。

http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?21091

カメラを使う

本機前面には、カメラが搭載されており、写真や動画を撮影することができます。



制限

- カメラのレンズ周辺には触れないでください。
  汚れや傷がつくと、撮影する画像が劣化します。
- カメラを太陽に向けないでください。カメラの故障の原因となります。
  電源切状態でも向けないでください。

カメラアプリを使う

本機では、「カメラ」アプリを使用して写真や動画を撮影します。

［スタート］－「カメラ」

カメラアプリを起動すると、カメラランプが白色に点灯します。
撮影した写真や動画は、「ピクチャ」の「カメラロール」に保存されます。

カメラアプリが起動できないときは、カメラ機能がオフになっています。

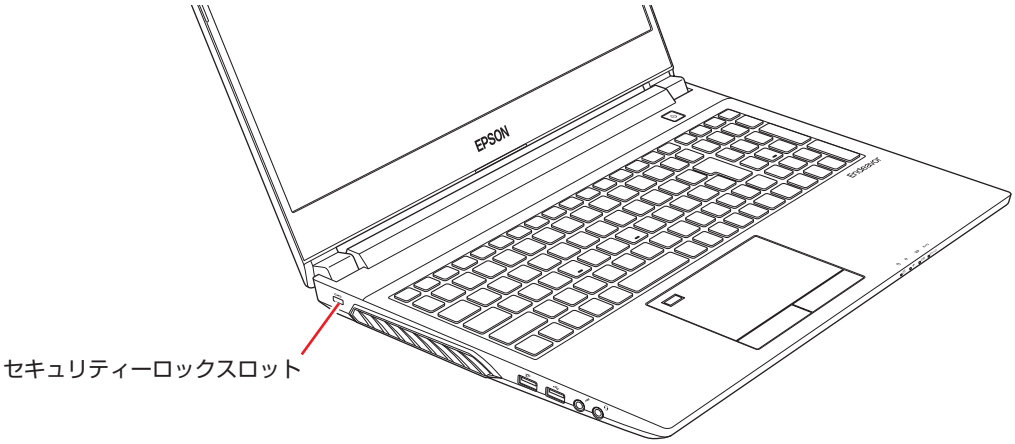
Fn ＋ F10（ ）でカメラ機能をオンにして、再度カメラアプリを起動してください。

そのほかの機能

ここでは、そのほかの機能について説明します。

セキュリティーロックスロット

本機左側面には、「セキュリティーロックスロット」が搭載されています。ここには、専用の盗難抑止ワイヤー（セキュリティーロック）を取り付けます。



当社では、専用の盗難抑止ワイヤー（セキュリティーロック）を取り扱っています。詳しくは当社のホームページをご覧ください。

https://shop.epson.jp/

Control Center

本機には、動作や電源に関する機能設定ができる「Control Center」が搭載されています。

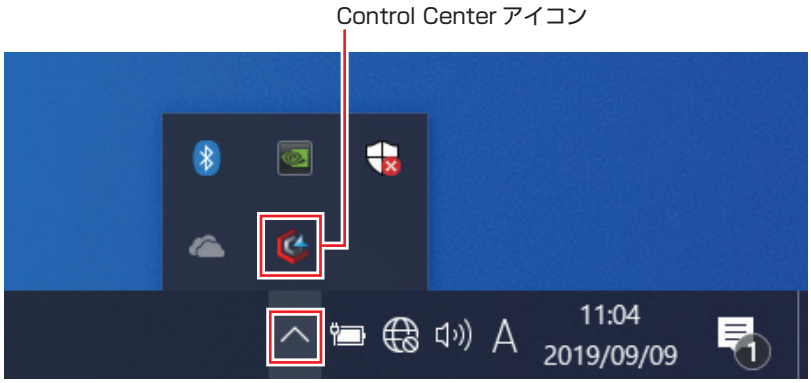
<イメージ>

「Control Center」には 5 つのユーティリティーがあります。

- Energy Save（Energy Save Utility）p.93
  消費電力の確認や省電力の設定ができます。
- Battery Utility p.33
  バッテリーの状態を診断できます。
- Power Modes p.101
  使用状況に合わせてパフォーマンスやファンなどのバランスを設定できます。
- FAN Speed Control（Fan Speed Settings）p.102
  ファン速度や CPU と GPU の温度を確認できます。また、ファンスピードを調整することができます。
- LED Keyboard p.48
  バックライト付きキーボード搭載時のみ表示されます。
  キーボードのバックライトの設定ができます。

Control Center の起動方法

画面右下通知領域の ^ ー「Control Center」アイコンをクリックします。



Power Modes

本機の使用状況に合わせて、動作モードを設定できます。

モード	動作
省電力	バッテリー駆動時間を最大化する設定です。
静音	システム性能を制限しファン騒音を軽減します。
パフォーマンス	システム性能を最大設定にします。
エンターテイメント	システム性能とファン騒音のバランスを取った標準設定です。

FAN Speed Control（Fan Speed Settings）

ファンの速度や CPU と GPU の温度を確認できます。また、ファンスピードを調整できます。

ファンスピードの設定を選択

ファンスピードの設定が［自動］のときに、速度を調整

2

装置の増設・交換

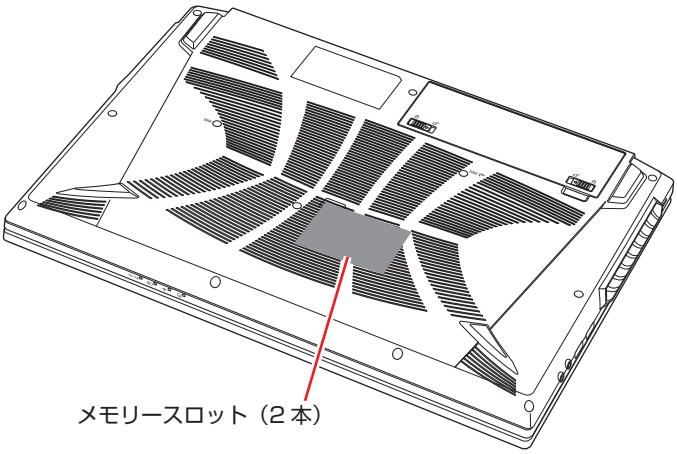
メモリーの増設・交換方法、本機に接続できる装置について説明します。

増設・交換できる装置 104
メモリーの装着 105
外付け可能な周辺機器 112

増設・交換できる装置

本機では、お客様ご自身でメモリー（SODIMM）を増設・交換することができます。

制限　本機では、メモリー以外の装置をお客様ご自身で増設・交換することはできません。



ハードウェアアップグレード

当社では、コンピューター本体をお預かりして装置の増設･交換を行うハードウェアアップグレードを有償で行っています。
ハードウェアアップグレードが利用できる装置の最新情報は、次の場所でご確認ください。

http://www.epsondirect.co.jp/support/afterservice/upgrade/index.asp

メモリーの装着

本機で使用可能なメモリーの仕様と、メモリーの取り付け・取り外し方法について説明します。
本機にはメモリースロットが 2 本あり、メモリーを最大 64GB* まで増設・交換することができます。

* 128GB SSD 搭載時は最大 16GB

メモリーの仕様

本機で使用可能なメモリーは、次のとおりです。

- 規格：PC4-2666 SODIMM（DDR4-2666 SDRAM 使用）
- 容量：8GB、16GB、32GB
- Non ECC
- 260 ピン

最新メモリー情報

今後、使用可能なメモリーが追加される場合があります。また、それに伴い、最大搭載可能容量が変更になることがあります。
メモリーの最新情報は、当社ホームページや FAQ でご確認ください。

https://shop.epson.jp/

http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?37168

メモリー装着の組み合わせ

本機はデュアルチャネルに対応しているため、同一容量のメモリーを 2 枚 1 組で装着すると、データ転送速度のパフォーマンスが最大になります。
メモリー装着の組み合わせとメモリーの動作は、次のとおりです。

メモリー装着の組み合わせ	メモリーの動作
同一容量のメモリー 2 枚	デュアルチャネルで動作。転送速度最大。
メモリー 1 枚 *	通常の転送速度で動作（シングルチャネル）。

* メモリー 1 枚で使用する場合は、下側のメモリースロット 1 に装着してください。

メモリー取り付け・取り外し時の注意

メモリーの取り付け・取り外しをする場合は、必ず次の点を確認してから作業を始めてください。

警告

- メモリーの取り付け・取り外しをするときは、電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリーを取り外し、10 分以上放置してください。
  電源プラグやバッテリーを接続したまま作業をすると、感電や火傷の原因となります。
- 本機の分解・改造や、マニュアルで指示されている以外の増設・交換はしないでください。けが・感電・火災の原因となります。

注意

- メモリーの取り付け・取り外しは、本機の内部が高温になっているときには行わないでください。火傷のおそれがあります。
  本機の電源を切って 10 分以上待ち、内部が十分冷めてから作業を行ってください。
- 不安定な場所（ぐらついた机の上や、傾いた所など）で、作業をしないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。

制限

- 作業を行う前に金属製のものに触れて静電気を逃がしてください。メモリーや本機に静電気が流れると、基板上の部品が破損するおそれがあります。
- 本機内部にネジや金属などの異物を落とさないでください。
- メモリーを持つときは、端子部や素子に触れないでください。破損や接触不良による誤動作の原因になります。
- 装着する方向を間違えないでください。メモリーが抜けなくなるなど故障の原因になります。
- メモリーを落とさないように注意してください。強い衝撃が、破損の原因になります。
- メモリーの着脱は、頻繁に行わないでください。必要以上に着脱を繰り返すと、端子部などに負担がかかり、故障の原因になります。

メモリーの取り付け・取り外し

メモリーの取り付け・取り外し手順は、次のとおりです。

制限

メモリー 1 枚のみで使用する場合は、必ず下側のメモリースロット 1（p.108）に装着してください。

取り付け

メモリーを取り付ける手順は、次のとおりです。

1 本機の電源を切ります。

増設・交換作業の前に Windows を終了するときは、必ず次の方法で行ってください。
通常の「シャットダウン」で終了すると、増設・交換後に機器が認識されなくなる場合があります。

❶ ［スタート］－ ⏻（電源）をクリックし、Shift を押しながら「再起動」をクリックします。

❷ 表示されたメニューで「PC の電源を切る」を選択します。

Windows が終了します。

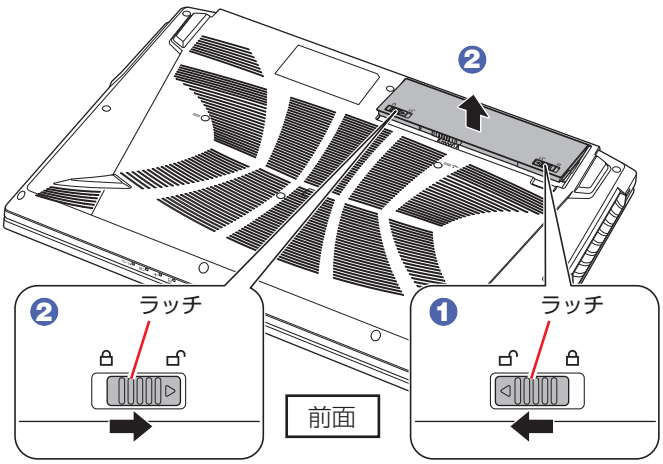
2 本機に接続しているケーブル類（AC アダプターなど）をすべて外し、10 分以上放置します。

3 底面を上にし、前面側を手前にして置きます。

4 バッテリーを取り外します。

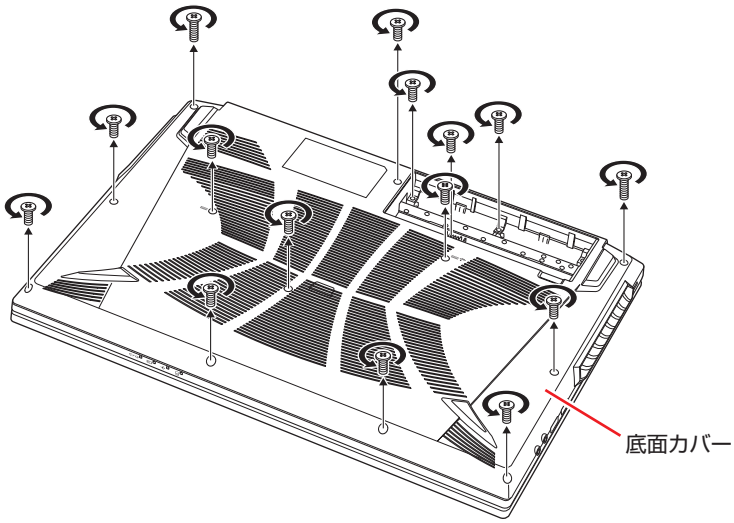
❶ 右側のラッチをロック解除位置（ 🔓 ）に合わせます。

❷ 左側のラッチをロック解除位置（ 🔓 ）に合わせたまま、バッテリーを取り外します。

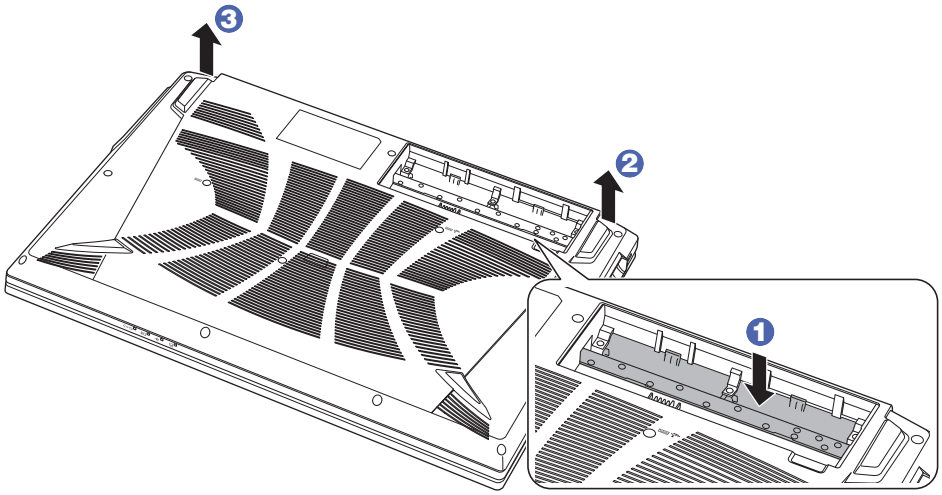


5 底面カバーのネジ（15 本）を外します。

ネジは 2 種類で合計 15 本です。

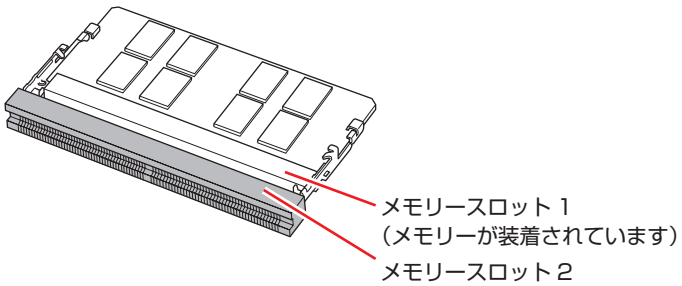


6 バッテリー装着部の底面を押さえながら（❶）、底面カバーを角から持ち上げて取り外します（❷、❸ の順で外します）。



7 メモリースロット 2 の位置を確認します。

ここではメモリースロット 2 にメモリーを取り付ける手順を説明します。



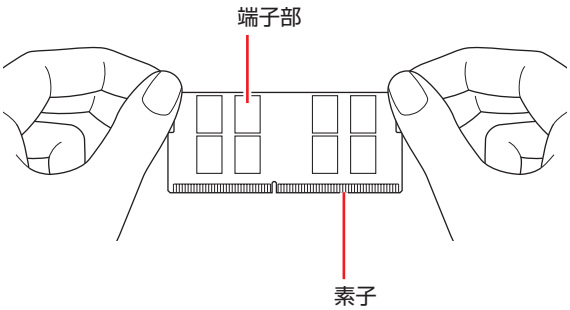
メモリースロット 1 のメモリーを交換する際、メモリースロット 2 にメモリーが装着されているときは、メモリースロット 2 のメモリーを取り外してから作業を行ってください。

p.110「取り外し」

8 メモリーを取り付けます。

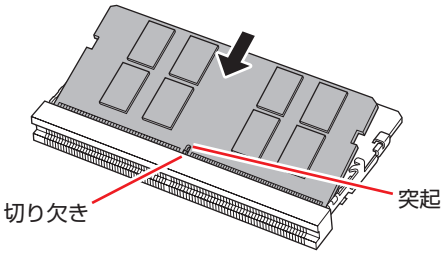
❶ メモリーを静電防止袋から取り出します。

メモリーの端子部や素子に触れないように持ちます。



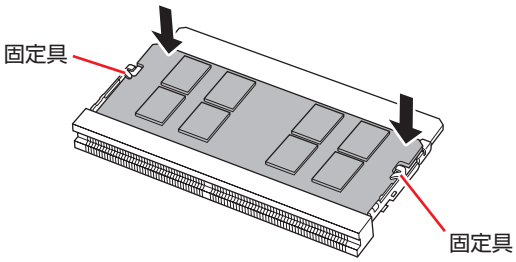
❷ メモリーを、メモリースロット 2 に差し込みます。

切り欠きを突起に合わせ、メモリーを約 30 度の角度でメモリースロットに差し込みます。



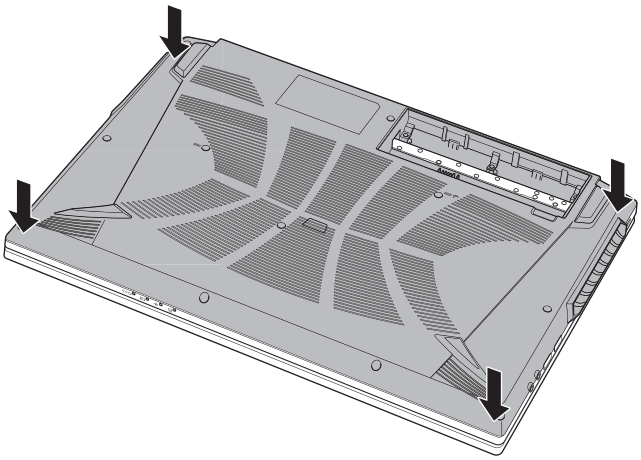
❸ メモリーを静かに倒します。

正しく装着すると、「カチッ」と音がして両側の固定具で固定されます。



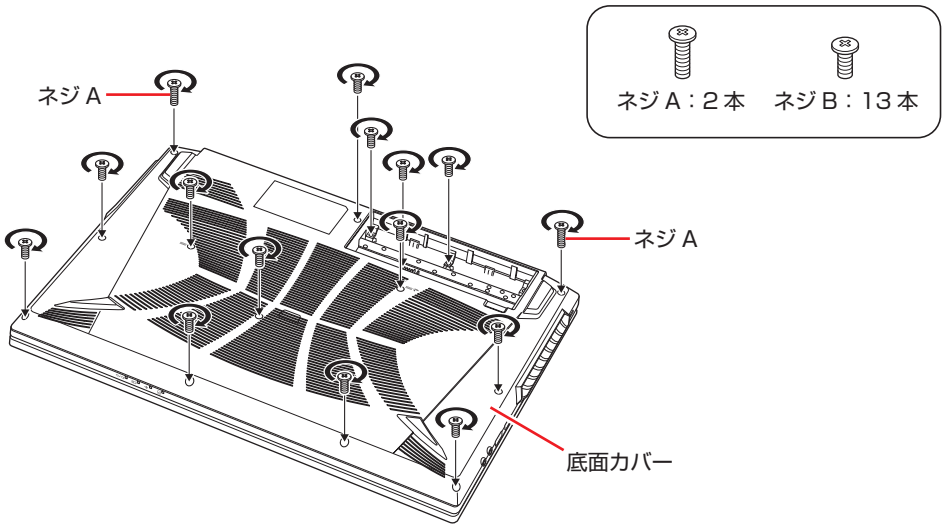
9 底面カバーを本体に合わせて、はめ込みます。

四隅をしっかり押してはめ込んでください。



10 **底面カバーをネジ（15 本）で固定します。**

ネジは 2 種類あります。



※イラストに説明の無いネジは、ネジ B（13 本）です。

11 **バッテリーを取り付けます。**

p.35「バッテリーの交換方法」4

12 **本機の底面を下にして置きます。**

13 **2 で取り外したケーブル類（AC アダプターなど）を接続します。**

続いて p.111「メモリー取り付け・取り外し後の作業」を行います。

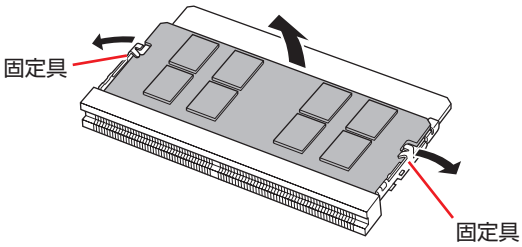
取り外し

メモリーの取り外しは、p.108「取り付け」の 7 ～ 8 を次の手順に読み替えて行ってください。

ここでは、メモリースロット 2 のメモリーを取り外す手順を例に説明します。

1 **メモリーの両側を固定している固定具を外側に広げます。**

メモリーが起き上がります。



2 **起き上がったメモリーの両端を持って静かに引き抜きます。**

取り外したメモリーは、静電防止袋に入れて保管してください。

メモリー取り付け・取り外し後の作業

メモリーの取り付け・取り外しをしたら、メモリーが正しく取り付けられているかどうか、必ずメモリーの容量を確認します。
メモリー容量の確認方法は、次のとおりです。

1 **本機の電源を入れてすぐに F2 を押し続けます。**

Windows が起動してしまった場合は、再起動してもう一度実行してください。

2 **「Front Page」画面が表示されたら、[Setup Utility] を選択します。**

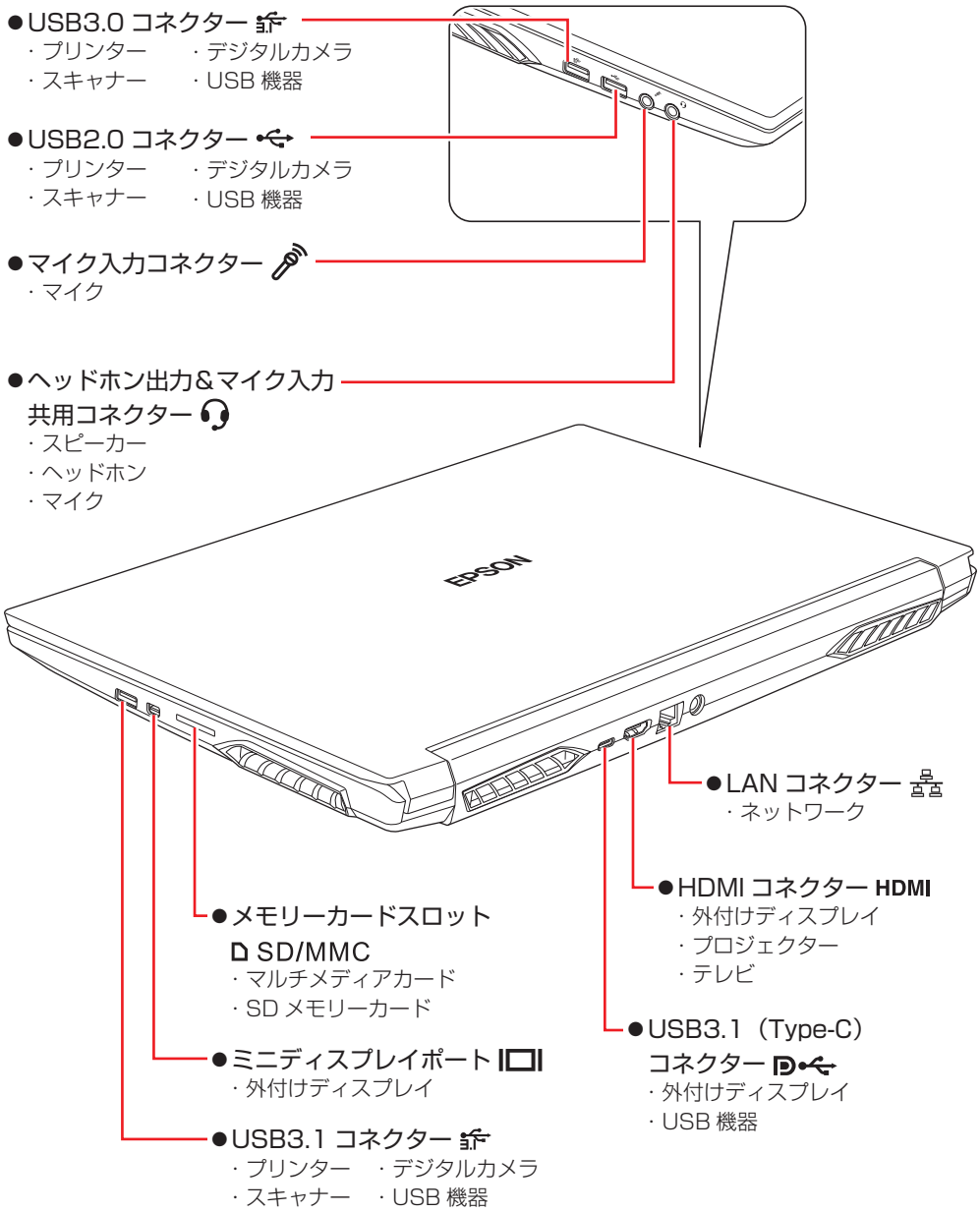
3 **「Main」メニュー画面 −「Total Memory」でメモリー容量を確認します。**

4 **F10 を押して、表示された画面で [Yes] を選択し、↵ を押して「UEFI Setup ユーティリティー」を終了します。**

3 でメモリー容量が正しく表示されない場合は、メモリーが正しく取り付けられていないことが考えられます。すぐに電源を切り、メモリーを正しく取り付けなおしてください。

外付け可能な周辺機器

本機のスロットやコネクターには、次のような周辺機器を取り付けることができます。各コネクターへの接続方法は、本書または接続する周辺機器に添付のマニュアルをご覧ください。



そのほかの接続可能な周辺機器

無線機能をオプション選択された場合、ケーブルを介さずに次の機器が接続できます。

- 無線 LAN 対応機器
- Bluetooth 対応機器

3

UEFI の設定

コンピューターの基本状態を管理しているプログラム「UEFI」の設定を変更する方法について記載しています。

UEFI の設定を始める前に..... 114
UEFI Setup ユーティリティーの操作..... 115
UEFI Setup ユーティリティーの設定項目..... 127

UEFI の設定を始める前に

制限

当社製以外の UEFI を使用すると、Windows が正常に動作しなくなる場合があります。当社製以外の UEFI へのアップデートは絶対に行わないでください。

UEFI は、コンピューターの基本状態を管理しているプログラムです。このプログラムは、マザーボード上に ROM として搭載されています。
UEFI の設定は「UEFI Setup ユーティリティー」で変更できますが、購入時のシステム構成に合わせて最適に設定されているため、通常は変更する必要はありません。UEFI の設定を変更するのは、次のような場合です。

- 本書やお使いの装置のマニュアルで指示があった場合
- パスワードを設定する場合
- マザーボード上の機能を有効 / 無効にする場合

UEFI の設定値を間違えると、システムが正常に動作しなくなる場合があります。設定値をよく確認してから変更を行ってください。
UEFI Setup ユーティリティーで変更した内容は CMOS RAM と呼ばれる特別なメモリー領域に保存されます。このメモリーはリチウム電池によってバックアップされているため、本機の電源を切ったり、再起動しても消去されることはありません。

参考

リチウム電池の寿命

UEFI Setup ユーティリティーの内容は、リチウム電池で保持しています。リチウム電池は消耗品です。本機の使用状況によって異なりますが、AC アダプターやバッテリーからの電力供給がまったくない場合（p.132 Shipping Mode 設定時含む）、電池の寿命は約 5 年です。日付や時間が異常になったり、設定した値が変わってしまうことが頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。
別紙 『サポート･サービスのご案内』をご覧になり、修理受付窓口までご連絡ください。

動作が不安定になったら

設定値を変更して本機の動作が不安定になった場合は、設定値を戻すことができます。

p.120「Load Setup Defaults（UEFI の初期値に戻す）」
p.120「Discard Changes（前回保存した設定値に戻す）」
p.121「Load Setup User Define（ユーザーの設定値に戻す）」

UEFI Setup ユーティリティーの操作

ここでは、「UEFI Setup ユーティリティー」の次の操作方法について説明します。

- 基本操作（起動、操作、終了）
- 設定値を元に戻す
- ユーザーの設定値を保存する
- パスワードを設定する
- HDD/SSD アクセス制限

UEFI Setupユーティリティーの起動

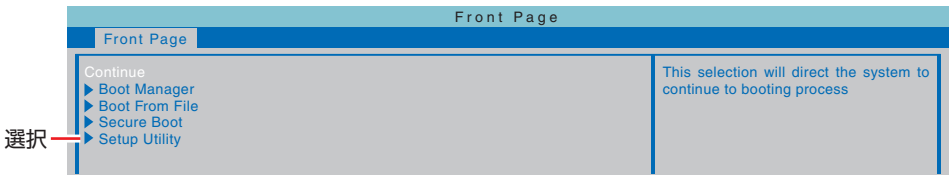
本機の電源を入れる前に、キーボードの F2 の位置を確認してください。1 では、すばやく F2 を押す必要があります。

1 本機の電源を入れ、すぐに F2 を押し続けます。

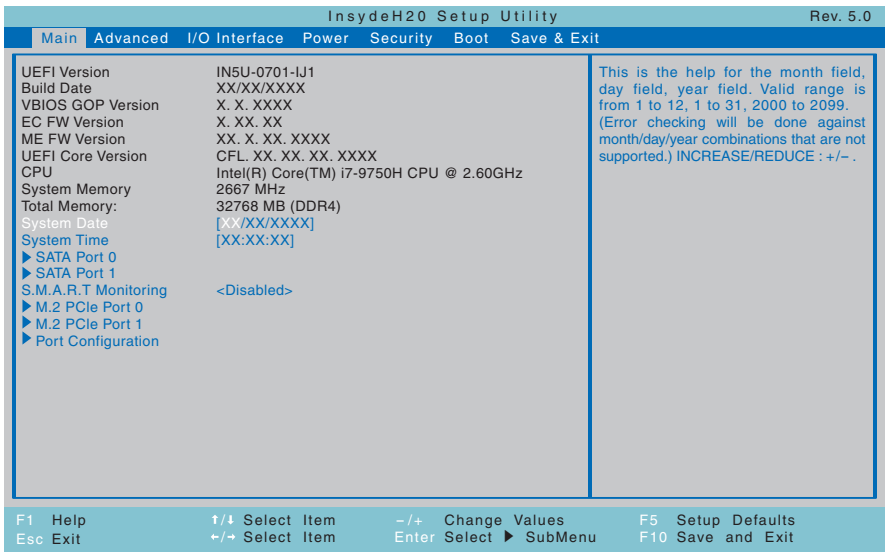
Windows が起動してしまった場合は、再起動してやり直してください。

2 「Front Page」画面が表示されたら、[Setup Utility] を選択します。

↑ ↓ で移動し、↵ で選択します。



「UEFI Setup ユーティリティー」が起動して「Main」メニュー画面が表示されます。



＜ UEFI Setup ユーティリティー画面（イメージ）＞

参考

Boot デバイス選択画面の表示方法

リカバリーメディア（オプション）などから起動する場合は、次のどちらかの方法で Boot デバイス選択画面を表示します。

- 「Front Page」画面で［Boot Manager］を選択
- 本機起動時に F7 を押し続ける

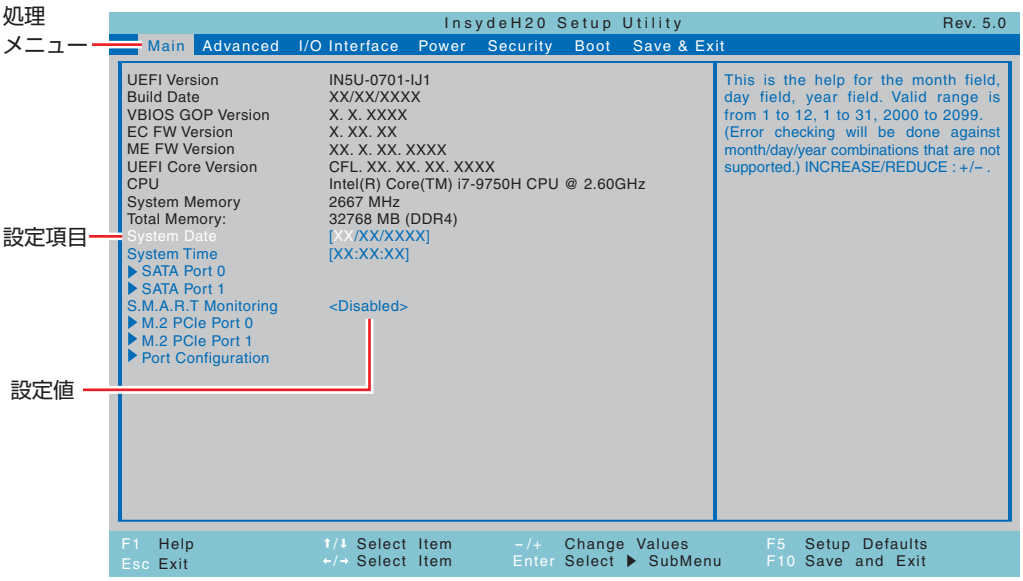
UEFI Setupユーティリティーの操作

「UEFI Setup ユーティリティー」の操作は、キーボードで行います。

ここで説明している画面はイメージです。実際の設定項目とは異なります。
各メニュー画面と設定項目の説明は、p.127「UEFI Setup ユーティリティーの設定項目」をご覧ください。

画面の構成

UEFI Setup ユーティリティーには、処理メニューに表示された「メニュー画面」と、設定項目によって表示される「サブメニュー画面」、設定値を変更する際に表示される「選択ウィンドウ」があります。



<メニュー画面>

操作方法

UEFI Setup ユーティリティーの操作方法は次のとおりです。

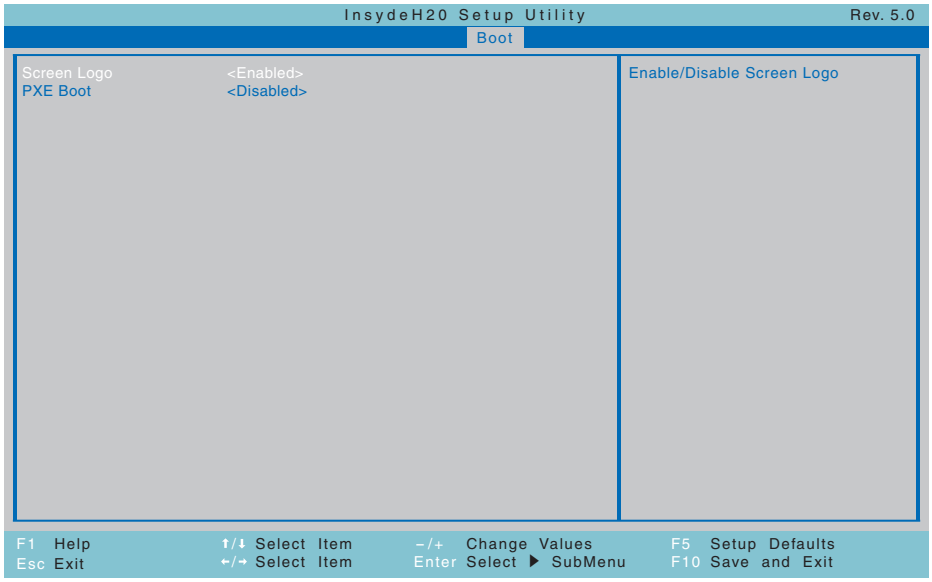
1 **変更したい設定項目のあるメニューを、処理メニューから選択し、設定項目を選択します。**

[→] [←] でメニュー間を移動します。
[↑] [↓] で設定値を変更したい項目まで移動します。

<メニュー画面>

▶ のある項目の場合

▶ のある項目の場合、[↵] を押すとサブメニュー画面が表示される場合があります。
[↑] [↓] で設定値を変更したい項目まで移動します。

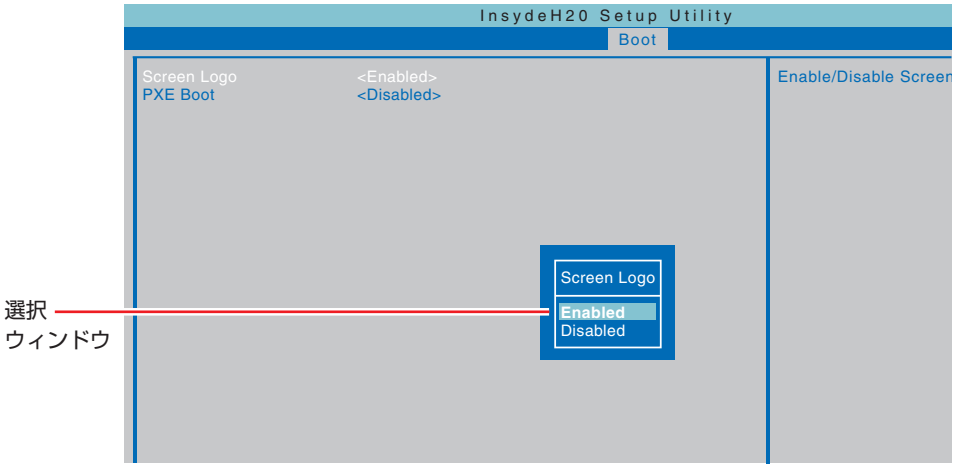


<サブメニュー画面>

サブメニュー画面からメニュー画面に戻るには、[Esc] を押します。

2 設定値を変更します。

[↵] を押して選択ウィンドウを表示し、[↑] [↓] で値を選択し、[↵] で決定します。



キー操作

UEFI の画面を操作するときは、次のキーを使用します。

キー	操作できる内容
Esc	• 変更した内容を破棄し、終了します。 • サブメニュー画面からメニュー画面に戻ります。
↑, ↓	設定を変更する項目を選択します。
←, →	処理メニューを選択します。
-, +	項目の値を変更します。
↵	• サブメニュー画面を表示します。 • 選択項目の選択ウィンドウを表示します。 • 設定値を選択します。
F1	ヘルプを表示します。
F5	設定項目の値を、UEFI の初期値に戻します。
F10	変更した設定値を保存して終了します。

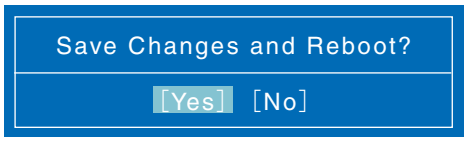
UEFI Setupユーティリティーの終了

「UEFI Setup ユーティリティー」を終了するには、次の 2 つの方法があります。

Save Changes and Reboot（変更した内容を保存し終了する）

変更した設定値を保存して、UEFI Setup ユーティリティーを終了します。

1 **F10 を押す、または「Save & Exit」メニュー画面－「Save Changes and Reboot」を選択すると、次のメッセージが表示されます。**



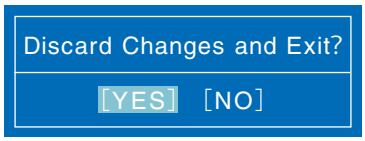
2 **[Yes] を選択し、↵ を押します。**

「UEFI Setup ユーティリティー」が終了し、Windows が起動します。

Discard Changes and Exit（変更した内容を破棄し終了する）

変更した設定値を保存せずに、UEFI Setup ユーティリティーを終了します。

1 **Esc を押す、または「Save & Exit」メニュー画面－「Discard Changes and Exit」を選択すると、次のメッセージが表示されます。**



2 **[YES] を選択し、↵ を押します。**

3 **「Front Page」画面が表示されたら、[Continue] を選択し、↵ を押します。**

「UEFI Setup ユーティリティー」が終了し、Windows が起動します。

設定値を元に戻す

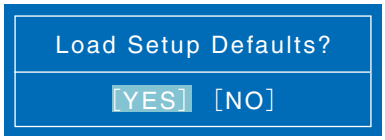
「UEFI Setup ユーティリティー」の設定を間違えてしまい、万一、本機の動作が不安定になってしまった場合などには、設定値を UEFI の初期値や前回保存した値に戻すことができます。

Load Setup Defaults（UEFI の初期値に戻す）

設定値を UEFI の初期値に戻す方法は、次のとおりです。

> **制限**
> UEFI を初期値に戻しても、次の項目の設定値は保持されます。
> - 「I/O Interface」メニュー画面
> （「USB Charger」のみ設定が保持されません。）
> - 「Security」メニュー画面

1 **F5 を押す、または「Save & Exit」メニュー画面－「Load Setup Defaults」を選択すると、次のメッセージが表示されます。**



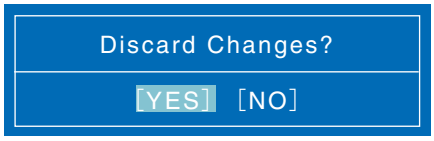
2 **[YES] を選択し、↵ を押します。**

これで設定値が「UEFI の初期値」に戻ります。

Discard Changes（前回保存した設定値に戻す）

設定値を前回保存した値に戻す方法は、次のとおりです。

1 **「Save & Exit」メニュー画面－「Discard Changes」を選択すると、次のメッセージが表示されます。**



2 **[YES] を選択し、↵ を押します。**

これで設定値が「前回保存した値」に戻ります。

ユーザー設定値を保存する

「UEFI Setup ユーティリティー」の設定値を変更した場合、その状態を「ユーザー設定値」として保存しておくことができます。ユーザー設定値を保存しておくと、「Load Setup Defaults」を行って設定値が「UEFI の初期値」になってしまった場合などに、「ユーザー設定値」に戻すことができます。

Save User Define（ユーザー設定値を保存する）

設定値を「ユーザー設定値」として保存する方法は、次のとおりです。

1 **UEFI Setup ユーティリティーの設定値を変更します。**

2 **「Save & Exit」メニュー画面－「Save User Define」を選択すると、次のメッセージが表示されます。**

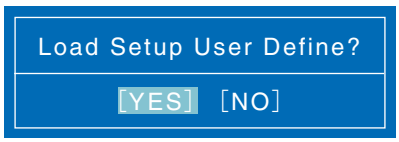
3 **[YES] を選択し、↵ を押します。**

これで設定値が保存されます。

Load Setup User Define（ユーザーの設定値に戻す）

設定値を「ユーザー設定値」に戻す方法は、次のとおりです。
※「Save User Defaults」で設定値を保存後、実行可能になります。

1 **「Save & Exit」メニュー画面－「Load Setup User Define」を選択すると、次のメッセージが表示されます。**



2 **[YES] を選択し、↵ を押します。**

これで設定値が「ユーザー設定値」に戻ります。

パスワードを設定する

「Security」メニュー画面でパスワードを設定すると、UEFI や Windows の起動時にパスワードを要求されるようになります。
パスワードの設定は、次のような場合に行います。

- 本機を使用するユーザーを制限したいとき
- パスワードを設定しないと使用できない機能を使いたいとき
  （HDD/SSD アクセス制限など）

パスワードの種類

パスワードには次の 2 種類があります。

- Supervisor Password（管理者パスワード）
  コンピューターの管理者用のパスワードです。管理者パスワードで UEFI にログオンした場合は、すべての項目の閲覧と変更が可能です。
- User Password（ユーザーパスワード）
  一般ユーザー用のパスワードです。ユーザーパスワードで UEFI にログオンした場合は、項目の閲覧や変更が制限されます（権限は、設定変更することができます）。
  p.123「ユーザーパスワードの権限設定」

パスワードの設定方法

パスワードの設定方法を説明します。

制限 設定したパスワードは、絶対に忘れないようにしてください。パスワードを忘れると、UEFI の設定変更や、設定によっては Windows の起動ができなくなります。

管理者パスワードの設定

管理者パスワードの設定方法は、次のとおりです。
管理者パスワードを設定すると、ユーザーパスワードや HDD/SSD アクセス制限などが設定できるようになります。

1 「Security」メニュー画面－「Set Supervisor Password」を選択して ↵ を押すと、パスワードの入力画面が表示されます。

2 「Create New Password」の欄にパスワードを入力します。

「＊」が表示されない文字は、パスワードとして使用できません。パスワードとして使用できるのは英数字だけです。アルファベットの大文字と小文字は区別されません。パスワードは 8 文字まで入力可能です。
パスワード入力時は、キーボードの入力モードに注意してください。たとえば、数値キー入力モードでパスワードを設定し、起動時に数値キー入力モードではない状態でパスワードを入力するとエラーになります。

3 ↵ を押して、「Confirm New Password Again」の欄にもう一度同じパスワードを入力し、↵ を押します。

4 次のメッセージが表示されたら、［Ok］が選択された状態で ↵ を押します。

同じパスワードを入力しないと、「Passwords are not the same」というメッセージが表示されます。［Ok］が選択された状態で ↵ を押し、**1** からやりなおしてください。
パスワードの設定が完了すると、「Supervisor Password」項目の値が「Installed」に変わり、ユーザーパスワードなどの新しい設定項目が表示されます。

パスワード入力タイミングの設定

UEFI Setup ユーティリティー起動時や、Windows 起動時など、どのタイミングでパスワードを要求するかを設定します。

p.131「Security メニュー画面」－「Password Check」

ユーザーパスワードの設定

ユーザーパスワードは、p.122「管理者パスワードの設定」－ **1** で「Set User Password」を選択し、管理者パスワードと同じ手順で設定します。

ユーザーパスワードの権限設定

ユーザーパスワードを設定した場合は、ユーザーパスワードで UEFI にログオンしたときの権限（項目の閲覧や変更に関する制限）を設定します。

p.131「Security メニュー画面」－「User Access Level」

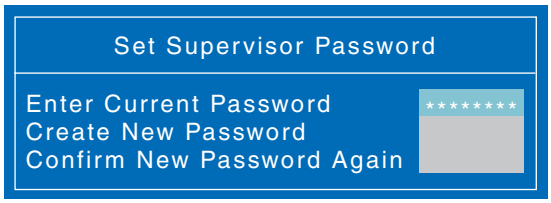
パスワードの削除方法

パスワードの削除方法は、次のとおりです。
管理者パスワードを削除する場合は、管理者パスワードで UEFI にログオンしてください。
※ HDD/SSD アクセス制限やユーザーパスワードを設定している場合、管理者パスワードを削除すると、自動的に HDD/SSD アクセス制限やユーザーパスワードも削除（解除）されます。

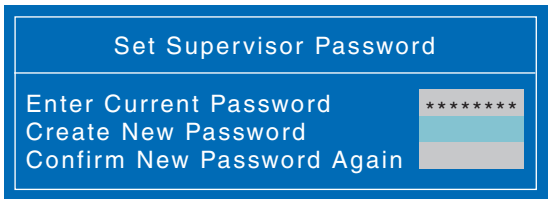
1 **「Security」メニュー画面－「Set Supervisor Password」を選択して ↵ を押すと、パスワードの入力画面が表示されます。**

ユーザーパスワードを削除する場合は、「Set User Password」を選択します。

2 **「Enter Current Password」の欄に設定しているパスワードを入力して ↵ を押します。**



3 **「Create New Password」の欄に何も入力せずに ↵ を押します。**



4 **「Confirm New Password Again」の欄に何も入力せずに ↵ を押すと、次のメッセージが表示されます。**

5 **[Ok] が選択された状態で ↵ を押します。**

「Supervisor Password」または「User Password」項目の表示が「Not Installed」に変わります。
これでパスワードが削除されました。
管理者パスワードを削除すると、パスワード設定時に表示された項目は非表示になります。

HDD/SSDアクセス制限

HDD/SSD アクセス制限を設定すると、次の状態になります。

- UEFI や Windows 起動時、休止状態からの復帰時にパスワードを要求される
- HDD/SSD をほかのコンピューターに接続した場合、認識されなくなる

HDD/SSD への無断アクセスや、万が一 HDD/SSD が盗難にあった場合の情報流出を防ぎたいときは、HDD/SSD アクセス制限を設定します。

HDD/SSD アクセス制限の設定 / 解除方法

HDD/SSD アクセス制限の設定 / 解除方法を説明します。

> **制限** パスワードを忘れてしまうと、アクセス制限を設定した HDD/SSD は使用できなくなります。登録したパスワードは絶対に忘れないようにしてください。

設定方法

HDD/SSD アクセス制限の設定方法は次のとおりです。

1 本機の電源を切ります。

一度電源を切らないと、HDD/SSD アクセス制限は正常に設定できません。
必ず電源を切ってから設定を行ってください。

Windows を終了するときは、必ず次の方法で行ってください。通常の「シャットダウン」で終了すると、機器が認識されなくなる場合があります。

1. ［スタート］－ ⏻（電源）をクリックし、Shift を押しながら「再起動」をクリックします。
2. 表示されたメニューで「PC の電源を切る」を選択します。
   Windows が終了します。

2 本機の電源を入れ、「UEFI Setup ユーティリティー」を起動します。

p.115「UEFI Setup ユーティリティーの起動」

3 管理者パスワードを設定します。

p.122「パスワードの設定方法」

4 「Security」メニュー画面－「Hard Disk Protection」を「Enabled」に設定します。

p.131「Security メニュー画面」

5 F10 を押し、表示された画面で［Yes］を選択して、↵ を押し「UEFI Setup ユーティリティー」を終了します。

6 Windows が起動したら、本機の電源を切ります。

最後に電源を切らないと、設定が有効になりません。
Windows を終了するときは、必ず 1 の方法で行ってください。

解除方法

HDD/SSD アクセス制限の解除方法は次のとおりです。

1 本機の電源を切ります。

一度電源を切らないと、HDD/SSD アクセス制限は正常に設定できません。
必ず電源を切ってから設定を行ってください。

Windows を終了するときは、必ず次の方法で行ってください。通常の「シャットダウン」で終了すると、機器が認識されなくなる場合があります。

1. ［スタート］－ ⏻（電源）で Shift を押しながら「再起動」をクリックします。
2. 表示されたメニューで「PC の電源を切る」を選択します。
   Windows が終了します。

2 本機の電源を入れ、「UEFI Setup ユーティリティー」を起動します。

p.115「UEFI Setup ユーティリティーの起動」

3 「Security」メニュー画面－「Hard Disk Protection」を「Disabled」に設定します。

p.131「Security メニュー画面」

4 F10 を押し、表示された画面で［Yes］を選択して、↵ を押し「UEFI Setup ユーティリティー」を終了します。

5 Windows が起動したら、本機の電源を切ります。

最後に電源を切らないと、設定が有効になりません。
Windows を終了するときは、必ず 1 の方法で行ってください。

UEFI Setup ユーティリティーの設定項目

ここでは、UEFI Setup ユーティリティーで設定できる項目と、設定方法などについて説明します。
UEFI Setup ユーティリティーのメニュー画面には、次の 7 つのメニューがあります。

- Main メニュー画面
  日時や HDD/SSD の設定を行います。
- Advanced メニュー画面
  CPU の機能、キーの設定を行います。
- I/O Interface メニュー画面
  デバイスに関する設定を行います。
- Power メニュー画面
  起動に関する設定を行います。
- Security メニュー画面
  パスワードに関する設定を行います。
- Boot メニュー画面
  システムの起動（Boot）に関する設定を行います。
- Save & Exit メニュー画面
  UEFI Setup ユーティリティーを終了したり、UEFI の設定値を初期値に戻します。

Mainメニュー画面

「Main」メニュー画面では、日時や SSD の設定を行います。
設定項目は、次のとおりです。

は初期値
*は項目表示のみ

*UEFI Version		本機に搭載されている UEFI のバージョンを表示します。
*Build Date		UEFI のバージョンの制定日を表示します。
*VBIOS GOP Version		GOP のバージョンを表示します。
*EC FW Version		EC ファームウェアのバージョンを表示します。
*ME FW Version		ME ファームウェアのバージョンを表示します。
*UEFI Core Version		UEFI Core のバージョンを表示します。
*CPU		CPU の種類を表示します。
*System Memory		本機に搭載されているメモリー周波数を表示します。
Total Memory		本機に搭載されているメモリー容量を表示します。
System Date		日付を設定します。（曜日　月 / 日 / 年）
System Time		時刻を設定します。（時間：分：秒）
SATA Port 0		本機に搭載されている SATA 接続の M.2 SSD の設定をします。
	*Model name	M.2 SSD の型番を表示します。
	*SIZE	M.2 SSD の容量を表示します。
	*F/W	ファームウェアのバージョンを表示します。

SATA Port 1		本機に搭載されている SATA 接続の HDD/SSD の設定をします。
	*Model name	HDD/SSD の型番を表示します。
	*SIZE	HDD/SSD の容量を表示します。
	*F/W	ファームウェアのバージョンを表示します。
	Interface	HDD/SSD を使用するかどうかを設定します。 Enabled ：有効にします。 Disabled：無効にします。
S.M.A.R.T Monitoring		初期値［Disabled］のままで使用します。
M.2 PCIe Port 0 M.2 PCIe Port 1		本機に搭載されている PCIe 接続の M.2 SSD の設定をします。
	*Model name	M.2 SSD の型番を表示します。
	*SIZE	M.2 SSD の容量を表示します。
	*F/W	ファームウェアのバージョンを表示します。
	Interface	M.2 SSD を使用するかどうかを設定します。 Enabled ：有効にします。 Disabled：無効にします。
	RST PCIe Storage remapping	初期値のままで使用します。 Not RST Controlled ：通常時の設定です。 RST Controlled ：M.2 SSD の RAID 構成時の設定です。
Port Configuration		HDD/SSD のモードを表示します。
	*Configure Port As	［RAID］と表示されています。

Advancedメニュー画面

「Advanced」メニュー画面では、CPU の機能や、キーの入れ替えなどの設定を行います。
設定項目は、次のとおりです。

は初期値
*は項目表示のみ

CPU Configuration		本機に搭載されている CPU の設定をします。 ※表示される項目は、CPU により異なります。
	*CPU name	CPU の型番
	*Processor Speed	CPU の周波数
	*CPU ID	CPU ID
	*Smart Cache	キャッシュメモリ
	Hyper Threading Technology	ハイパースレッディング機能の有効 / 無効を設定します。 Enabled ：有効にします。 Disabled：無効にします。
	Intel Virtualization Technology (VT-D)	Intel Virtualization Technology (VT-D) の有効 / 無効を設定します。 Enabled ：有効にします。 Disabled：無効にします。
	Turbo Boost Technology	ターボブースト機能の有効 / 無効を設定します。 Enabled ：有効にします。 Disabled：無効にします。

	Intel GRST	Graphics Render Standby Technology（GRST）の有効 / 無効を設定します。 Enabled：有効にします。 Disabled：無効にします。
	Enhanced C-state	初期値［Enabled］のままで使用します。
Pointing Device		タッチパッドの設定をします。
	Touch Pad	タッチパッド機能の有効 / 無効を設定します。 Enabled：有効にします。 Disabled：無効にします。
Key Board		数値キーの設定をします。
	10 Key State	数値キー（10 キー）を使用するかどうかを設定します。 On：使用できます。 Off：使用できません。
	Bootup NumLock State	UEFI や DOS での起動時に数値キー入力固定を設定します。 On：数値キー入力に固定します（NumLock）。 Off：数値キー入力に固定しません（カーソル制御）。 ※ この設定は、Windows 起動後には反映されません。
Intel(R) Rapid Storage Technology		RAID の状態が表示されます。

I/O Interfaceメニュー画面

「I/O Interface」メニュー画面では、ネットワークやマザーボード上のデバイスの設定を行います。
設定項目は、次のとおりです。

は初期値
*は項目表示のみ

Onboard Devices Configuration		ネットワークやマザーボード上のデバイスの設定をします。
	AUDIO Interface	サウンドの有効 / 無効を設定します。 Enabled：有効にします。 Disabled：無効にします。
	Wired LAN & Card Reader	有線 LAN とメモリーカードスロットの有効 / 無効を設定します。 Enabled：有効にします。 Disabled：無効にします。
	Wireless LAN	無線 LAN の有効 / 無効を設定します。 Enabled：有効にします。 Disabled：無効にします。
USB Configuration		デバイスの設定をします。
	USB Interface	USB コネクター、Bluetooth 機能、カメラ機能、指紋センサー機能の有効 / 無効を、一括で設定します。 Enabled：有効にします。 Disabled：無効にします。
	USB Ports	USB コネクターの有効 / 無効を設定します。 Enabled：有効にします。 Disabled：無効にします。
	Bluetooth	Bluetooth を使用するかどうかを設定します。 Enabled：有効にします。 Disabled：無効にします。

	Camera	カメラ機能の有効 / 無効を設定します。 Enabled ：有効にします。 Disabled：無効にします。
	Finger Print	指紋センサーを使用するかどうかを設定します。 Enabled ：有効にします。 Disabled：無効にします。
USB Charger		本機右側面の USB3.1 コネクターで、USB 充電機能を使用するかどうかを設定します。p.55「USB 充電機能を使う」 Enabled ：充電機能有効 Disabled：充電機能無効
Stop Charging Battery Capacity		USB 充電機能で、電力供給を自動で停止するバッテリー残量の値を設定します。 10%（初期値）～ 90% で設定可能です。
USB Mass Storage Device Config		USB ストレージデバイスの設定をします。

Powerメニュー画面

「Power」メニュー画面では、起動に関する設定を行います。
設定項目は、次のとおりです。

は初期値
*は項目表示のみ

APM Configuration		本機の起動に関する設定をします。
	Power On by RTC Alarm	コンピューターを指定した時間に起動させる設定をします。 Disabled：設定しません。 By Every Day ：毎日、指定した時間に起動します。 By Day of Month ：毎月、指定した日 / 時間に起動します。 ※この機能を使用する場合は、Windows の高速スタートアップを無効にしてください。p.73「シャットダウン設定」
	RTC Wake on Time ※「Power On by RTC Alarm」を「By Every Day」または「By Day of Month」に設定すると表示されます。	起動する時間を設定します。
	Day of Month ※「Power On by RTC Alarm」を「By Day of Month」に設定すると表示されます。	毎月起動する日を設定します。
	Wake On LAN	シャットダウン状態からの Wake on LAN の有効 / 無効を設定します。 p.72「Wakeup On LAN」 Enabled ：有効にします。 Disabled：無効にします。

Securityメニュー画面

「Security」メニュー画面では、パスワードに関する設定を行います。パスワードの設定方法は、p.122「パスワードを設定する」をご覧ください。
設定項目は、次のとおりです。

は購入時の状態
*は項目表示のみ

*Supervisor Password/User Password	Supervisor Password（管理者パスワード）と User Password（ユーザーパスワード）が設定されているかどうかを表示します。 Not Installed：パスワードが設定されていません。 Installed　：パスワードが設定されています。
Set Supervisor Password	管理者パスワードの設定や変更、削除を行います。
User Access Level ※管理者パスワードを設定すると設定可能になります。	ユーザーパスワードでの UEFI アクセス制限を３段階で設定します。 Full Access：管理者と同一の権利を許可します。UEFI のすべての項目を設定したり閲覧したりすることができます。 LIMITED　：UEFI の閲覧と、一部の設定項目を変更できます。 VIEW ONLY：UEFI の閲覧のみで、設定項目の変更はできません。 No Access：ユーザーパスワード使用者は「UEFI Setup ユーティリティー」を起動することができません。
Set User Password ※管理者パスワードを設定すると設定可能になります。	ユーザーパスワードの設定や変更、削除を行います。
Password Check ※管理者パスワードを設定すると設定可能になります。	パスワード入力を要求するタイミングを設定します。 Setup：UEFI 起動時にパスワード入力を要求します。 Always：UEFI や Windows 起動時、休止状態から復帰時にパスワード入力を要求します。
Hard Disk Protection ※管理者パスワードを設定すると設定可能になります。	HDD/SSD へのアクセス制限を設定します。 p.125「HDD/SSD アクセス制限」 Enabled：HDD/SSD へのアクセスを制限します。 Disabled：HDD/SSD へのアクセスを制限しません。
TPM Function	セキュリティーデバイス（インテル PTT）に関する設定をします。
Clear Trusted Platform Module	セキュリティーデバイス（インテル PTT）に保存されている情報を初期化します。 本機で初めてセキュリティーデバイス（インテル PTT）を使用する際は、初期化を行ってください。 値を［OK］に設定し、UEFI Setup ユーティリティーを終了すると、情報が初期化されます ※ 初期化を行うと、それまでに暗号化されたデータを使用できなくなります。セキュリティーデバイス（インテル PTT）使用後に初期化を行う場合は、お客様の責任において十分に注意して行ってください。

Bootメニュー画面

「Boot」メニュー画面では、システムの起動（Boot）に関する設定を行います。
設定項目は、次のとおりです。

は初期値
*は項目表示のみ

Boot Setting Configuration		コンピューター起動時の設定をします。
	Screen Logo	コンピューター起動時にロゴを表示するかどうかを設定します。 Disabled：表示しません。 Enabled ：表示します。
	PXE Boot	リモートブート機能の設定をします。 Disabled：無効にします。 UEFI:IPv4　：IPv4 で起動します。 UEFI:IPv6　：IPv6 で起動します。 UEFI:IPv4/IPv6　：IPv4 または IPv6 で起動します。
BOOT Option Priority		ドライブの起動の設定をします。

Save & Exitメニュー画面

「Save & Exit」メニュー画面では、UEFI Setup ユーティリティーを終了したり、設定を初期値に戻したりします。
設定項目は、次のとおりです。

Save Changes and Reboot		変更した内容（設定値）を保存してから、UEFI Setup ユーティリティーを終了します。 p.119「Save Changes and Reboot（変更した内容を保存し終了する）」
Discard Changes and Exit		変更した内容（設定値）を保存せずに、UEFI Setup ユーティリティーを終了します。 p.119「Discard Changes and Exit（変更した内容を破棄し終了する）」
Discard Changes		UEFI Setup ユーティリティーを終了させずに、変更した設定値を前回保存した設定値に戻します。 p.120「Discard Changes（前回保存した設定値に戻す）」
Load Setup Defaults		設定を初期値に戻します。 p.120「Load Setup Defaults（UEFI の初期値に戻す）」
Save User Define		UEFI の設定値をユーザー設定値として保存します。 p.121「Save User Define（ユーザー設定値を保存する）」
Load Setup User Define		設定値をユーザー設定値に戻します。 p.121「Load Setup User Define（ユーザーの設定値に戻す）」
Battery Storage Setting		Shipping Mode を有効にすると、バッテリーの自己放電が抑えられ、バッテリー接続だけでは電源が入らない状態になります。 バッテリー残量を50～70%に設定してから、表示されたメッセージにしたがって AC アダプターを外し、［Yes］を選択すると自動的にシャットダウンします。 この場合、電源スイッチを押しても本機の電源は入りません。 AC アダプターを接続すると、Shipping Mode が解除されます。 p.36「Shipping Mode に設定して保管する」
	Shipping Mode	

4

困ったときは

困ったときの確認事項や対処方法などについて説明します。

トラブルが発生したら..... 134
起動・画面表示できないときは 136
トラブル時に効果的な対処方法 140
再インストール（PC を初期状態に戻す）..... 146

トラブルが発生したら

困ったとき、トラブルが発生したときは、次のように対処方法を探してください。

起動・画面表示できる場合

起動・画面表示できる場合は、次の場所で対処方法を探してください。

PC お役立ちナビ

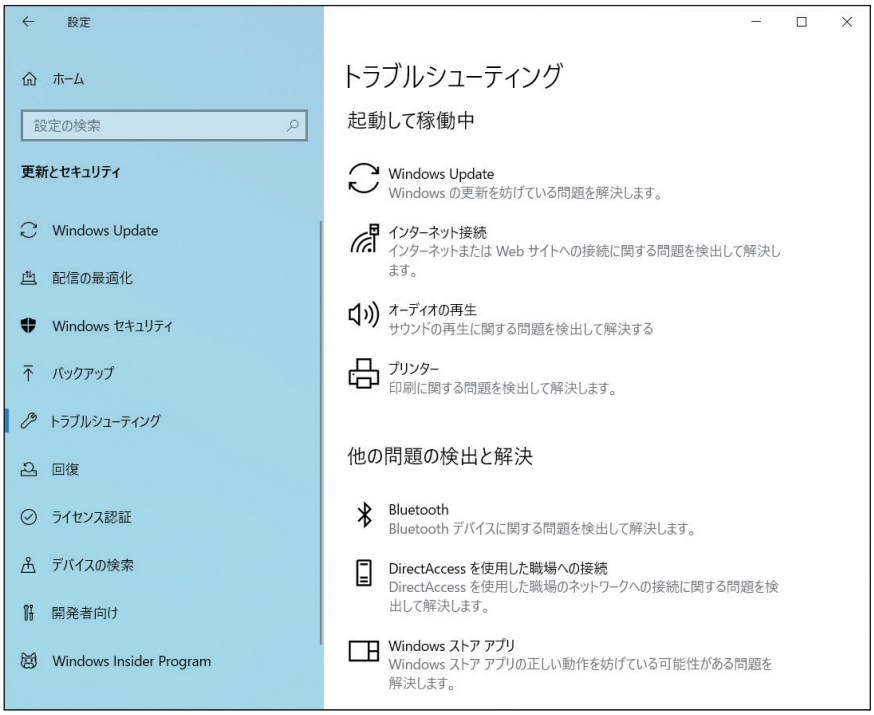
コンピューターを起動、画面表示できる場合は、「PC お役立ちナビ」の［トラブル解決］で、対処方法の確認ができます。

［スタート］－［PC お役立ちナビ］

Windows のトラブルシューティングツール

Windows 10 にはトラブルシューティングツールを集めたコーナーが用意されています。

［スタート］－ （設定）－「更新とセキュリティ」－「トラブルシューティング」



トラブルシューティングツールの一覧が表示されたら、トラブルに応じたツールをクリックして、トラブルシューティングを行ってみてください。

起動・画面表示できない場合

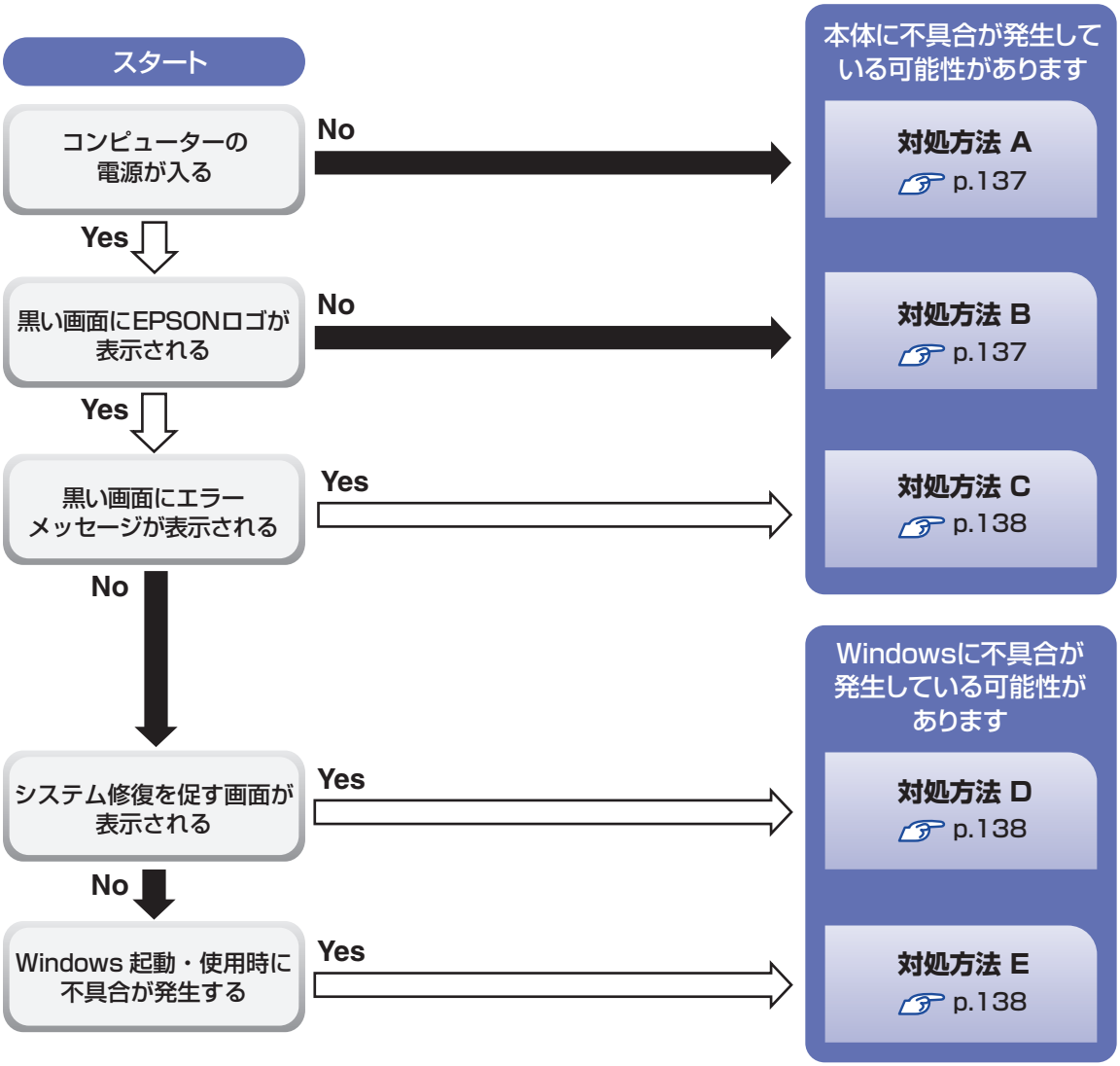
コンピューターを起動、画面表示できない場合は、p.136「起動・画面表示できないときは」をご覧ください。

起動・画面表示できないときは

コンピューターを起動、画面表示できない場合は、診断を行い、各診断結果に応じた対処をしてください。

診断をする

次の診断を行ってください。対処方法が決まったら、p.137「対処をする」へ進んでください。



対処をする

コンピューターを起動、画面表示できないときの対処方法は、次のとおりです。
対処後も不具合が解消しない場合は、別紙『サポート･サービスのご案内』をご覧になり、サポート窓口までお問い合わせください。

対処方法　A

次の対処を順番に行ってみてください。

1 コンピューターの電源を入れなおす

電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

2 電源コード /AC アダプター / バッテリーパックを接続しなおす

コンピューターへの電源供給に問題がある可能性があります。コンピューターの電源を切ってから、電源コード、AC アダプター、バッテリーパックを外して 1 分程度放置し、再度電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。
バッテリーパックのみで使用している場合は、完全放電している可能性があります。AC アダプターを接続して使用してみてください。
Shipping Mode（p.132）に設定している場合は、AC アダプターを接続すると Shipping Mode が解除されます。

3 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

対処方法　B

次の対処を順番に行ってみてください。

1 電源コード /AC アダプター / バッテリーパックを接続しなおす

コンピューターへの電源供給に問題がある可能性があります。コンピューターの電源を切ってから、電源コード、AC アダプター、バッテリーパックを外して 1 分程度放置し、再度電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。
バッテリーパックのみで使用している場合は、完全放電している可能性があります。AC アダプターを接続して使用してみてください。

2 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

対処方法　C

起動時に「Reboot and Select…」というエラーメッセージまたは UEFI の画面が表示される場合は、次のとおり対処してみてください。

1 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、周辺機器や装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

対処方法　D

次のとおり対処してみてください。

1 表示された画面の指示に従ってシステムを修復する

2 再インストールする

HDD/SSD 内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

p.146「再インストール（PC を初期状態に戻す）」

対処方法　E

次の対処を順番に行ってみてください。

1 コンピューターの電源を入れなおす

電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

2 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

3 常駐アプリを停止したり、システムの復元を行う

常駐アプリ（システム稼動中、常に稼動しているアプリ）を一時的に停止させることで問題が解決するかを確認してください。

p.141「常駐アプリの停止」

常駐アプリが原因ではなかった場合は、「システムの復元」を行ってみてください。以前のコンピューターの状態に戻すことで、問題が解決できる可能性があります。

※ 128GB 以下のドライブではこの機能は使用できません。

p.141「システムの復元」

4 UEFI の設定を初期値に戻す

UEFI の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。UEFI の設定を初期値に戻し、問題が解決されるか確認してください。

p.120「Load Setup Defaults（UEFI の初期値に戻す）」

5 再インストールする

HDD/SSD 内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。
再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

p.146「再インストール（PC を初期状態に戻す）」

トラブル時に効果的な対処方法

トラブル時に効果的な対処方法を紹介します。

機能	こんなときに
再起動 p.140 本機を再起動します。	・使用しているアプリで指示があった場合 ・アプリや Windows の動作が不安定になったとき
アプリの強制終了 p.141 アプリを強制終了します。	・アプリや Windows が、キーボードやタッチパッドからの入力を受け付けず、何も反応しなくなったとき
常駐アプリの停止 p.141 不具合のある常駐アプリを停止します。	・Windows が正常に起動しないとき、動作が不安定になったとき
システムの復元 p.141 Windows を以前に作成した復元ポイントの状態に戻します。	・Windows が正常に起動しないとき、動作が不安定になったとき
UEFI の初期化 p.120 UEFI の設定を初期値に戻します。	・UEFI の設定を誤って本機が起動しなくなったとき、動作が不安定になったとき
リチウム電池の交換 p.142 リチウム電池を交換します。	・日時や時間がおかしくなる ・UEFI で設定した値が変わってしまう
PC を初期状態に戻す p.146 Windows の再インストールを行って、不具合を改善します。	・Windows が正常に起動しないとき、動作が不安定になったとき（上記項目の対処をしても起動しないとき）
Windows 回復環境（Windows RE） p.143 Windows を修復します。	・Windows が正常に起動しないとき、動作が不安定になったとき
システム診断ツール p.144 ハードウェアに不具合があるかどうかを診断します。	・不具合の原因がハードウェアにあるかどうかを調べたいとき
ネットワーク診断ツール p.145 ネットワークの状態を診断します。	・コンピューターがネットワークにつながらないとき

再起動

電源が入っている状態で、本機を起動しなおすことを「再起動」と言います。
次のような場合には、本機を再起動する必要があります。

- Windows の動作が不安定になった場合
- Windows Update を行った場合
- ドライバーやアプリをインストールした場合
- アプリで再起動の指示が表示された場合

本機の再起動方法は、次のとおりです。

1 **［スタート］－ ⏻（電源）－「再起動」をクリックします。**

再起動しても状態が改善されない場合は、本機の電源を切り、しばらくしてから電源を入れてください。

アプリの強制終了

アプリや Windows がキーボードやタッチパッドからの入力を受け付けず、何も反応しなくなった状態を「ハングアップ」と言います。
ハングアップした場合は、アプリの強制終了を行います。
アプリの強制終了方法は、次のとおりです。

1 **Ctrl + Alt + Delete を押します。**

2 **表示された項目から「タスクマネージャー」をクリックします。**

3 **「タスクマネージャー」画面が表示されたら、ハングアップしているアプリを選択して［タスクの終了］をクリックします。**

アプリが終了します。

強制的に電源を切る

Ctrl + Alt + Delete を押しても反応がない場合は、強制的に本機の電源を切ります。
強制的に本機の電源を切る方法は、次のとおりです。

1 **本機の電源スイッチ（⏻）を 5 秒以上押し続けます。**

本機の電源が切れます。

常駐アプリの停止

常駐アプリ（システム稼動中、常に稼動しているアプリ）が原因で本機に不具合が発生していることもあります。一時的に常駐アプリを停止してみてください。
常駐アプリを停止する手順は次のとおりです。

1 **［スタート］－ ⚙（設定）－「アプリ」－「スタートアップ」をクリックします。**

2 **スタートアップアプリの一覧が表示されたら、不具合の原因となっている可能性のある項目（常駐アプリ）を［オフ］にします。**

常駐アプリが原因ではなかった場合、［オン］に戻してください。

システムの復元

本機の動作が不安定になった場合、「システムの復元」を行って Windows を以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻すことで、問題が解決できることがあります。

※ 128GB 以下のドライブではこの機能は使用できません。

※ この機能は事前に「システムの保護を有効にする」（p.21）設定を行っていた場合に使用できます。

システムを復元ポイントの状態に戻す方法は次のとおりです。

1 **［スタート］を右クリック －「システム」－「システム情報」－画面左「システムの保護」をクリックします。**

2 **「システムのプロパティ」画面が表示されたら、［システムの復元］をクリックします。**

3 **復元ポイントを選択します。**

「システムファイルと設定を復元します。」と表示された場合

1. 「推奨される復元」を選択し、［次へ］をクリックします。
   「別の復元ポイントを選択する」を選択した場合は、復元ポイントを選んで作業を進めてください。

「システムファイルと設定の復元」と表示された場合

1. 画面の内容を確認し、［次へ］をクリックします。
2. 復元ポイントの一覧が表示されたら、復元ポイントを選択し、［次へ］をクリックします。

4 **「復元ポイントの確認」と表示されたら、内容を確認し、［完了］をクリックします。**

5 **「いったんシステムの復元を開始したら…」と表示されたら、［はい］をクリックします。**

コンピューターが再起動します。

6 **「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、［閉じる］をクリックします。**

これでシステムの復元は完了です。

リチウム電池の交換

「UEFI Setup ユーティリティー」で設定した情報は、マザーボード上のリチウム電池により保持されています。
リチウム電池は消耗品です。コンピューターの使用状況により異なりますが、AC アダプターやバッテリーからの電力供給がまったく無い場合、本機のリチウム電池の寿命は約 5 年です。
日付や時間がおかしくなったり、UEFI で設定した値が変わってしまうことが頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。別紙『サポート・サービスのご案内』をご覧になり、修理受付窓口までご連絡ください。

Windows回復環境(Windows RE)を使う

本機の HDD/SSD 内には、「Windows 回復環境（Windows RE)」が設定されています。
Windows RE を使用して、修復を行ってみてください。
Windows RE は、本機にトラブルが起きると、自動的に起動します。

> **参考**
>
> **Windows RE を手動で起動する**
>
> Windows が起動する場合は、次の場所から Windows RE を起動できます。
>
> **［スタート］－ ⚙（設定）－「更新とセキュリティ」－「回復」－「PC の起動をカスタマイズする」の［今すぐ再起動］をクリック**

<イメージ>

「トラブルシューティング」の各項目を実行すると、トラブルが解決する場合があります。

- **この PC を初期状態に戻す**

  Windows を再インストールして、本機を初期状態に戻します。
  p.146「再インストール（PC を初期状態に戻す)」

- **EPSON UTILITY**
  - **システム診断ツール**

    システム診断ツールを起動し、システム診断を行います。
    p.144「システム診断ツールを使う」
  - **HDD 消去ツール**

    HDD 消去ツールを起動し、HDD/SSD のデータを消去します。
    p.152「HDD/SSD のデータを消去する」

●詳細オプション

- スタートアップ修復
  Windows の読み込みを妨げている問題を修正します。
- スタートアップ設定
  Windows のスタートアップ動作を変更します。
- コマンドプロンプト
  高度なトラブルシューティングのためにコマンドプロンプトを使います。
- 更新プログラムのアンインストール
  最近インストールした品質または機能の更新プログラムを Windows から削除します。
- UEFI ファームウェアの設定
  PC の UEFI ファームウェア（UEFI Setup ユーティリティー）の設定を変えます。
- システムの復元
  PC に記録された復元ポイントを使って Windows を復元します。
  ※ 128GB 以下のドライブではこの機能は使用できません。
  p.141「システムの復元」

システム診断ツールを使う

システム診断ツールを使うと、ハードウェアに不具合が発生しているかどうかを診断することができます。

システム診断ツールの種類

システム診断ツールには、次の 2 種類があります。

●Windows 上で起動するシステム診断ツール
Windows 上でシステム診断を行うことができます。Windows が起動する場合に使用します。

●Windows 回復環境（Windows RE）から起動するシステム診断ツール
Windows RE（p.143）からシステム診断機能を行うことができます。

システム診断を実行する

Windows が起動する場合としない場合で、システム診断の実行方法は異なります。

Windows が起動する場合

Windows 上でシステム診断を行います。
Windows 上でシステム診断を行う手順は、次のとおりです。

1 **［スタート］－［システム診断ツール］をクリックします。**

2 **「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、［はい］をクリックします。**

3 **システム診断ツールが起動したら、［診断開始］をクリックします。**
診断が開始します。

4 **診断が終了したら、診断結果を確認します。**

「PASS」と表示された場合、ハードウェアは正常に動作しています。
「FAIL」と表示された場合は、該当項目に不具合がある可能性があります。
別紙『サポート･サービスのご案内』をご覧になり、テクニカルセンターまでご連絡ください。

Windows RE が起動した場合

Windows RE からシステム診断ツールを起動します。
Windows RE からシステム診断を行う手順は、次のとおりです。

1 **「Windows RE」（p.143）が起動したら、起動した画面から「詳細オプション」を表示します。**

2 **「オプションの選択」画面が表示されたら、「トラブルシューティング」をクリックします。**

3 **「トラブルシューティング」画面が表示されたら、「EPSON UTILITY」をクリックします。**

コンピューターが再起動します。

4 **「OEMTool」画面が表示されたら、「システム診断ツール」をクリックします。**

5 **システム診断ツールが起動したら、［診断開始］をクリックします。**

診断が開始します。

6 **診断が終了したら、診断結果を確認します。**

「PASS」と表示された場合、ハードウェアは正常に動作しています。
「FAIL」と表示された場合は、該当項目に不具合がある可能性があります。
別紙『サポート・サービスのご案内』をご覧になり、テクニカルセンターまでご連絡ください。

ネットワーク診断ツール

使用しているコンピューターがネットワークにつながらない場合に、予想される原因と対処方法を確認することができます。

［スタート］－［ネットワーク診断ツール］

再インストール（PC を初期状態に戻す）

本機を初期状態に戻す方法を説明します。

再インストールとは

再インストールとは、Windows やドライバー / アプリを入れなおすことを言います。
本機にトラブルが発生したときに、再インストールを行うと、トラブルが解決する場合があります。
再インストール方法には、次の 2 つがあります。目的や状況に応じた方法を選択してください。

個人用ファイルを保持して再インストール p.147	● 本機を初期状態に戻します。 ● 個人用ファイル（写真、音楽、ビデオなど）は保持されます。
すべてを削除して再インストール p.148	● 本機を初期状態に戻します。 ● 個人用ファイル（写真、音楽、ビデオなど）は削除されます。 ●「個人用ファイルを保持して再インストール」で問題が改善しない場合に行います。

再インストールを実行できない、実行しても問題が改善されない場合は、回復ドライブを使用して Windows の再インストールを行うことができます。
※事前に外付け USB 機器に回復ドライブを作成していた場合のみ実行できます。

回復ドライブから Windows の再インストールを行う方法については、次の場所をご覧ください。

http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?29541

制限

HDD/SSD の「リカバリー領域」（p.49）は削除しないでください。「リカバリー領域」には PC を初期状態に戻すためのデータが設定されています。

個人用ファイルを保持して再インストール

Windows が正常に起動しないときや動作が不安定になった場合には、個人用ファイルを保持して再インストールします。
個人用ファイルを保持して再インストールする方法は、次のとおりです。状況に応じて次のどちらかの方法で行ってください。

※ 再インストールは、AC アダプターを接続して行ってください。

Windows が起動する場合

Windows が起動する場合は、次の手順で再インストールを行ってください。

1 **［スタート］－ （設定）－「更新とセキュリティ」－「回復」をクリックし、「この PC を初期状態に戻す」の［開始する］をクリックします。**

2 **「オプションを選択してください」と表示されたら、［個人用ファイルを保持する］をクリックします。**

3 **「追加の設定」と表示されたら、設定を確認して［次へ］をクリックします。**

4 **「この PC をリセットする準備ができました」と表示されたら、処理の内容を確認して［リセット］をクリックします。**

本機が再起動し、処理が開始されます。処理には約 1 時間かかります。処理中はキーボードやタッチパッドを操作しないでください。
処理が終了すると、デスクトップが表示されます。必要に応じて、再設定やアプリのインストールを行ってください。

Windows が起動しない場合

Windows が起動しない場合は、HDD/SSD 内の Windows 回復環境（Windows RE）が自動的に起動します。Windows RE で再インストールを行ってください。

p.143「Windows 回復環境（Windows RE）を使う」

すべてを削除して再インストール

次のような場合は、すべてを削除して Windows を再インストールします。

- 「個人用ファイルを保持して再インストール」を行っても問題が改善しない場合
- インストールしたアプリや保存したデータをすべて削除して、初期状態に戻したい場合

すべてを削除して再インストールする方法は、次のとおりです。状況に応じて次のどちらかの方法で行ってください。

※ C ドライブの設定やデータは、再インストールを行うと消えてしまいます。
可能な場合は、再インストールの前に、設定を書き写したり、バックアップを行ってください。

※ 再インストールは、AC アダプターを接続して行ってください。

Windows が起動する場合

Windows が起動する場合は、次の手順で再インストールを行ってください。

1 **［スタート］－ ⚙（設定）－「更新とセキュリティ」－「回復」をクリックし、「この PC を初期状態に戻す」の［開始する］をクリックします。**

2 **「オプションを選択してください」と表示されたら、［すべて削除する］をクリックします。**

3 **「追加の設定」と表示されたら、設定を確認して［次へ］をクリックします。**

削除するファイルの設定を変更する場合は、［設定の変更］をクリックして、設定を変更してください。

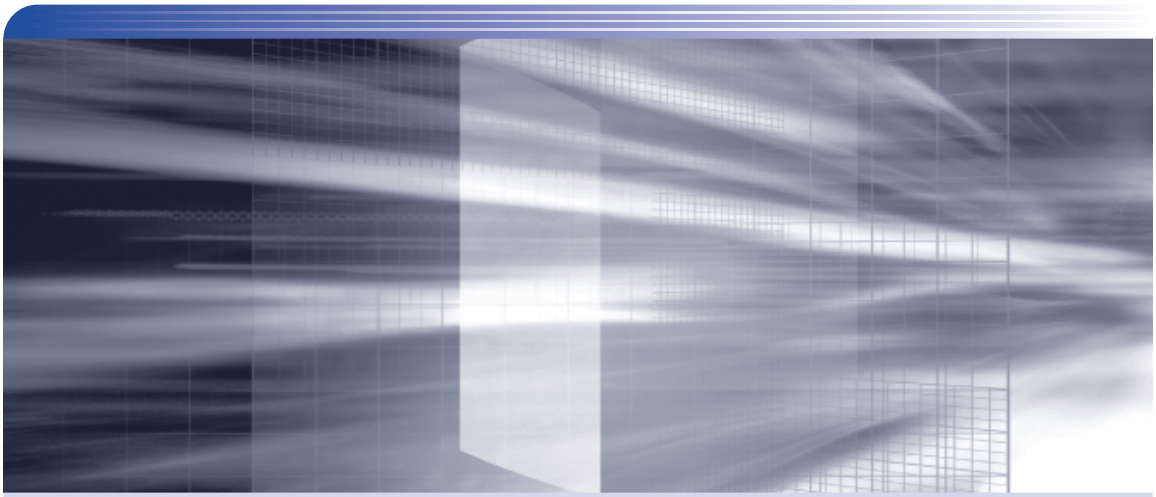
4 **「この PC をリセットする準備ができました」と表示されたら、処理の内容を確認して［リセット］をクリックします。**

本機が再起動し、処理が開始されます。処理には約 1 時間かかります。処理中はキーボードやタッチパッドを操作しないでください。
処理が終了すると、Windows のセットアップ画面が表示されます。画面の指示に従って、セットアップを行ってください。セットアップ後は、必要に応じて再設定やアプリのインストールを行ってください。

Windows が起動しない場合

Windows が起動しない場合は、HDD/SSD 内の Windows 回復環境（Windows RE）が自動的に起動します。Windows RE で再インストールを行ってください。

p.143「Windows 回復環境（Windows RE）を使う」



付録

本機をご使用になる際に役に立つ情報や、本機の仕様などについて説明します。

お手入れ 150
コンピューターを廃棄するときは 151
機能仕様一覧 153

お手入れ

本機は精密な機械です。取り扱いに注意して、定期的にお手入れを行ってください。

制限　お手入れは、本機の電源を切った状態で行ってください。

本機のお手入れ

本機のお手入れ方法について説明します。

外装

コンピューター本体の外装の汚れは、中性洗剤を染み込ませた柔らかい布で、軽く拭き取ってください。

制限

- 本機をたたいたり、硬いものでこすったりしないでください。
  変形やキズ、破損の原因となります。
- ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。
  変色や変形の可能性があります。

LCD 画面

LCD 画面は乾いた布やティッシュペーパーなどで拭いてください。水や洗剤などは使わないでください。

コンピューターを廃棄するときは

本機を廃棄する際の注意事項や、HDD/SSD のデータ消去方法について説明します。
パソコン回収サービスについては、下記ホームページをご覧ください。

https://shop.epson.jp/guide/recycle/

コンピューターの廃棄・譲渡時のHDD/SSD上のデータ消去に関するご注意

コンピューターは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのコンピューターの中の HDD/SSD という記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

したがって、そのコンピューターを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータを消去するということが必要です。

ところが、この HDD/SSD 内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合、一般に

❶ **データを「ごみ箱」に捨てる**

❷ **「削除」操作を行う**

❸ **「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す**

❹ **アプリで初期化（フォーマット）する**

❺ **再インストールを行い、工場出荷状態に戻す**

などの作業を行うと思います。
まず、「ごみ箱」にデータを捨てても、OS のもとでファイルを復元する事ができてしまいます。
更に ❷ ～ ❺ の操作をしても、HDD/SSD 内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際はデータが見えなくなっているだけの場合があります。
つまり、一見消去されたように見えますが、Windows などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

したがいまして、特殊なデータ回復のためのアプリを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このコンピューターの HDD/SSD 内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用される恐れがあります。

コンピューターユーザーが、廃棄・譲渡等を行う際に、HDD/SSD 上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、HDD/SSD に記録された全データを、ユーザーの責任において消去することが非常に重要です。消去するためには、専用アプリあるいはサービス（有償）を利用するか、HDD/SSD 上のデータを物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

なお、HDD/SSD 上のソフトウェア（OS、アプリなど）を削除することなくコンピューターを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。

HDD/SSDのデータを消去する

本機を廃棄する前に HDD/SSD のデータを消去してください。
HDD/SSD のデータ消去は、「HDD 消去ツール」を使って行います。HDD 消去ツールを使用すると、HDD/SSD 内のデータをすべて消去することができます。
消去を開始すると、HDD/SSD のデータは元には戻りません。必要に応じてデータをバックアップしてください。

> **制限**
> データ消去の結果について、当社および開発元の Ultra-X 社は責任を負いません。
> HDD/SSD のデータ消去・廃棄は、お客様の責任において行ってください。

1 **［スタート］－ ⏻（電源）をクリックし、Shiftを押しながら「再起動」をクリックします。**

2 **「オプションの選択」画面が表示されたら、「トラブルシューティング」をクリックします。**

3 **「トラブルシューティング」画面が表示されたら、「EPSON UTILITY」をクリックします。**

コンピューターが再起動します。

4 **「OEMTool」画面が表示されたら、「HDD 消去ツール」をクリックします。**

5 **「HDD_ERASE」画面が表示されたら、データを消去したい HDD/SSD を選択し、［ゼロ消去］をクリックします。**

6 **「実行してよろしいですか」と表示されたら、［OK］をクリックします。**

消去が開始され、進行状況が表示されます。

7 **消去が終了したら、本機の電源を切ります。**

1. 「HDD_ERASE」画面の右上の×をクリックします。
2. 「OEMTool」画面が表示されたら、画面右上の×をクリックします。
3. 「オプションの選択」画面が表示されたら、「PC の電源を切る」をクリックします。

これでデータの消去は終了です。

機能仕様一覧

型番		NJ7000E
CPU	プロセッサー	購入時の選択による p.154
	ソケット	―
チップセット		モバイル インテル HM370 チップセット
UEFI		Insyde
メインメモリー*1	規格	PC4-2666（DDR4-2666 SDRAM）
	搭載可能容量（最大）	64GB
	搭載容量	購入時の選択による p.154
	スロット	SODIMM スロット（260 ピン）× 2 （同容量 2 枚 1 組で使用の場合、デュアルチャネルで動作）
GPU		インテル UHD グラフィックス 630 NVIDIA GeForce RTX 2060（6GB の専用メモリー内蔵）
ビデオメモリー（VRAM） （メインメモリーと共有）		メインメモリー 8GB 時最大 4126MB、メインメモリー 16GB 時最大 8222MB メインメモリー 32GB 時最大 16414MB、メインメモリー64GB時最大32798MB
液晶タイプ		15.6 型 フル HD 液晶（ノングレア、LED バックライト、タッチ操作非対応）
表示解像度（最大）		1920 × 1080（約 1,677 万色）
外部ディスプレイ表示解像度		p.64
HDD または SSD		シリアル ATA600MB/s 対応 2.5 型 HDD または SSD シリアル ATA600MB/s 対応 M.2 SSD PCI Express x4 対応 M.2 SSD （種類、容量、搭載数は購入時の選択による） p.154
サウンド機能		インテル ハイデフィニション・オーディオ（Realtek 製 ALC293D-CG） ステレオスピーカー（出力 2.0W × 2）（底面）、ステレオマイク内蔵（前面）
ネットワーク機能		1000Base-T/100Base-TX/10Base-T（Realtek 製　RTL8411B）
無線LAN/Bluetooth(オプション)		インテル Wireless-AC 9260 p.155
キーボード		日本語対応 107 キー (10 キー付き) 日本語対応 107 キー (10 キー / バックライト付き) 英語対応 102 キー (10 キー / バックライト付き) （種類は購入時の選択による） p.154
ポインティングデバイス		タッチパッド × 1、マルチタッチ対応、左右クリック
インタフェース	USB	USB3.1 × 1（右側面）、USB3.0 × 1（左側面）、USB2.0 × 1（左側面）
	USB/ ディスプレイ	USB3.1（Type-C）*2 × 1（背面）
	ディスプレイ	HDMI 19 ピン × 1（背面）、ミニディスプレイポート× 1（右側面）
	LAN	RJ-45 × 1（背面）
	サウンド	マイク入力（ステレオ）× 1（左側面）、ヘッドホン出力（ステレオ）＆マイク入力（モノラル）× 1（左側面）
生体認証		指紋認証
セキュリティー機能		インテル PTT（TPM2.0 対応）、セキュリティーロックスロット（左側面）
メモリーカードスロット（右側面）*3		SD メモリーカード（SDHC/SDXC 対応）*4、マルチメディアカード
内蔵カメラ		最大解像度 1280 × 720 対応、92 万画素
電源	AC アダプター*5 （A17-180P4A）	入力：AC100V ～ 240V ± 10%（50/60Hz）、2.5A （入力波形は正弦波のみをサポート） 出力：DC19.5V、9.23A、180W　質量：約 679g（電源コード含む）
	バッテリー （BT4110-B）	リチウムイオンバッテリー（14.4V/3275mAh） 駆動時間*6：約 8.0 時間
本体寸法（幅×奥行き×高さ）		約 361.0 × 257.7 × 30.3mm
本体質量（バッテリー含む）		約 2.1kg（最小構成時）
消費電力（AC 側）		最大定格出力時約 202.2W（理論値）
動作環境		動作温度：10 ～ 35℃、動作湿度：20 ～ 80%（結露しないこと）

*1 新規メモリー追加や最大搭載可能容量変更の可能性あり（当社ホームページ参照）。
*2 オルタネートモードに対応しており、外付けディスプレイへ映像 / 音声出力もできます。
*3 記載は対応規格であり、すべてのカードでの動作を保証するものではありません。
*4 SD メモリーカードの著作権保護機能には非対応。
*5 標準添付の電源コードは、AC100V 用（日本仕様）。本製品は国内専用のため、海外での使用は保証対象外。
*6 動作時間は JEITA 測定方法 Ver.2.0 に基づく測定値（システム構成や使用環境により異なる）。最小構成時。

本書に記載している仕様は製品発売時の情報です。最新情報は次の場所でご覧ください。

http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?37168

購入時の構成情報を確認する

本製品は、ご購入時にお客様が選択されたオプションによって仕様がカスタマイズされています。お使いのコンピューターのご購入時の構成情報は次の場所でご覧ください。

https://support1.epsondirect.co.jp/ssl/cts/config/serial.asp

製造番号は次の場所で確認できます。

［スタート］－［PC お役立ちナビ］－［製品情報］

無線機能（オプション）

本機の無線機能について記載します。

Bluetooth

Bluetooth* の仕様は次のとおりです。

準拠規格	Bluetooth 標準規格 Ver.5.0
通信速度	3Mbps

* 本製品には、電波法の規定により、工事設計認証を取得した無線設備を内蔵しています。
認証製品名：9260NGW
認証番号　：003-170125

無線 LAN

無線 LAN*1 の仕様は次のとおりです。

準拠規格	IEEE802.11ac/a/n 無線 LAN 標準プロトコル、ARIB STD-T71 IEEE802.11b/g/n 無線 LAN 標準プロトコル、ARIB STD-T66
データ転送速度（規格値）*2	IEEE802.11a/g：54Mbps IEEE802.11b　：11Mbps IEEE802.11n　：300Mbps(2x) IEEE802.11ac　：1733.3Mbps(2x)
変調方式	DS-SS 方式、OFDM 方式
伝送距離（理論値）*3	IEEE802.11a　：12m IEEE802.11b　：40m IEEE802.11g　：25m
セキュリティー *4	IEEE802.11a/b/g：WEP、WPA（AES, TKIP）、WPA2（AES）、WPA3（Personal） IEEE802.11ac/n　：WPA（AES）、WPA2（AES）、WPA3（Personal）
使用無線チャンネル	IEEE802.11ac/a/n：36/40/44/48ch（W52）、52/56/60/64ch（W53）、100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch（W56） IEEE802.11b/g/n　：1 ～ 13ch

*1 本機には、電波法の規定により、工事設計認証を取得した無線設備を内蔵しています。
認証製品名：9260NGW
認証番号　：003-170125

*2 無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

*3 屋内におけるアクセスポイントとの通信距離です。実際の距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーション、Windows などの使用条件によって短くなります。

*4 IEEE802.1x について、Windows Server 2012 との IEEE802.1x Radius Server（EAP-TLS 対応認証サーバー）＋ WPA（TKIP）の組み合わせによる認証において動作を確認しています。すべての環境下での動作を保証するものではありません。

電波に関するご注意

無線機能選択時、本機には認証を取得した無線設備が内蔵されており、5GHz または 2.4GHz の周波数帯を使用します。

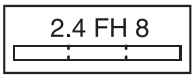
- 本機の無線設備は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として技術基準適合証明を受けているため、本機を分解／改造しないでください。なお、日本国内でのみ使用できます。
- 5GHz（W52、W53）の周波数帯は、電波法の規定により屋外では使用できません。
- 2.4GHz の周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と称す）が運用されています。

（1）本機の無線設備をご使用になる前に、近くで「他の無線局」が使用されていないことを確認してください

（2）万一、本機の無線設備と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所または使用無線チャンネルを変えるか、運用（電波の発射）を停止してください。

（3）電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことがおきたときには、別紙『サポート・サービスのご案内』をご覧になり、テクニカルセンターまでお問い合わせください。

<Bluetooth>



変調方式として GFSK 方式を採用しており、与干渉距離は 80m です。
使用無線チャンネルは変更できません。

<無線LAN>

変調方式として DS-SS および OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

使用限定について

本製品は、OA 機器として使用されることを目的に開発・製造されたものです。
本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全性維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮頂いた上で本製品をご使用ください。
本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、生命維持に関わる医療機器、24 時間稼動システムなど極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用は意図しておりませんので、これらの用途にはご使用にならないでください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。したがって、本製品の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないこともあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI - B

瞬時電圧低下について

本装置は、社団法人　日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

有寿命部品について

当社のコンピューターには、有寿命部品（液晶ディスプレイ、ハードディスク、冷却用ファンなど）が含まれています。有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1 日約 8 時間、1 ヶ月で 25 日間のご使用で約 5 年です。
上記目安はあくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。
なお、長時間連続使用など、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内であっても、部品交換（有料）が必要となります。
* LCD ユニットを最大輝度で常時使用した場合の寿命は、10000 時間です。

JIS C 61000-3-2 適合品

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

レーザー製品安全基準

＜レーザーマウス添付の場合＞
本機に添付されているレーザーマウスは、レーザー製品の安全基準（JIS C 6802、IEC60825-1）に準拠したクラス 1 レーザー製品です。

著作権保護法について

あなたがビデオなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。
テレビ・ラジオ・インターネット放送や市販の CD・DVD・ビデオなどで取得できる映像や音声は、著作物として著作権法により保護されています。個人で楽しむ場合に限り、これらに含まれる映像や音声を録画または録音することができますが、他人の著作物を収録した複製物を譲渡したり、他人の著作物をインターネットのホームページなどに掲載（改編して掲載する場合も含む）するなど、私的範囲を超えて配布・配信する場合は、事前に著作権者（放送事業者や実演家などの隣接権者を含む）の許諾を得る必要があります。著作権者に無断でこれらの行為を行うと著作権法に違反します。
また、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

パソコン回収について

当社では、不要になったパソコンの回収・再資源化を行っています。
PC リサイクルマーク付きの当社製パソコンおよびディスプレイは、ご家庭から廃棄する場合、無償で回収・再資源化いたします。
パソコン回収の詳細は下記ホームページをご覧ください。

https://shop.epson.jp/guide/recycle/

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

- Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel SpeedStep は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- Microsoft、Microsoft Edge、Windows、Windows ロゴ、Internet Explorer、Outlook、OneDrive は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- そのほかの会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

EPSON DIRECT CORPORATION

エプソンダイレクト ユーザーサポートページ

www.epsondirect.co.jp/support/

C78019001 20.07（SO）